取扱説明書

ビクター地上・BS・110度CS デジタル
液晶テレビ

型名 LT-46LH800　LT-42LH800
LT-37LH800　LT-37LC85
LT-32LC85　LT-26LC80

写真は LT-46LH800 です
画面はハメコミ合成です

お買い上げありがとうございます

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（8～12ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
●別冊の「Tナビ編」、本機の「画面で見るマニュアル」もご覧ください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報や
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

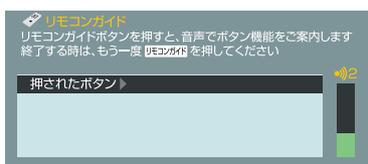
LCT2109-003A

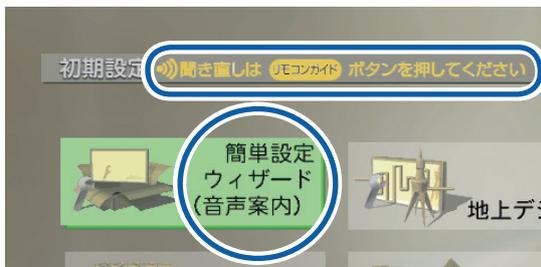
テレビがより便利に、使いやすくなりました

音声案内

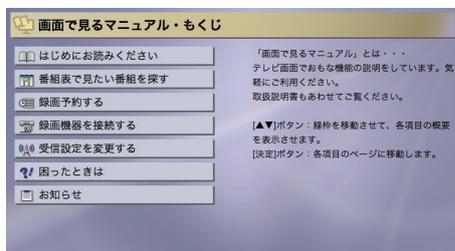
聞きやすい人の声で教えてくれる便利な機能です。

リモコンガイド

ボタンを押しまちがえたり、操作を失敗しないよう音声でやさしくアシスト。リモコンボタンの機能を音声で説明します。

簡単設定ウィザード

お買い上げ設定、簡単設定ウィザードの実行中に表示する内容を音声で説明します。
もう一度聞きたいときは、リモコンガイドボタンを押します。

画面で見るマニュアル

画面で操作を確認できる、操作に迷ったらすぐに見られる。

ホームメニューで「画面で見るマニュアル」を選ぶと、画面にメニューが表示されます。機能説明や操作説明を画面で確認できます。

以下の操作や説明を確認できます。

- 番組表で見たい番組を探す
- 録画予約する
- 録画機器を接続する
- 受信設定を変更する
- 困ったときは
- お知らせ

耳にうれしい・やさしい

「きき楽」機能は、NHKの協力を得て開発した「ゆっくりトーク」をはじめ、ビクター独自のボーカルアップ「はっきりステレオ」をボタンひとつで操作できます。

はっきりステレオ (☞30 ページ)

声が聞き取りやすいから、音量は控えめに。
音量が大きく感じるCMも自然に聞こえる。

人の声に合わせて音量を調節する必要がなく、CMに変わったときに大きく感じる音量も自然に聞こえます。小さな音が聞き取りやすくなるため、臨場感が広がります。

ゆっくりトーク (☞30ページ)

ニュースやドラマの会話も、
ゆっくり聞き取りやすいから、うれしい。

言葉の速度を調節して、会話を聞きやすくします。自然でゆっくりと聞こえる感覚が得られます。

目にやさしい

目にやさしく、省エネ効果も期待できる便利な機能です。

E.E. センサー (☞31 ページ)

室内の明るさの変化を、本体前面に取り付けられたセンサーが感知し、画面の明るさやコントラストを自動的に調整してくれます。目にやさしい機能であると同時に、節電になり、身体にも経済的にもうれしい機能です。

メールで最新情報を確認

放送局からの情報や、本機の機能向上のためのダウンロードなどをお知らせします。(☞52ページ)

メールが着信すると、「メールがあります」と画面に表示されます。メールの内容を確認すると表示が消えます。

はじめに
大切なこと
●もくじ
●安全上のご注意

準備
テレビを見るために
●各部の名前とはたらき
●アンテナをつなぐ
●お買い上げ時の初期設定をする

見る
使ってみよう
●テレビを見る
●使う人にやさしい機能
●外部入力を見る
●ラジオ放送やデータ放送を楽しむ

番組表・予約
番組を探そう、予約しよう
●番組表で見たい番組を探す
●ホームメニューを使って番組を検索する
●録画予約する

便利な機能
かんたん操作で便利な機能
●画質や音質を変える
●画面サイズ選択、2画面
●SDカードの再生
●メールで情報やダウンロードを確認する

設定
使いこなす
●お好みの映像や音声に調節
●画面や使い方にあわせて設定
●初期設定を変更する

接続
他の機器をつなごう
●録画機器との接続
●オーディオ機器との接続
●その他の機器との接続

困ったときは
困ったとき
●故障かな?と思ったら
●こんなメッセージが表示されたら

付録
付録
●保証とアフターサービス
●索引

もくじ

画面で見るマニュアル

取扱説明書と合わせてご覧になると便利です。

画面で見るマニュアルに記載されている以下の内容は、取扱説明書の見出し右側に次のマークを表示しています。

はじめにお読みください
- このマニュアルの使いかた
- 本機の特長

番組表で見たい番組を探す
- 番組表を見る
- 番組を検索する

録画予約する
- 録画する
- プログラム予約をする
- i.LINK接続機器で録画する
- 予約についてのご注意

録画機器を接続する
- 本機の接続端子について
- リモートコントローラーを接続設定する
- i.LINK機器を接続設定する
- HDMI機器を接続設定する

受信設定を変更する
- 簡単設定ウィザード(音声案内)
- 地上アナログ放送の設定をする
- 地上デジタル放送の設定をする
- BS/CSデジタル放送の設定をする
- デジタル放送共通の設定をする
- ネットワーク設定をする

困ったときは
- 修理に出す前に
- 放送の受信
- 画面表示/映像
- 音声
- 録画予約
- その他
- こんなメッセージが表示されたら

お知らせ
- 安全上のご注意
- 本機のお手入れ/上手な使いかた
- 用語解説
- 地域/デジタルチャンネル表
- 放送局コード/Gガイド一覧表
- アイコン一覧

はじめに

大切なことをお知らせします。

もくじ 4

安全上のご注意 8

この取扱説明書について
- 主にリモコンのボタンを使って説明しています。
- イラストや画面表示は説明上、強調や省略をされていることがありますので、実際とは多少異なります。
- イラストは主に**LT-46LH800**のものを使用しています。

準備

13ページ

テレビを見る準備をします。

各部の名前とはたらき 13
本体 13
リモコン 14
準備をする 16
アンテナをつなぐ 16
電話線をつなぐ 18
B-CASカードを入れる 19
コードをまとめる・電源をつなぐ 19
お買い上げ時の初期設定をする 20
受信設定を変更する 24
地上アナログ放送のとき 24
地上デジタル放送のとき 26
BS/CSデジタル放送のとき 27

見る

28ページ

テレビ放送やつないだ機器の映像を楽しみます。

テレビを見る 28
1 電源を入れる、切る 28
2 見たい放送に切り換える 28
3 チャンネルを選ぶ 28
4 音量を調節する 28
オフタイマー 29
番組情報を表示する 29
番組の内容を確認する 29
「はっきりステレオ」で聞く 30
「ゆっくりトーク」で聞く 30
画面の明るさを自動で調節する 31
ボタンのはたらきを音声で聞く(リモコンガイド) 31
デジタル放送のチャンネルを選ぶ 32
3ケタのチャンネル番号で選ぶ 32
選局ガイドで選ぶ 33
つないだ機器の映像を見る 34
入力を切り換える 34
外部入力名を表示する 34
データ放送やラジオ放送を楽しむ 35
独立データ放送やラジオ放送に切り換える 35
番組に連動したデータ放送を見る 35

番組表・予約

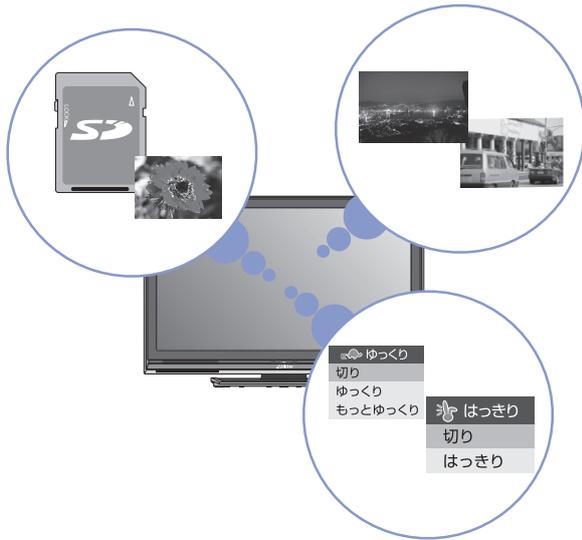
36ページ

番組を探したり予約するには番組表が便利です。

番組表で見たい番組を探す 36
番組表で番組を選ぶ 36
番組を検索する 38
録画予約する 40
予約の詳細設定をする 42
プログラム予約する 43
予約を取り消す/変更する 44
予約についてのご注意 44

便利な機能

46ページ

いろいろな機能が楽しめます。

便利な機能を使う 46
- 字幕を表示する 46
- 音声を切り換える.. 46
- 低音を強調する 46
- 画質を選ぶ.. 47
- 信号を切り換える.. 47
- 画面サイズを変える...................................... 48
- 2つの番組を同時に楽しむ 49

SDカードで画像を見る 50
- SDカードを入れる 50
- 画像を1枚ずつ見る...................................... 51
- 画像を連続して見る...................................... 51

ホームメニューで情報を確認する 52
- メールを見る 52
- 放送局からの情報や購入記録を見る........ 52
- よく見るチャンネルから番組を選ぶ........ 52

テレビ画面で操作を確認する 54
- 画面で見るマニュアルの使いかた........... 55

設定

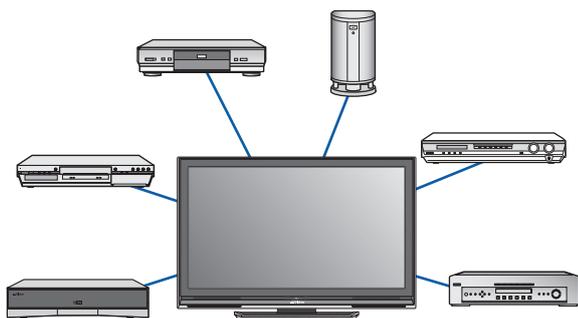
56ページ

テレビの設定を行ないます。

メニューの設定 56
- お好みの映像に調節する 58
- お好みの音声に調節する 60
- 省エネ設定をする.. 60
- 各種設定をする 60
- 初期設定を変更する.................................... 62

接続

66ページ

他の機器とつないでテレビをさらに楽しみます。

接続できる機器 66
録画機器をつなぐ
（ビデオリモートコントローラー） 68
ビデオリモートコントローラーを設定する 69
録画機器をつなぐ（i.LINK） 70
i.LINK機器を設定する 71
DVDプレーヤー・オーディオ機器をつなぐ 72
DVDプレーヤーをつなぐ 72
オーディオ機器をつなぐ 72
ビデオカメラやゲーム機、パソコンをつなぐ 74
接続・設定・操作について 75
i.LINK（アイリンク）機器を操作する 75
HDMI機器、DVI機器を接続する 76
HDMI機器の入力を設定する 77

困ったときは

78ページ

トラブルが起きたときは、まずこちらをご覧ください。

故障かな？と思ったら 78
放送の受信 79
画面表示/映像 79
音声 80
録画予約 81
その他 81
こんなメッセージが出たら 82

付録

保証とアフターサービス 83
サービス窓口案内 84
主な仕様 85
著作権とご注意 86
索引 87

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

⚠注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

ケガに注意

手を挟まれないように注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

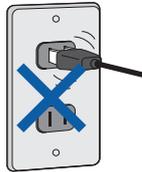
実行して欲しいこと

プラグをコンセントから抜く

⚠警告 設置・使用

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

一般的注意

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

禁止

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電注意

表示された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

禁止

電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

禁止

万一異常が発生したときは

- ●煙が出ている、異臭がする。
- ●画面が映らない、音が出ない。
- ●内部に水や物が入ったとき。
- ●落下などにより破損したとき。
- ●電源コードが傷んだとき。

電源スイッチを切る。電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない

この機器の上に水の入ったものを置かない

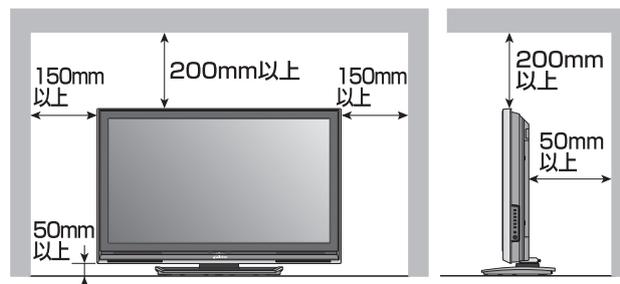
内部に物を入れない

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。

不安定な場所に置かない

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

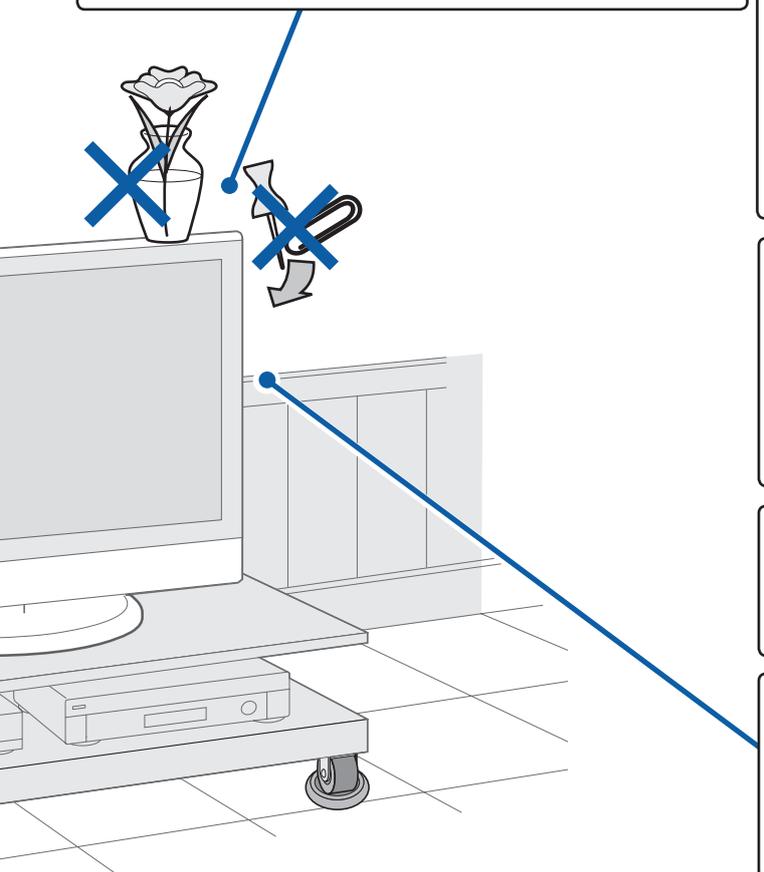
一般的注意

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。
本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

風呂場などの水のある場所で使わない

通風孔をふさがない

- 押し入れ、本箱などの上に置かない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまにしない

安全上のご注意(つづき)

⚠注意 設置・使用

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

プラグをコンセントから抜く

長時間、音が歪んだ状態で使わない

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

一般的注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

テレビは重いので、必ず2人以上で持つ

一般的注意

電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する

一般的注意

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

健康のため、1時間ごとに10分〜15分の休憩をとり、目や手を休めてください

一般的注意

1年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください

一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください

一般的注意

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

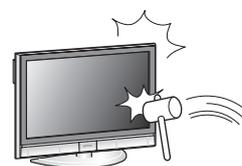
禁止

この機器の上に重い物を置かない

禁止

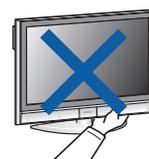
液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

禁止

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

本体パネルの下部を持って前後に傾けない

ケガに注意

本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。
指が挟まれて、けがの原因となることがあります。
また、無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

手を挟まれないように注意

次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

禁止

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

一般的注意

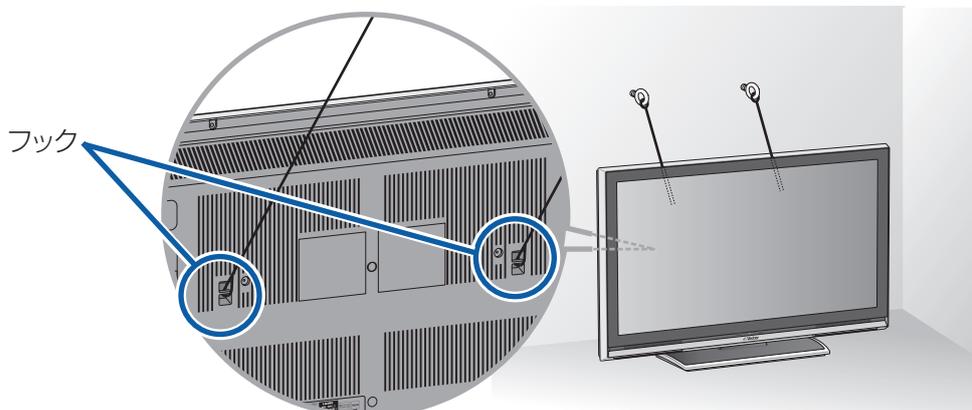
キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。

安全上のご注意(つづき)

⚠注意 設置・使用

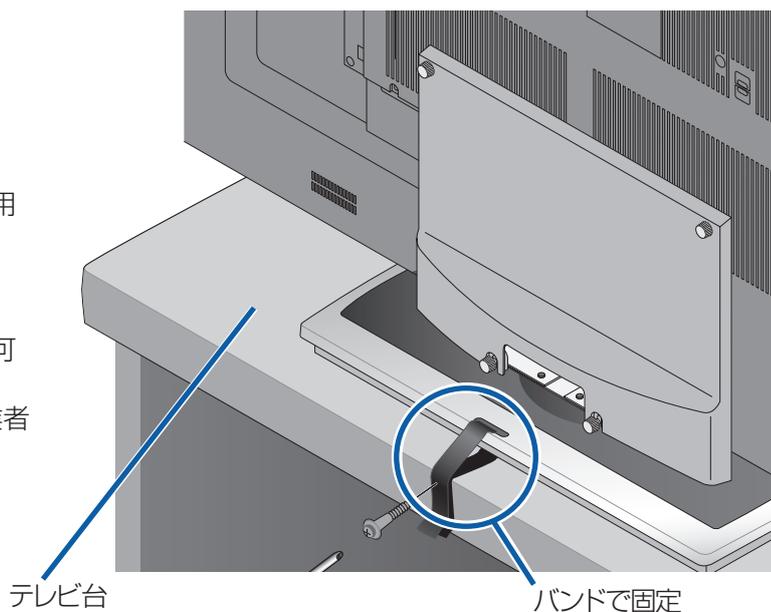
地震等での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

壁または柱などに固定するとき

本体後面のフックに、市販の丈夫なひもなどを結び、壁面や柱など堅牢部に固定してください。

テレビ台に固定するとき

市販のテレビ台に設置するときは、本体スタンドに固定用バンドを通し、ネジで固定してください。

壁にかけるとき

本機を壁にかけて使用するときは、必ず専用の角度調節可能ウォールマウントユニット(別売)をご使用ください。
壁掛けユニットの据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または販売店に、ご依頼ください。

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

お手入れのしかた

• 画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。

- 画面にのりやテープなどを貼らない
- 画面にペンなどで書き込みをしない
- 画面を硬いものにぶつけない
- 画面を結露させない
- 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
- 画面を強くこすらない

画面のよごれを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

• キャビネットのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

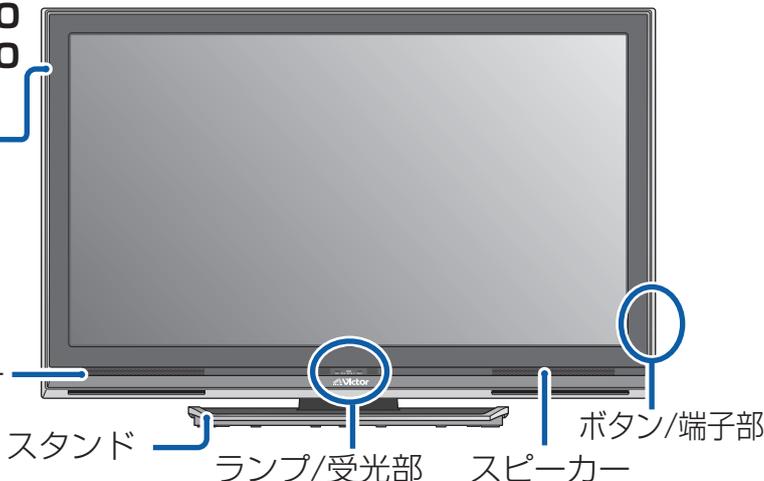
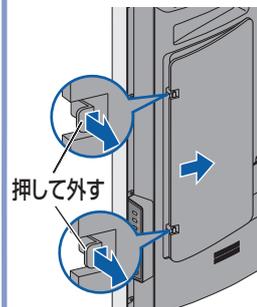
- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

• 通気孔に付着したほこりは

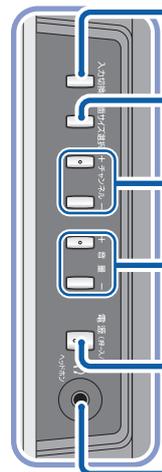
本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

各部の名前とはたらき

本体

LT-46LH800
LT-42LH800
LT-37LH800

後部カバーの外しかた

つないだケーブルが増えると、カバーが閉まりにくくなります。カバーを外してご使用ください。

LT-37LC85
LT-32LC85
LT-26LC80

ボタン/端子部

ランプ/受光部

E.E.センサー(☞31ページ)

リモコン受光部

通信中ランプ(☞28ページ)
本機が電話回線を使用しているとき、緑色に点灯します。

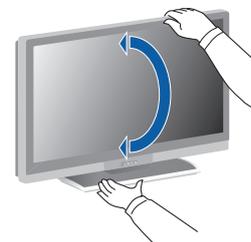
録画予約ランプ
(☞28ページ)
録画予約が設定されているとき、橙色に点灯します。

電源/機能待機ランプ(☞28ページ)
本機の電源が「入」のとき、緑色に点灯します。電源が「切」の場合でも、番組表データを受信したり、録画予約を実行しているときは、赤く点灯します。

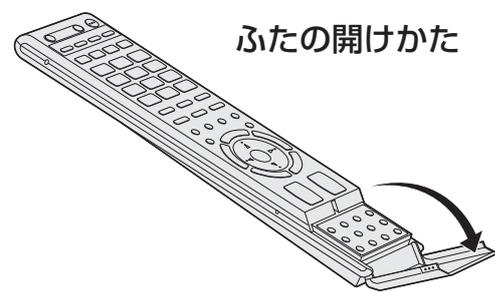
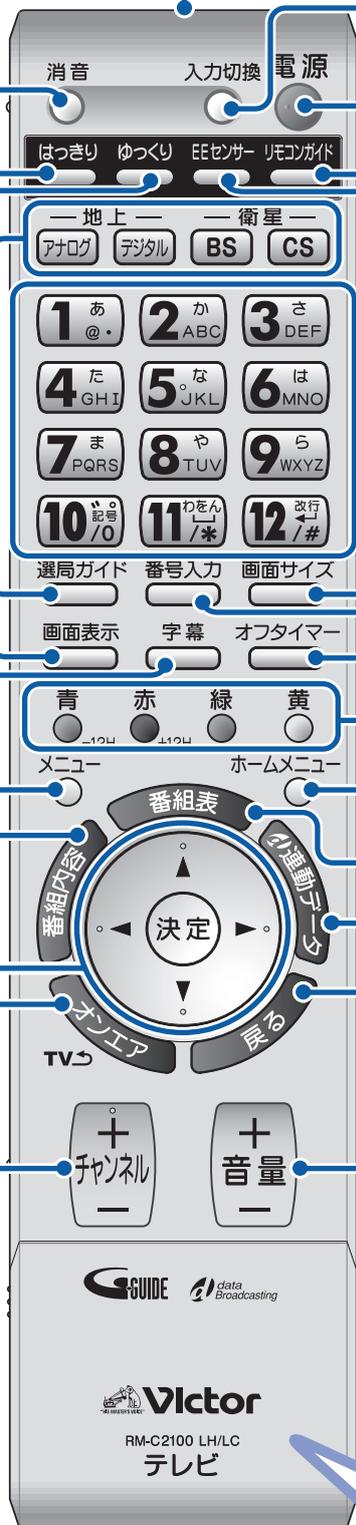
画面の角度を調節するときは

画面を傾けるときは、スタンドをしっかりと押さえながら、ゆっくりと傾けてください。
以下の範囲で角度が調節できます。

- 左右に傾けるときは(スイーベル)
  左右20度以内
  本体パネル部分の側面を持ち、傾けてください。

- 上下に傾けるときは(チルト)
  上7度、下3度以内
  (LT-32LC85、LT-26LC80のみ)
  本体パネル部分の上部中央を持ち、傾けてください。

各部の名前とはたらき(つづき)

リモコン

リモコンを使うときは
- リモコン受光部やリモコンの送信部に明るい光があたっていたり、途中に障害物があると動作しません。
- ゆっくりと確実に操作してください。

ふたを開けたところ

信号切換ボタン（☞47ページ）
マルチビューなど複数の映像を放送しているときに、映像を切り換えます。

サービス切換ボタン（☞35ページ）
データ放送やラジオ放送に切り換えます。

音声切換ボタン（☞46ページ）
ステレオやモノラル、主/副音声に切り換えます。

マックスベースボタン（☞46ページ）
低音を強調します。

Tナビボタン（☞取扱説明書Tナビ編）
テレビでインターネットを楽しめます。

ネット操作ボタン
（☞取扱説明書Tナビ編）

映像選択ボタン（☞47ページ）
画質を選びます。

機器操作ボタン（☞71ページ）
i.LINK機器を操作します。

2画面ボタン（☞49ページ）
2つの放送を同時に楽しめます。

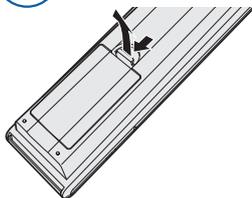
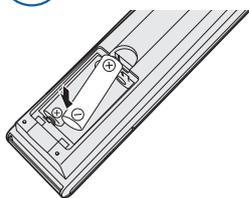
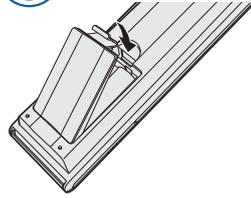
メモリーカードボタン（☞50ページ）
SDカードの画像を楽しめます。

文字クリアボタン
（☞取扱説明書Tナビ編）

文字切換ボタン
（☞取扱説明書Tナビ編）

電池の入れかた

ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。

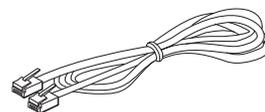
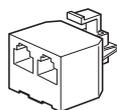
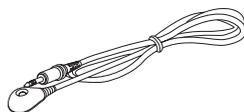
①

②

③

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年使えます。
  付属の電池は動作確認用です。

付属品

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。
（☞83、84ページ）

リモコン
（RM-C2100）

単3形乾電池
（動作確認用）

地上アナログアンテナ用
F型接栓
（4Cタイプ/5Cタイプ）

電話線
（モジュラーコード：約10m）

モジュラー分配
コネクター

ビデオリモート
コントローラー
（Irシステム）
（約2m）

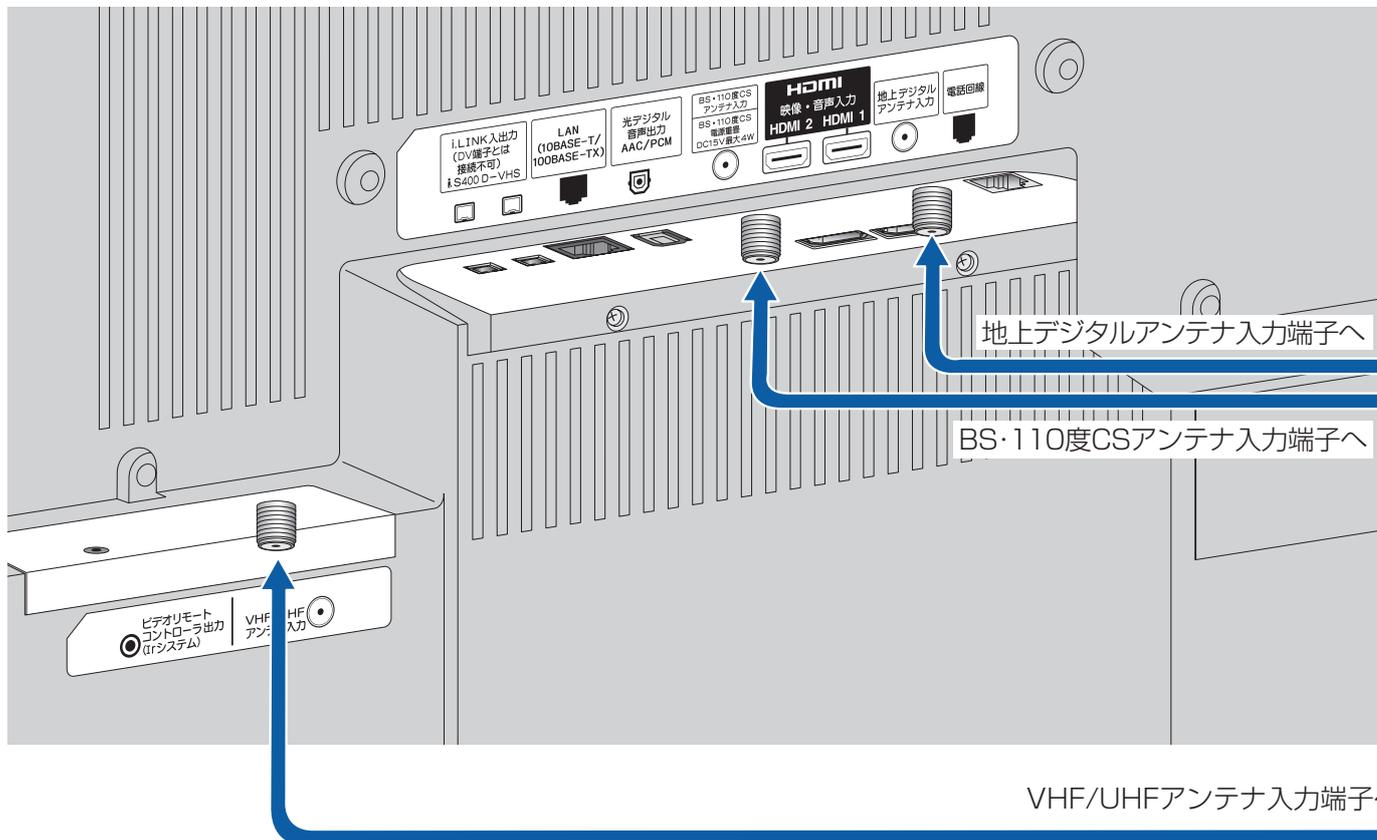
両面テープ
（ビデオリモート
コントローラー固定用）

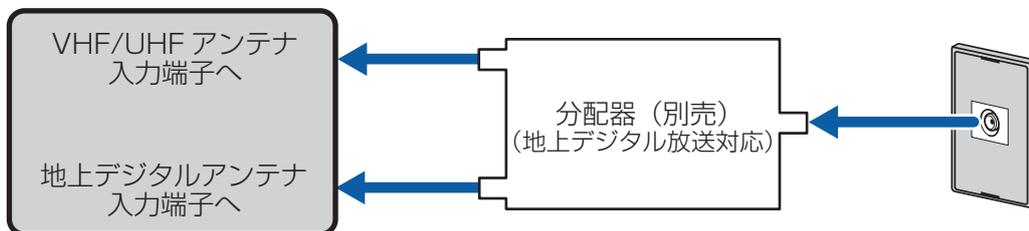
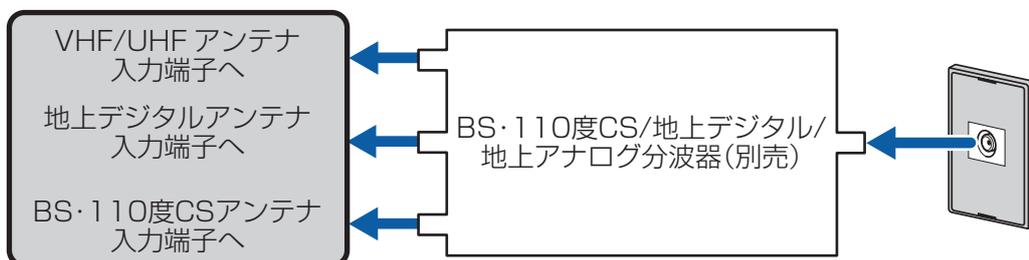
B-CASカード、
取扱説明書、
保証書、
その他の印刷物

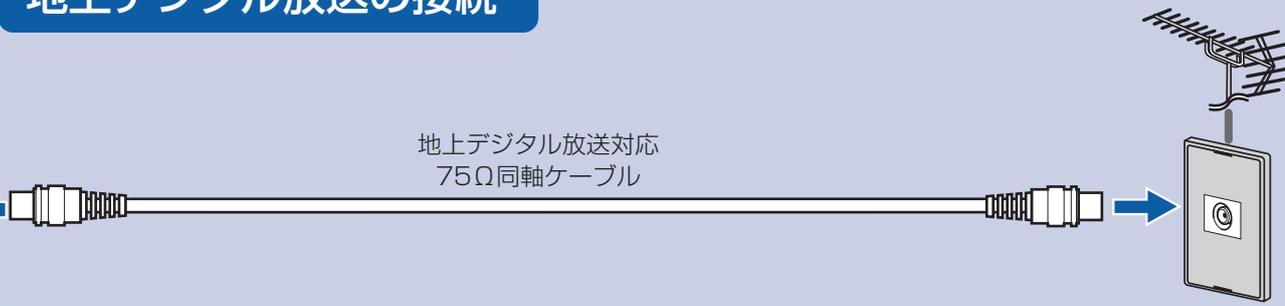
準備をする

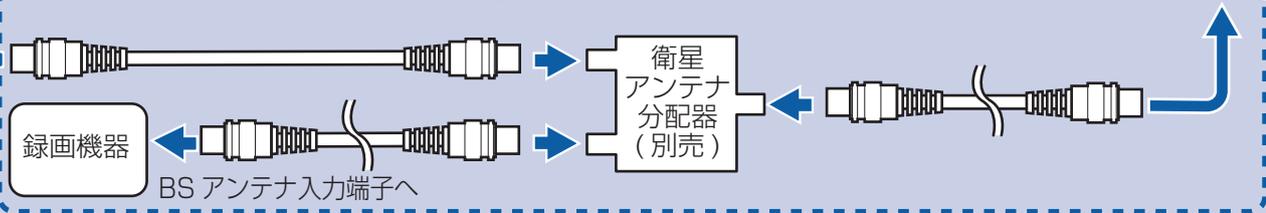
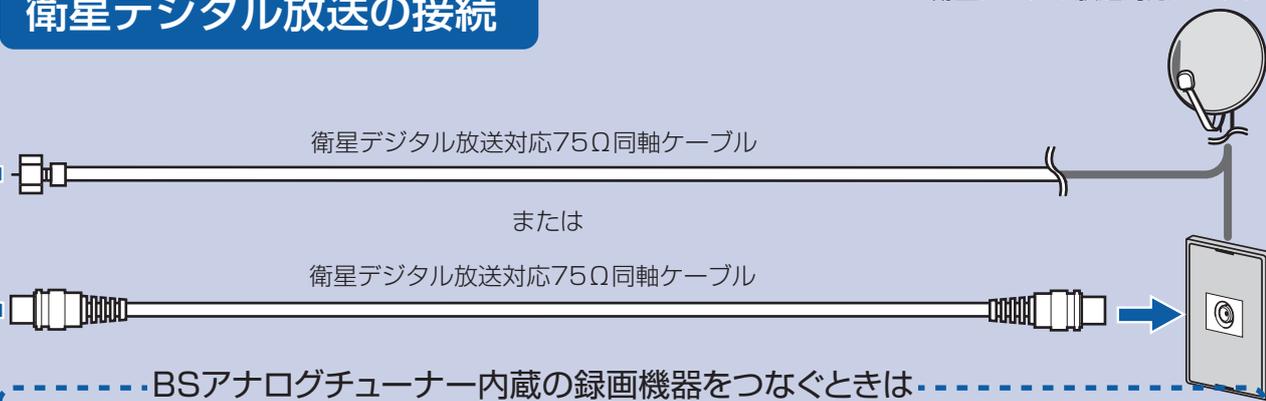
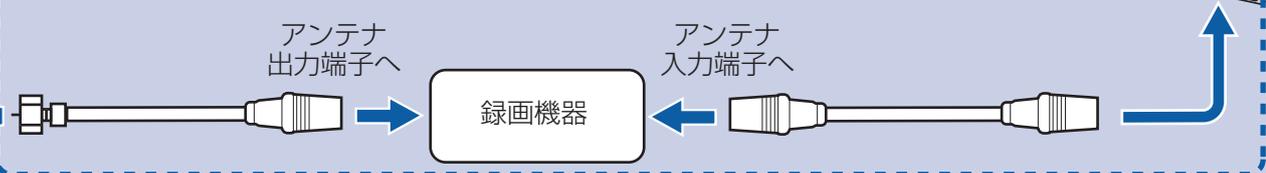
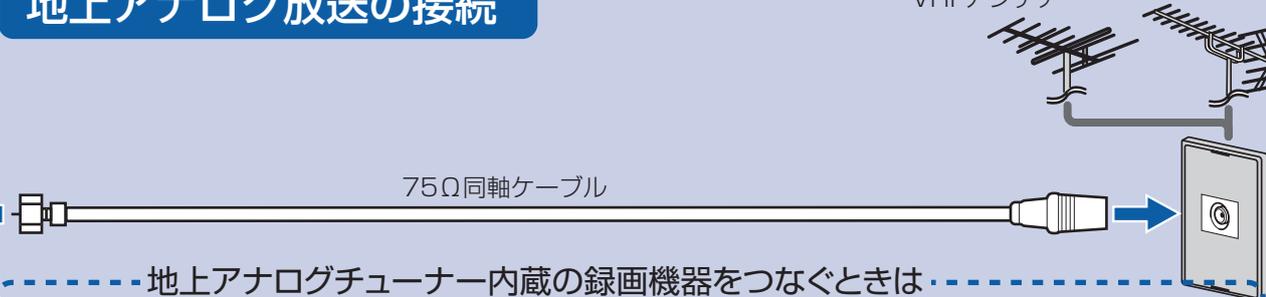
アンテナをつなぐ

アンテナの設置・接続は、できるだけお買い上げの販売店にご依頼ください。
放送の形態によって受信に必要なアンテナは異なります。
アンテナをつなぐ前に、お使いのアンテナを確認してください。

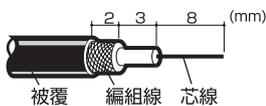
アンテナをつなぐときや、他の機器をつなぐときは本体後面のカバーを外してください。
カバーの外しかたについては19ページをご覧ください。

集合アンテナで放送が混合されているときは

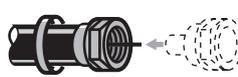
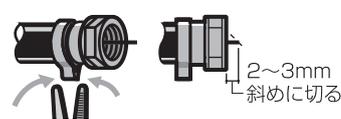
● **地上アナログ放送(VHFとUHF)と地上デジタル放送のアンテナが混合されているとき**

● **すべての放送のアンテナが混合されているとき**

地上デジタル放送の接続

地上デジタル放送対応UHFアンテナ

地上デジタル放送対応
75Ω同軸ケーブル

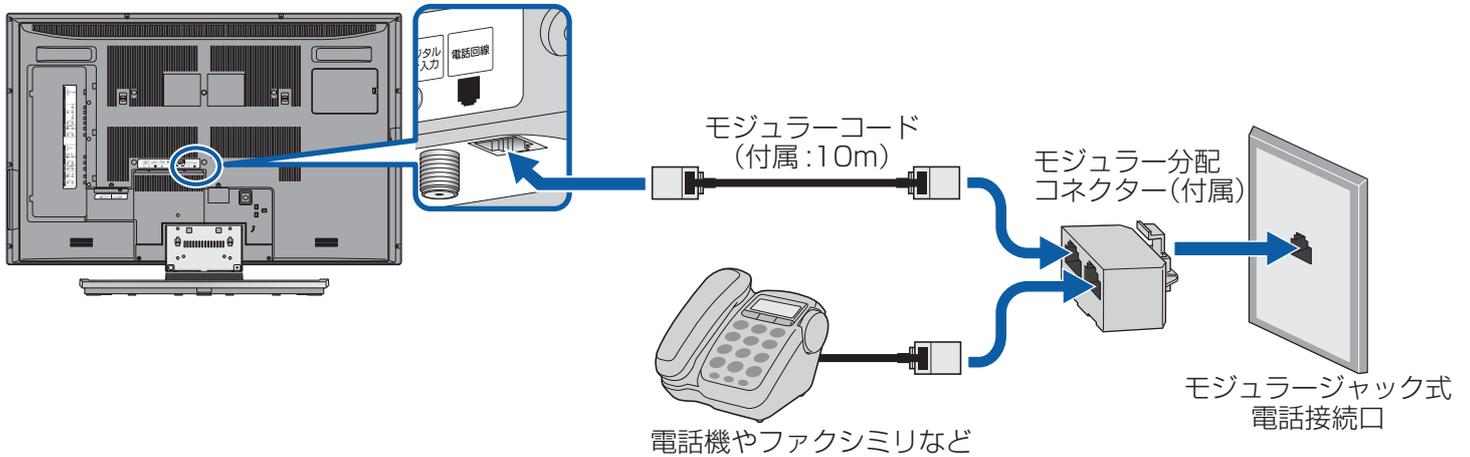
衛星デジタル放送の接続

地上アナログ放送の接続

F型接栓（付属）のつなぎかた（地上アナログアンテナ用）

2種類のF型接栓（4C、5C）を付属しています。お使いのときはケーブルの太さに合わせたタイプをご使用ください。

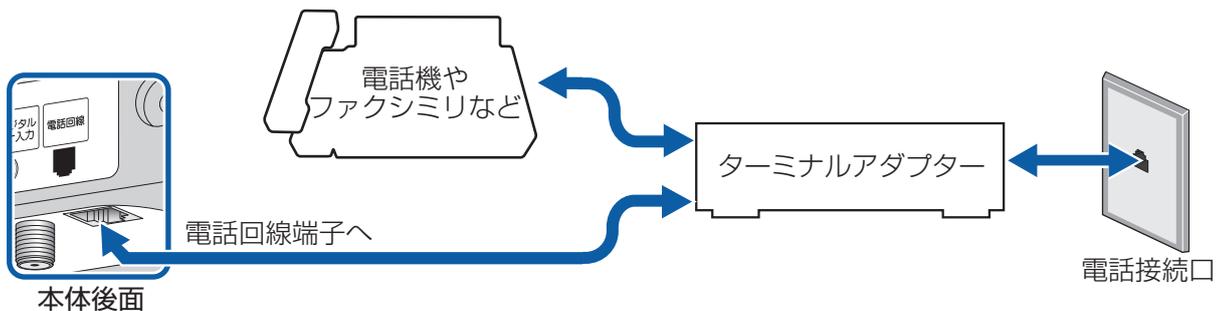
1 ケーブルを加工する

2 リングをとおす

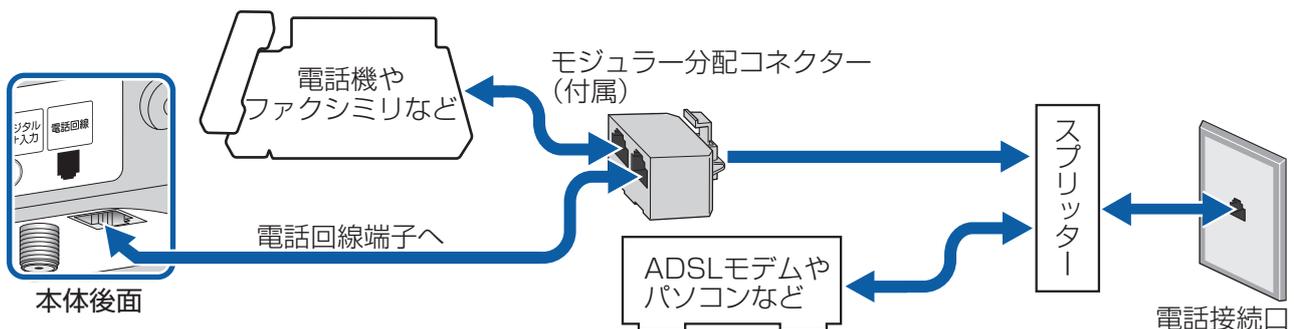
3 コネクターを差し込む

4 リングをペンチで締める

- 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなるので、使わないでください。
  またアンテナ線の接続には、付属のF型接栓をお使いください。
- 芯線と編組線が接触しないようにしてください。
- ケーブルの先端を処理するときは、芯線に傷をつけないようにしてください。
- リングは、必ず被覆の上で締めてください。

電話線をつなぐ

デジタル放送で、有料番組を購入したり(☞37ページ)、クイズやアンケートの回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加するには、電話線を接続してください。

ご注意
- 電話接続口の形状が異なる場合は、お買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。
- 本機は、専用線、公衆電話、共同電話、携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、地域集団電話、ホームテレホンには接続できません。また、構内交換機(PBX)には接続できないものがあります。
- 本機が通信中は、同じ電話接続口に接続されている電話機やファクシミリなどは使用できません。また、一部の電話器やファクシミリでは呼び出し音が鳴ることがあります。そのような場合は、電話機やファクシミリのメーカーにご相談ください。

ISDN回線をお使いのときは

ターミナルアダプター(市販品)が必要です。詳細についてはお買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

ADSL回線(光回線を含む)をお使いのときは

スプリッター(市販品)が必要です。詳細についてはお買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

B-CASカードを入れる

デジタル放送を楽しむにはB-CASカードが必要です。B-CASカードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信できません。B-CASカードを本機に挿入したままでご使用ください。

B-CASカードを台紙から外し、右図のようにカードの表面(矢印の描かれた面)を本体後面と同じ向きにして、本体後面右側のB-CASカード挿入口のふたを開けて差し込みます。

- ご使用になる前に台紙裏面の使用許諾契約約款をよくお読みください。
- B-CASカードは、株式会社ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。破損･紛失などにより再発行を依頼されるときは再発行費用がかかります。B-CASカード(またはB-CASカードの台紙)に記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

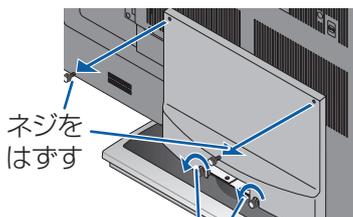
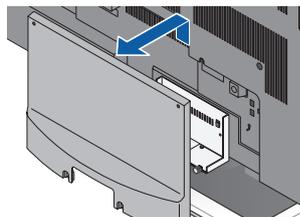
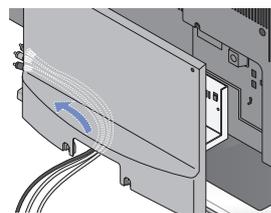
ご注意

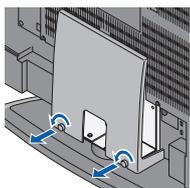
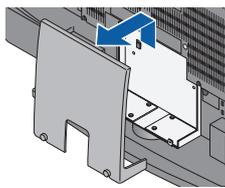
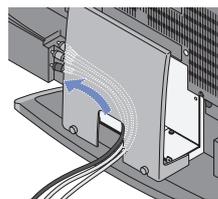
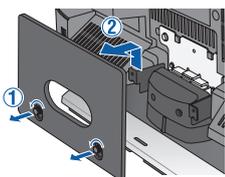
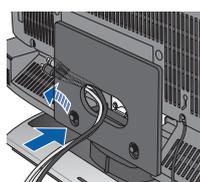
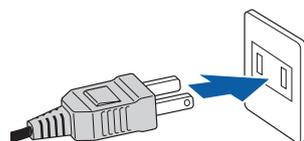
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。また、分解加工は行わないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC(集積回路)部分には手を触れないでください。
- 本機の電源が「入」のときに、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

例:LT-46LH800

挿入口は、本体後面に向かって右上にあります。ふたを開けて挿入してください。

コードをまとめる･電源をつなぐ

LT-46LH800

手前に引いて外す

LT-42LH800、LT-37LH800、LT-37LC85

ネジをゆるめる

手前に引いて外す

LT-32LC85、LT-26LC80

ネジをゆるめ、カバーを手前に引いて外す

- ネジの取り付け･取り外しは、手で行なってください。
- カバーを取り付けるときは、外すときと逆の手順で取り付けます。
- コードをまとめるときは、コードをカバーの穴に通します。

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込む

お買い上げ時の初期設定をする

お買い上げ後はじめて電源を入れると、自動的に「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。指示に従って設定してください。
お買い上げ設定時には、音声案内が流れます。画面と音声の指示に従って設定を進めてください。

ご注意
- 「お買い上げ設定ウィザード」は必ず最後まで行なってください。
- CATV（ケーブルテレビ）を受信するには、CATV各社との受信契約が必要です。スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはお住まいの地域のCATV各社にご相談ください。
- CATVやテレビの中継局から電波を受信している場合は、地上アナログ放送を「お買い上げ設定ウィザード」でうまく受信できません。「お買い上げ設定ウィザード」の終了後、手動で行なってください。（「受信設定を変更する」☞24ページ）
- 「お買い上げ設定ウィザード」を終了していないと、番組を予約できないことがあります。

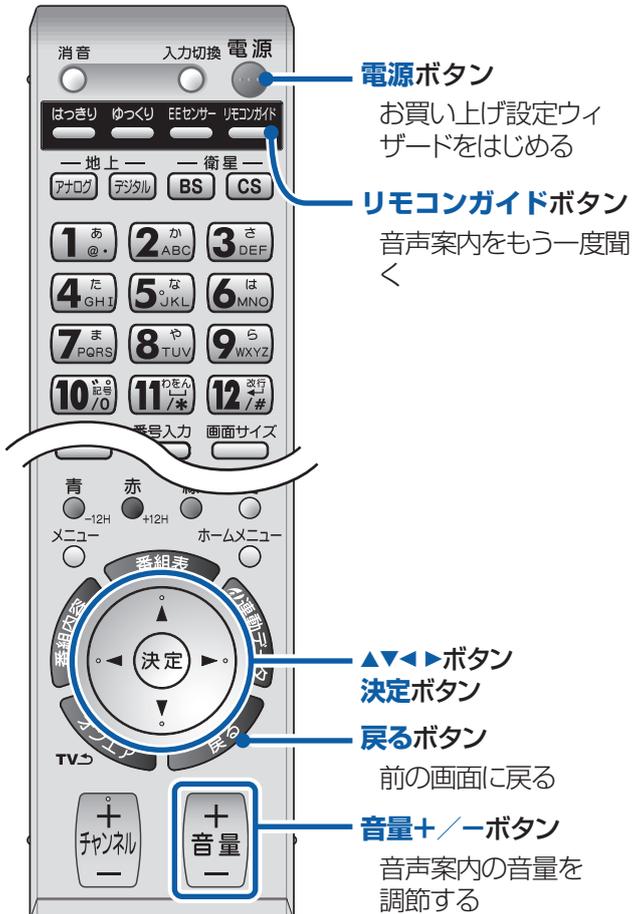
次の準備はすんでいますか？
- アンテナは正しく接続されていますか？（16ページ）
- B-CASカードは挿入されていますか？（19ページ）
- 電話線は正しく接続されていますか？（18ページ）

電源ボタン
お買い上げ設定ウィザードをはじめる

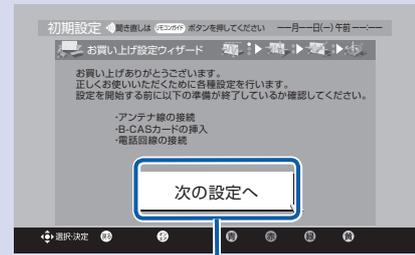
リモコンガイドボタン
音声案内をもう一度聞く

▲▼◀▶ボタン
決定ボタン

戻るボタン
前の画面に戻る

音量＋／－ボタン
音声案内の音量を調節する

地上アナログ放送を設定する

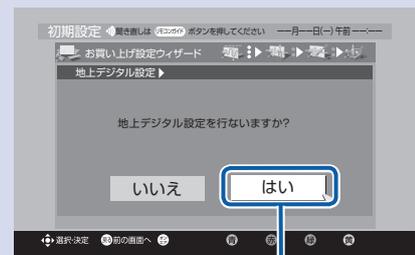
お住まいの地域を選びます

電源ボタンで電源を入れる
しばらくすると、以下の画面が表示されます。

準備を確認し、**決定**ボタンで次へ進む

受信チャンネルを確認します

◀▶▲▼**ボタン**で受信状態を確認する
各チャンネルの映像が正しく表示されていることを確認します。

地上デジタル放送を設定する

地上デジタル設定をはじめる

◀▶**ボタン**で「はい」を選び、**決定**ボタンを押す

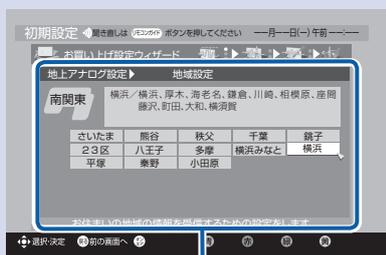
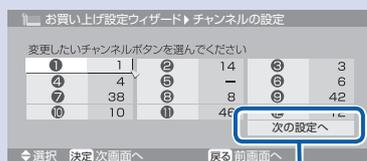
チャンネルをスキャンします

初期設定
お買い上げ設定ウィザード
地上デジタル設定▶ チャンネルスキャン
現在の設定　神奈川県
スキャン中
物理チャンネル　27CH　NHK総合・東京
中　止
お住まいの地域ごとの情報を受信するための設定をします

◀ ▶▲▼**ボタン**で地方を選び、
決定ボタンを押す

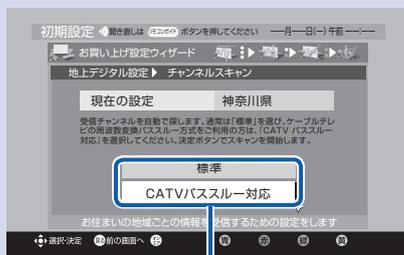
◀ ▶▲▼**ボタン**で地域を選び、
決定ボタンを押す

お知らせ

- お住まいの地域名がないときは、近い地域名を探して設定してください。
- 「1」と「2」がある地域の場合、はじめに「2」を選び、うまく受信できないときは「1」を選んでください。

◀ ▶▲▼**ボタン**で「次の設定へ」を選び、**決定ボタン**を押す

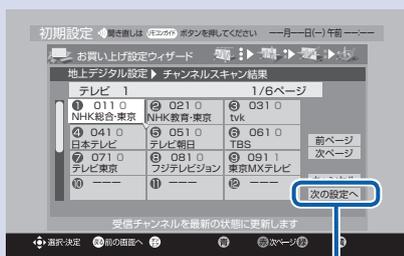
◀ ▶▲▼**ボタン**で「次の設定へ」を選び、**決定ボタン**を押す

- 正しく受信できない場合は、「受信設定を変更する」(☞24ページ)をご覧になり、手動でチャンネルを設定してください。
- 「放送局名」が正しく設定されていないと番組表に表示することができません。地域チャンネル表(☞画面で見るマニュアル)で確認し、正しく設定してください(☞24ページ)。

- 「はい」を選ぶ
  地上デジタル放送の設定に進みます。
- 「いいえ」を選ぶ
  BS/CSデジタル放送の設定に進みます。
  お住まいの地域ではまだ地上デジタル放送が始まっていない場合にはこちらを選びます。

▲▼**ボタン**で選び、**決定ボタン**で決定する

標準	通常はこちらを選びます。
CATVパススルー対応	CATVによる地上デジタル放送の再送信サービスをご利用のときに選びます。

- あらためて地上デジタル放送の受信設定を行うときは、「受信設定を変更する」(☞26ページ)をご覧ください。

チャンネルスキャンが始まります。
終了までしばらくかかります。
途中で止めるときは、「中止」を選び**決定ボタン**を押します。

受信情報を取得します。取得中は、画面にメッセージが表示されます。

▲▼**ボタン**で「次の設定へ」を選び、**決定ボタン**で終了する

チャンネルスキャンがうまくいかないときは

- 地上デジタル放送用のUHFアンテナは正しく接続されているか、またアンテナの向きは正しいかどうか確認してください。地上デジタルアンテナの設置や接続については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

次のページ 地上デジタル放送を設定する に続く

お買い上げ時の初期設定をする(つづき)

チャンネル数字ボタン
数字を入力する
- 0を入力するときは**10**ボタンを押します。

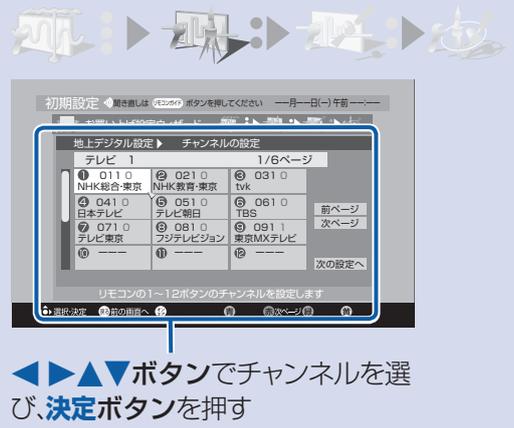
黄ボタン
入力した数字を消す

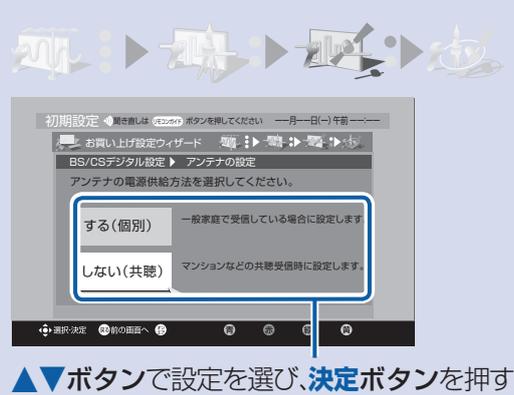
▲▼◀▶ボタン
決定ボタン

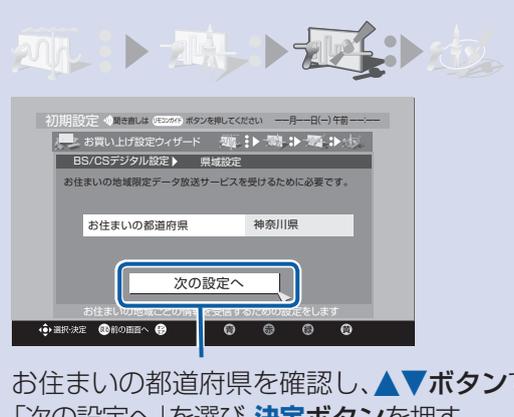
戻るボタン
前の画面に戻る

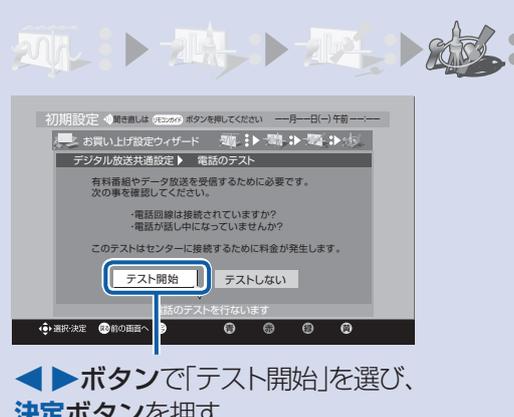
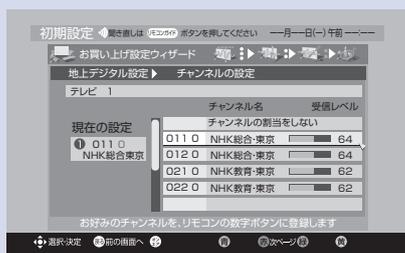
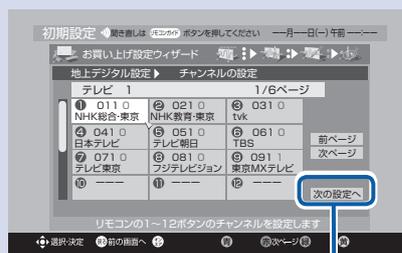
- チャンネル数字ボタンに登録されているチャンネルを変更したり、入れ換えたいときは、「お買い上げ設定ウィザード」の終了後、「受信設定を変更する」(☞24ページ)をご覧ください。
- 引っ越しなどで「お買い上げ設定ウィザード」をやり直すときは、初期設定メニューで「簡単設定ウィザード」を選んでください。(☞62ページ)
- 地域や、アンテナ、電話の設定を変更するときは、初期設定メニューをお使いください。(☞62〜65ページ)
- CATVをご覧の場合や、チャンネルが映らなかった場合は、手動での受信設定が必要です。「受信設定を変更する」(☞24ページ)をご覧ください。

地上デジタル放送を設定する

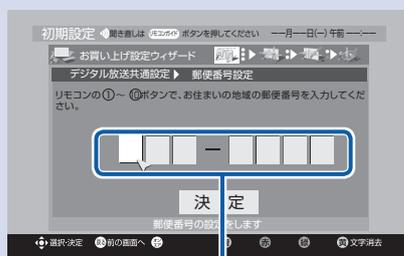
受信チャンネル、受信レベルを確認します

◀ ▶▲▼ボタンでチャンネルを選び、**決定ボタン**を押す

衛星アンテナを設定する

▲▼ボタンで設定を選び、**決定ボタン**を押す

お住まいの都道府県を設定する

お住まいの都道府県を確認し、**▲▼ボタン**で「次の設定へ」を選び、**決定ボタン**を押す

電話回線の接続をテストする

◀ ▶ボタンで「テスト開始」を選び、**決定ボタン**を押す

各チャンネルの受信レベルを確認したあと、**戻るボタン**で前の画面に戻り、次の設定に進む

◀ ▶▲▼ボタンで「次の設定へ」を選び、**決定ボタン**を押す

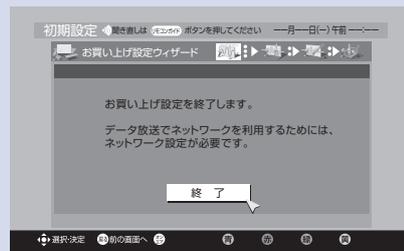
する(個別)	衛星アンテナに電源を供給します。 ご自宅で個別に衛星アンテナを設置している場合など、本機に直接衛星アンテナをつないでいるときに選びます。
しない(共聴)	衛星アンテナに電源を供給しません。 マンションなどで共聴システムをお使いのときや、BSアナログチューナー内蔵の録画機器から電源を供給しているときに選びます。

- 伊豆、小笠原諸島のかたは、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島、鹿児島県のかたは、「鹿児島県島部」を選んでください。
- お住まいの都道府県と違うときは、「お住まいの都道府県」を選び、**決定ボタン**を押します。**▲▼ボタン**でお住まいの都道府県を選び、**決定ボタン**を押してください。

1～10ボタンで入力し、**決定ボタン**を押す

- 数字を消すときは、**黄ボタン**を押します。

テスト開始	電話のテストを行ないます。
テストしない	電話のテストを行ないません。 デジタル放送を受信しないときは、電話のテストは不要です。

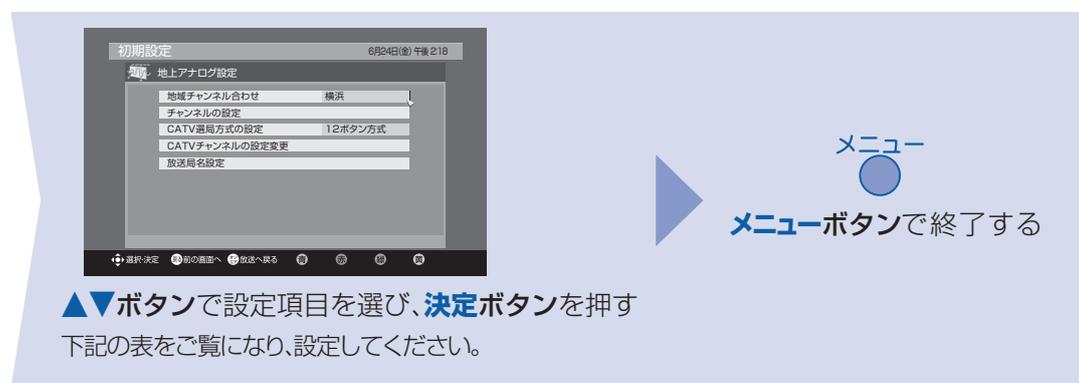
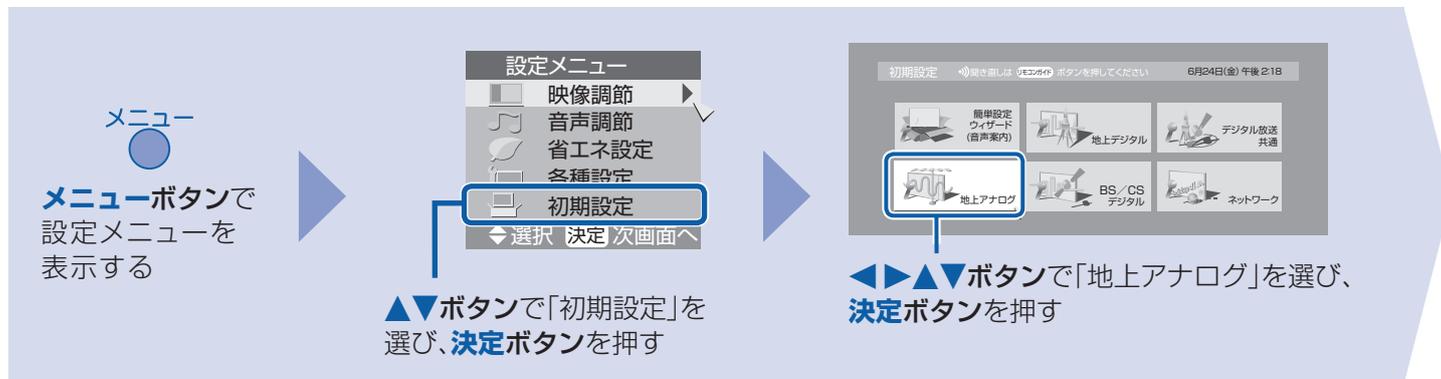
しばらくするとテスト結果が表示されます。

- 「電話のテストに成功しました」次の画面が表示されます。
- 「電話のテストに失敗しました」「お買い上げ設定ウィザード」の終了後、手動で電話設定を行なってください。(☞65ページ)

決定ボタンで終了する

以上で「お買い上げ設定ウィザード」は終了です。

受信設定を変更する

お買い上げ時の初期設定でチャンネルが受信できなかったときや、受信設定を変更するときは、こちらをご覧ください。

地上アナログ放送のとき

地域チャンネル合わせ	お住まいの地域で受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。	「地上アナログ放送を設定する」（☞20ページ）
チャンネルの設定	**1**～**12**のチャンネルボタンごとに、見るチャンネルを設定します。	右記
CATV選局方式の設定	CATVをご覧になるときに設定します。チャンネル番号を直接入力して選局できます。	右記
CATVチャンネルの設定変更	CATVのチャンネル設定を変更します。選局方式で、「数字入力方式」を選んでいるときに設定します。	
放送局名設定	番組表を表示するために、放送局名を設定します。	右記

お知らせ

- CATVと地上アナログ放送の選局方法は共通の設定です。CATVの選局方法を変えると、地上アナログ放送も同じ選局方法になります。
- CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。詳しくはお住まいの地域のCATV各社にお問い合わせください。

チャンネルの設定

◀▶▲▼ボタンで設定したいチャンネルボタンを選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで項目を選び、◀▶ボタンで設定する

別のチャンネルをつづけて設定するときは、**戻る**ボタンで前の画面に戻り、設定したいチャンネルを選びます。

項目名	内容	設定できる選択肢
見るチャンネル	**1**〜**12**ボタンを押したときに受信するチャンネルを設定します。	1〜62、C13〜C38
画面の表示	選局時の画面表示の設定をします。	1〜62、C13〜C38
+−ボタン選局	空きチャンネルを**チャンネル+/−**ボタンで選べないようにする設定(チャンネルスキップ)をします。	見る ↔ スキップ
GRT(ゴースト低減)	「入り」に設定すると、ゴースト(画面が2重・3重になって映る現象)を低減します。	切り ↔ 入り
受像微調整画面へ	映像がもっともきれいになるように調整します。	

CATV選局方式の設定

▲▼ボタンで「数字入力方式」を選び、**決定**ボタンを押す

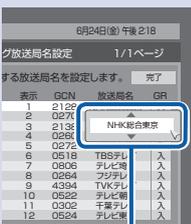
12ボタン方式	ボタンに登録されているチャンネルを選びます。
数字入力方式	**1**〜**9**、**0(10)**ボタンを押してチャンネルを選びます(右記)。

お知らせ

「数字入力方式」でチャンネルを選ぶには

例:
- VHFの1チャンネルを選局するときは**0(10)**、**1**と押す(または**1**を押して約3秒待つ)
- VHFの12チャンネルを選局するときは**1**、**2**と押す
- CATVの34チャンネルを選局するときは**3**、**4**と押す

放送局名設定

▲▼ボタンで設定するチャンネルを選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

- 放送局コードで設定することもできます。
  ◀▶▲▼ボタンで設定したいチャンネルの「GCN」を選び、**決定**ボタンを押します。**1**〜**9**、**0(10)**ボタンでGCNを入力し、**決定**ボタンを押します。(「放送局コード(GCN)一覧表」☞画面で見るマニュアル)

◀▶▲▼ボタンで「完了」を選び、**決定**ボタンを押す

受信設定を変更する(つづき)

地上デジタル放送のとき

メニューボタンで設定メニューを表示する

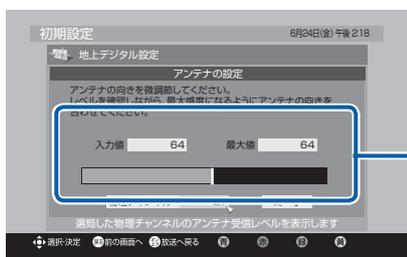
▲▼ボタンで「初期設定」を選び、**決定ボタン**を押す

◀▶▲▼ボタンで「地上デジタル」を選び、**決定ボタン**を押す

▲▼ボタンで設定項目を選び、**決定ボタン**を押す

下記の表をご覧になり、設定します。

メニューボタンで終了する

地域設定	お住まいの地域の情報を受信するための設定をします。	**▲▼ボタン**で、都道府県を選び、**決定ボタン**を押す
チャンネルスキャン	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。 引っ越したとき、新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変わったときに行ないます。	右記
チャンネルの設定	**1〜12ボタン**で、選べる受信チャンネルを変更したり、空きチャンネルに受信できるチャンネルを割り当てることができます。	右記
アンテナの設定	地上デジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。	

チャンネルスキャンが成功すると、現在見ている地上デジタル放送のアンテナ受信レベルを確認できます。受信の目安は50以上です。

各放送局ごとに割り当てられたチャンネルを、物理チャンネルといいます(「用語解説」☞画面で見るマニュアル)。

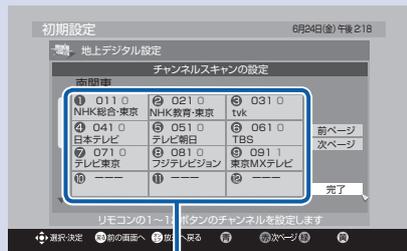
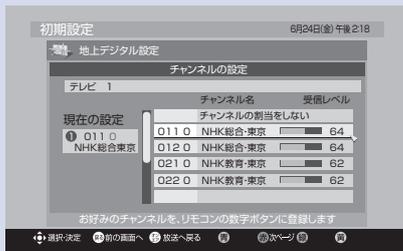
チャンネルスキャン

「地上デジタル放送を設定する」(☞20ページ)と同様に操作し、設定する

▲▼ボタンで「了解」を選び、**決定**ボタンを押す

チャンネルスキャンが始まります。終了までしばらくかかります。

▲▼ボタンで「完了」を選び、**決定**ボタンで終了する

チャンネルの設定

◀▶▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで設定するチャンネルを選び、**決定**ボタンを押す

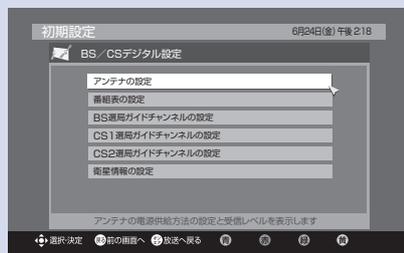
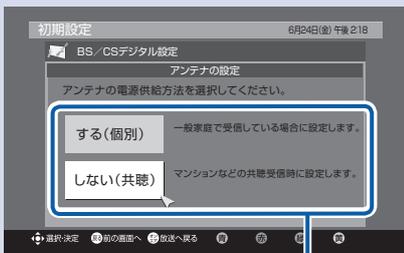
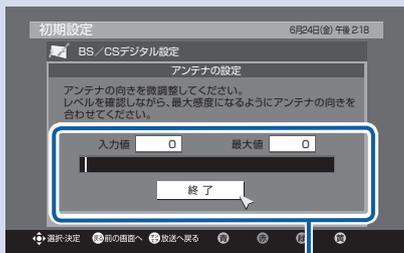
「完了」を選び、**決定**ボタンで終了する

つづけて設定するときは、◀▶▲▼ボタンで設定したいチャンネルを選び、**決定**ボタンを押します。

BS/CSデジタル放送のとき

引っ越したときなど、BS/CSデジタルアンテナを設置しなおしたときに行ないます。

メニューボタンを押して「初期設定」を選び、初期設定メニューを表示させる

◀▶▲▼ボタンで「BS/CSデジタル」を選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで「アンテナの設定」を選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで設定を選び、**決定**ボタンを押す

アンテナの向きを調節する(受信の目安は45以上)

「終了」を選び、**決定**ボタンを押す

お知らせ 番組表の設定、BS、CS1、CS2選局ガイドチャンネルの設定、衛星情報の設定については、62ページをご覧ください。

テレビを見る

この取扱説明書では、主にリモコンを使っての操作を説明しています。

1 電源を入れる、切る

電源 ボタンを押すごとに電源が「入/切」します。

電源/機能待機ランプ
以下の状態で、それぞれの色に点灯します。
- 緑色 ：本機の電源が「入」のとき
- 赤色 ：電源が「切」のの状態で、番組表データを受信したり、録画予約を実行しているとき

通信中ランプ
本機が電話回線を使用しているとき、緑色に点灯します。

録画予約ランプ
録画予約が設定されているとき、橙色に点灯します。

2 見たい放送に切り換える

地上アナログ放送を見る
地上デジタル放送を見る

衛星デジタル放送を見る
110度CSデジタル放送(CS1↔CS2)を切り換えるときは、**CSボタン**をくり返し押します。

3 チャンネルを選ぶ

ボタンに登録されているチャンネルに切り換わります。

チャンネルを順番に変えるとき。

以下の方法でもチャンネルを選べます。
3ケタのチャンネル番号で選ぶ(☞32ページ)
選局ガイドで選ぶ(☞33 ページ)
番組表で見たい番組を探す(☞36ページ)

4 音量を調節する

音量を上げるときは**＋**を押します。

音量を下げるときは**－**を押します。

急いで音を消すとき

もう一度押すと元の音量に戻ります。

オフタイマー

オフタイマー を押す

押すたびに設定時間が変わります。
設定した時間を過ぎると、自動的に電源が切れます。

オフタイマー
切り（解除）
30分
1時間
1時間30分
2時間

しばらくすると選ばれている設定が登録され、表示が変わります。

残り時間の表示を消すには

オフタイマーボタンを押す

オフタイマーを解除するには

オフタイマーボタンを押して、「切り（解除）」を選ぶ

お知らせ

電源の切れる3分前になると再び残り時間が表示され、電源が切れるまで強制的に表示されます。

番組情報を表示する

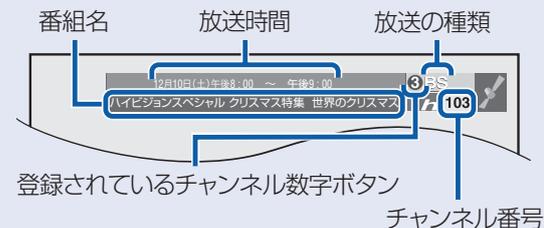
画面表示 を押す

- つないだ機器の映像を見ているときは、外部入力名が表示されます。(☞34ページ)
- 地上アナログ放送のときは、放送の種類、チャンネル数字ボタン、チャンネル番号が表示されます。

例:BSデジタル放送のとき

番組名　放送時間　放送の種類

登録されているチャンネル数字ボタン

チャンネル番号

画面表示を消すには

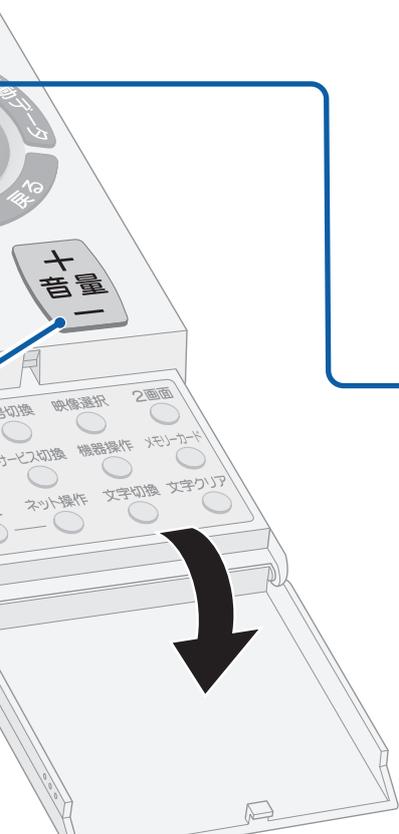
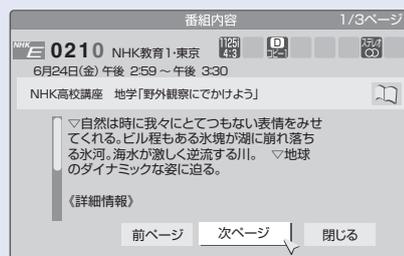
もう一度**画面表示**ボタンを押す

番組の内容を確認する

を押す

番組の詳しい情報が表示されます。

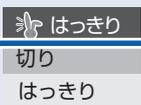
番組の内容表示を消すには

もう一度**番組内容**ボタンを押す

テレビを見る（つづき）

使う人にやさしい機能を使って、「きき楽機能」ではテレビの音声を聞き取りやすく、「E.E.センサー」は画面の明るさを目にやさしくなるように調節します。また、リモコンボタンの操作や機能を音声で説明します。

「はっきりステレオ」で聞く

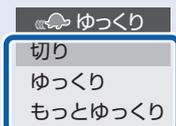
アナウンサーの声やドラマの会話を聞こえやすい自然な音量にします。大きく感じるCMの音量も抑えます。小さな音も聞き取りやすくなるため、臨場感が高まります。

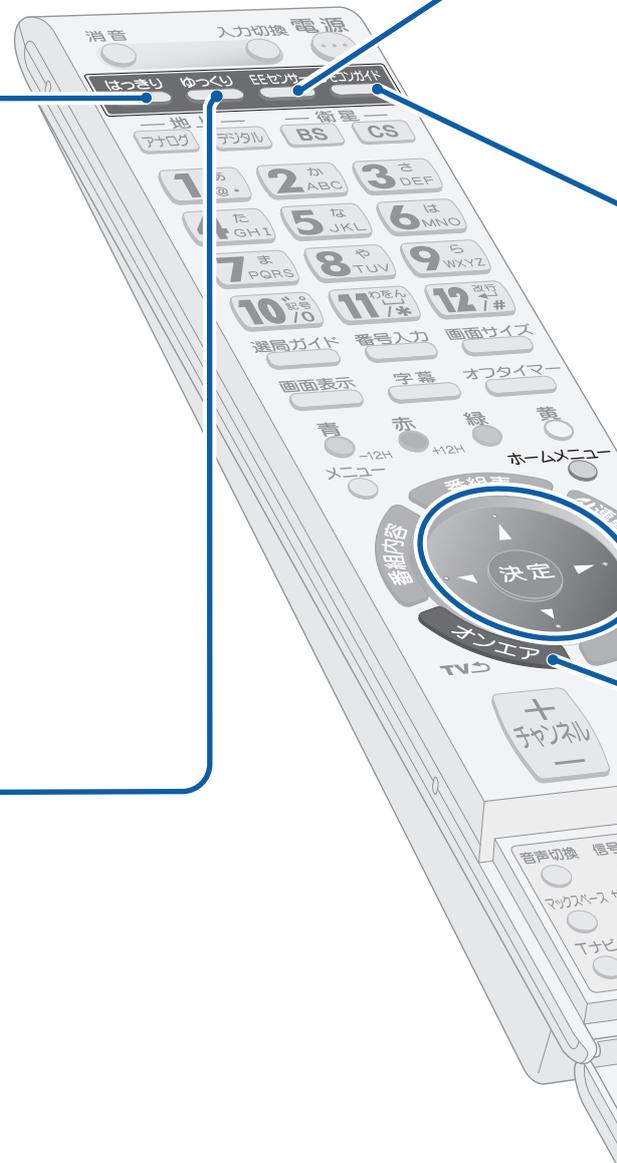
はっきり
を押す

▲▼ボタンで選ぶ

- 番組によっては効果が得られないときがあります。
- 「はっきりステレオ」が「はっきり」のときは、音量を調節したときなどに、設定が確認できます。

「ゆっくりトーク」で聞く

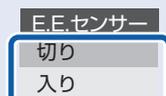
言葉と言葉の間を利用して速度を調節し、会話を自然で聞き取りやすくします。

ゆっくり
を押す

▲▼ボタンで選ぶ

- 放送の内容（音楽など）によっては効果が得られないときがあります。
- ゆっくりトークが「ゆっくり」または「もっとゆっくり」のときは、映像の動きと音声が合わなくなることがあります。
- 「ゆっくりトーク」が「ゆっくり」または「もっとゆっくり」のときは、音量を調節したときなどに、設定が確認できます。

ご注意
- モニター/録画出力端子、光デジタル音声出力端子から出力される音声には効果が出ません。
- リモコンガイドの音声に、この機能は働きません。

画面の明るさを自動で調節する

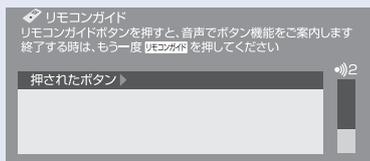
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。
「E.E.」とは、Ecology & Economy（目にやさしい省電力）＋Electronic Eye（電子の目）の略です。

EEセンサー **を押す**

▲▼ボタンで選ぶ

E.E.センサーの効果を、画面に表示できます。
（「E.E.センサーの効果表示」☞60ページ）
- 「E.E.センサーの効果表示」を「入り」に設定すると、SDカードの再生中もE.E.センサーの効果を表示します。

ボタンのはたらきを音声で聞く（リモコンガイド）

リモコンボタンの操作･機能をテレビからの音声でご案内します。

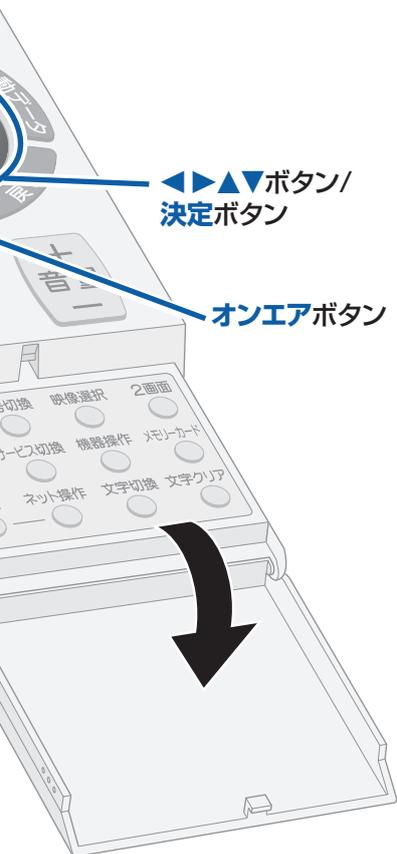
を押す

説明を聞きたいボタンを押す

リモコンガイドの音量を調節するには

音量+/−ボタンを押して音量を5段階で調節します。

リモコンガイドを終了するには

リモコンガイドボタンをもう一度押します。
画面表示が消え、もとの音量に戻ります。

ご注意
見ていた放送の音量が0のときは、リモコンガイドの音声は聞こえません。

デジタル放送のチャンネルを選ぶ

デジタル放送のチャンネルを選ぶときは、チャンネル番号を直接入力する方法や、選局ガイドで選ぶ方法があります。

3ケタのチャンネル番号で選ぶ

1 番号入力を押す

2 1～10を押す

チャンネル番号を入力します。

例:021チャンネルを選ぶとき

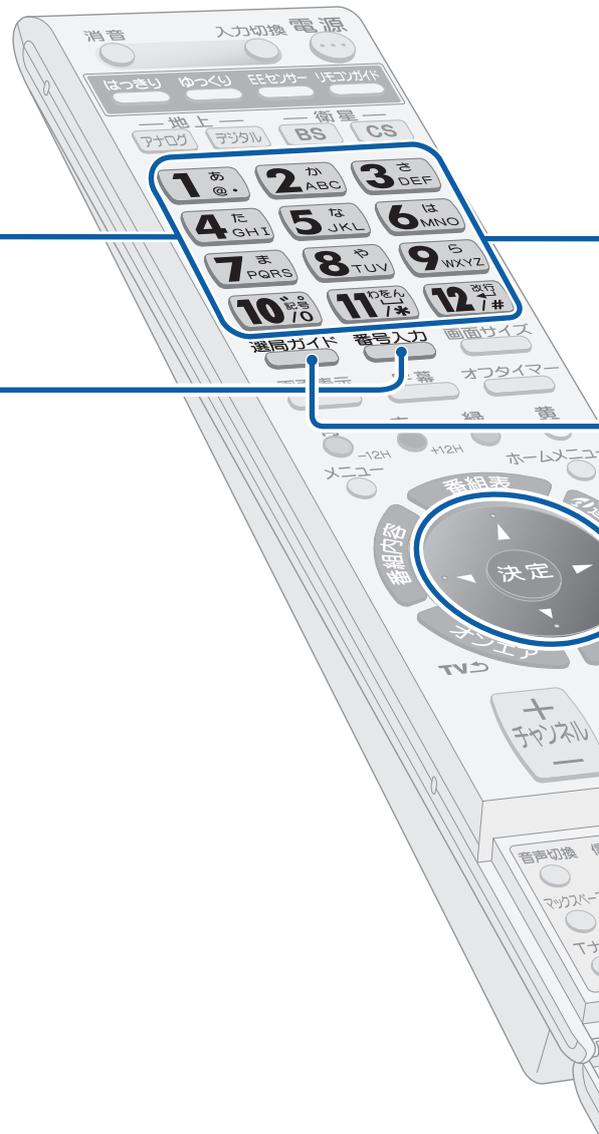
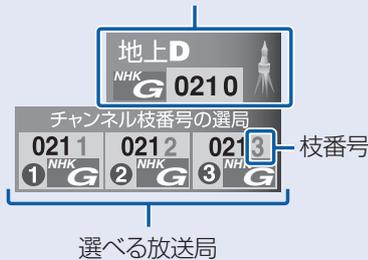
0(10)ボタンを押す　（5秒以内）　**2ボタン**を押す　（5秒以内）　**1ボタン**を押す

枝番号の異なるチャンネルを選局するときは

地上デジタル放送の放送エリア境界付近など、同じチャンネル番号の放送局を複数受信できる地域では、チャンネルを識別し選局できるようにするために枝番号が割り当てられます。(例:011-0、011-1など)

枝番号のあるチャンネルを選んだときは、枝番号を選ぶ画面が表示されます。

1～3、10で見たい放送局を選びます。

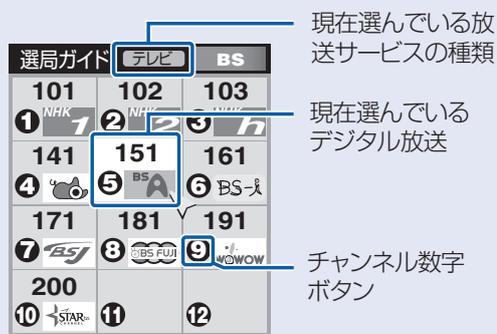
- 枝番号画面が表示されてから5秒間操作をしないと、画面が消えて現在選んでいるデジタル放送が表示されます。

選局ガイドで選ぶ

登録されたデジタル放送のチャンネルを、画面に表示して選べます。
それぞれのデジタル放送のチャンネルを、テレビ放送、ラジオ放送、データ放送でそれぞれ12チャンネルずつ登録できます。

1 選局ガイドを押す

現在選んでいる放送サービスの種類

現在選んでいるデジタル放送

チャンネル数字ボタン

2 1〜12を押す

- 見たいチャンネルのボタンを押します。選んだチャンネルに切り換わります。
- **◀▶▲▼ボタン**で見たいチャンネルを選び、**決定ボタン**を押しても選べます。

選局ガイドにチャンネルを登録するときは

1 **メニューボタン**を押す

2 「初期設定」を選んで**決定ボタン**を押す

3 「BS/CSデジタル」を選んで**決定ボタン**を押す

4 登録したい放送の「選局ガイドチャンネルの設定」を選んで**決定ボタン**を押す
「BS選局ガイドチャンネルの設定」、「CS1選局ガイドチャンネルの設定」、「CS2選局ガイドチャンネルの設定」から選びます。

5 **◀▶▲▼ボタン**で登録したい選局ボタンを選び、**決定ボタン**を押す

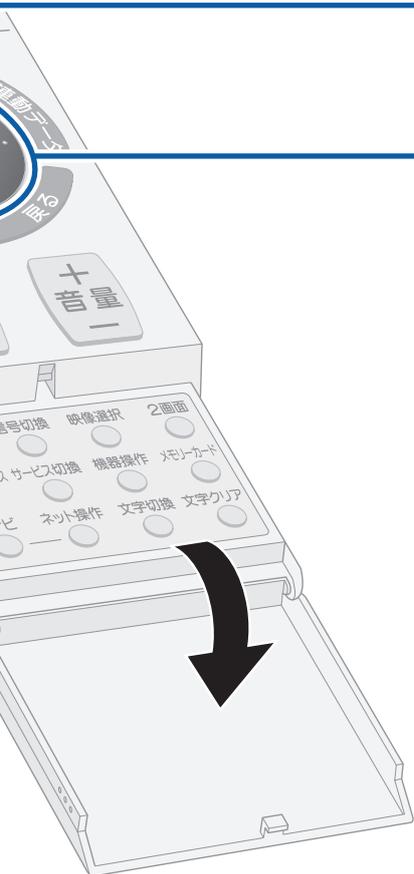
6 **1〜10(0)ボタン**でチャンネル番号を入力し、**決定ボタン**を押す

7 **◀▶▲▼ボタン**で「完了」を選び、**決定ボタン**を押す
チャンネルが登録されます。

登録を消すときは

◀▶▲▼ボタンで消したいチャンネルを選び、**黄ボタン**を押す。

お知らせ

- 地上デジタル放送の選局ガイドは、「チャンネルの設定」(☞27ページ)で設定します。
- 地上デジタル放送は、テレビ放送、データ放送を2ページ(24チャンネル)まで登録できます。2ページ以降を表示するときは、**選局ガイドボタン**をくり返し押して表示します

テレビを見る（つづき）

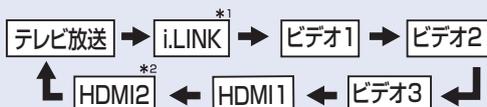
つないだ機器の映像を見る

外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

入力を切り換える

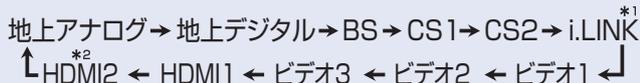
入力切換 を押す

押すたびに次のように切り換わります。

入力切換
地上A　12
①ビデオ1
②ビデオ2
③ビデオ3
HDMI1
HDMI2

- **入力切換ボタン**を押したあと**1**～**3ボタン**を押すと、ビデオ1～ビデオ3入力を直接選べます。

お知らせ

- 本体の**入力切換ボタン**で切り換えるときは、次のようになります。

地上アナログ→地上デジタル→BS→CS1→CS2→i.LINK*1
HDMI2*2←HDMI1←ビデオ3←ビデオ2←ビデオ1

*1 録画機器をi.LINKコードでつないでいるときは、「i.LINK接続機器選択」(☞71ページ)で設定された機器が表示されます。

*2 LT-37LC85、LT-32LC85、LT-26LC80をお使いのときは選べません。

ご注意

外部入力を選んでいるとき、メニュー操作などを行なったあとに**オンエアボタン**を押すと、最後に見ていた放送に切り換わります。その場合は、**入力切換ボタン**を押して見たい外部入力を選び直してください。(またはメニュー画面や設定画面が消えるまで、**戻るボタン**をくり返し押してください。)

外部入力名を表示する

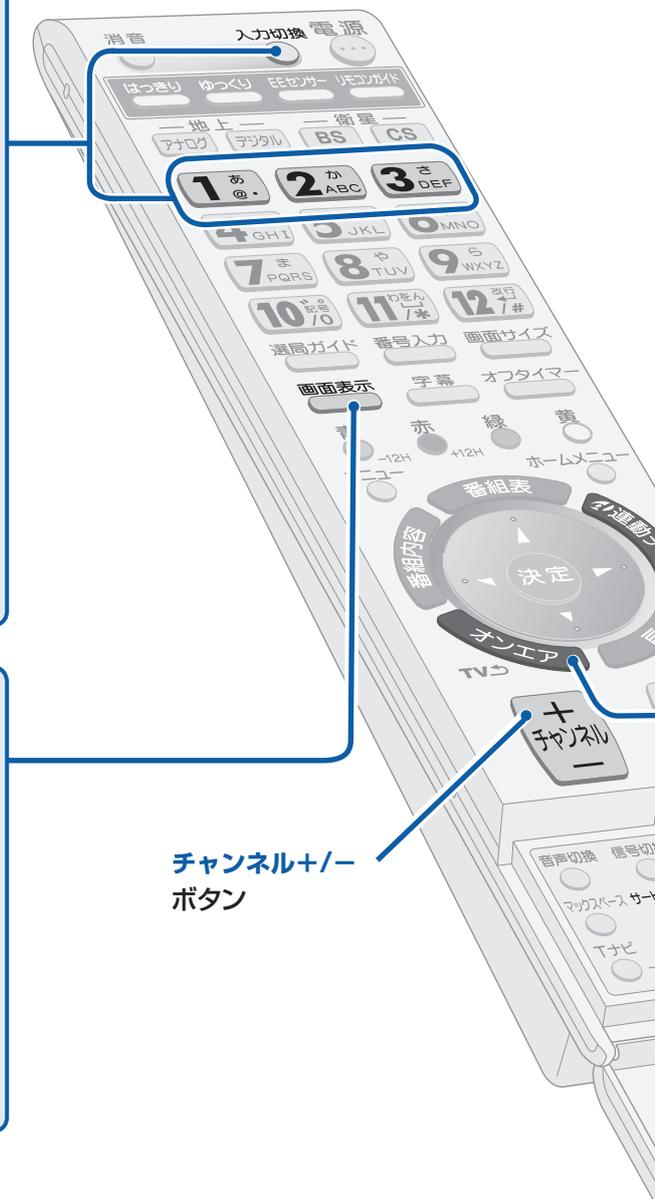
画面表示 を押す

画面右上に外部入力名が表示されます。

画面表示を消すには

画面表示ボタンを押します。

ご注意

映像が映っていないとき(無信号のとき)は表示が消えません。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

デジタル放送では、テレビ放送以外に、データ放送とラジオ放送が楽しめます。
データ放送は番組に関する情報などを見たり、クイズやアンケートなどの双方向サービスを楽しめます。

●データ放送
データ放送では、ニュースやさまざまな情報を見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスが楽しめます。データ放送には、独立データ放送と連動データ放送があります。

- **独立データ放送**（おもに衛星デジタル放送）
  データだけの放送です。テレビ放送と同様に、チャンネルを選んで見ることができます。
- **連動データ放送**
  デジタル放送の番組に連動して、番組に関する情報などを見ることができます。

●ラジオ放送（衛星デジタル放送のみ）
音声のみのラジオ放送と映像や連動データ放送を楽しめるラジオ放送があります。
番組によっては、CD並の高音質で放送されます。

お知らせ

- 双方向サービスを受けるには、電話線の接続および電話設定が必要です。(☞18、65ページ)
- デジタル放送の自動表示メッセージ(放送局からの視聴者への案内など)を消すには、リモコンの**戻る**ボタンを押してください。(自動表示メッセージによっては消えない場合があります。)

独立データ放送やラジオ放送に切り換える

1 サービス切換 を押す

独立型データ放送やラジオ放送が行われていないデジタル放送では、切り換えられません。

テレビ放送 → ラジオ放送 → データ放送

2 チャンネルを選ぶ

チャンネル+/−ボタンを押します。
チャンネルを番号で選んだり、選局ガイドや番組表からも選べます。
(☞32、33、36ページ)

番組に連動したデータ放送を見る

を押す

連動データ放送が行われているときは、切り換わります。

元の番組に戻るには
連動データボタン、または**オンエア**ボタンを押します。

データ放送を操作する
画面の表示に従って、リモコンボタンで操作します。

データ放送を操作するときは

- 画面を見ながらゆっくりと操作してください。
- チャンネルを変えたり、別のデータ放送に切り換えた後は表示に時間がかかります。
- 操作ボタンの表示は、放送局や番組によって異なります。
- 操作ガイドが表示されているときは、その指示に従って操作してください。
- 表示される操作ボタンと実際に操作するボタンが異なることがあります。

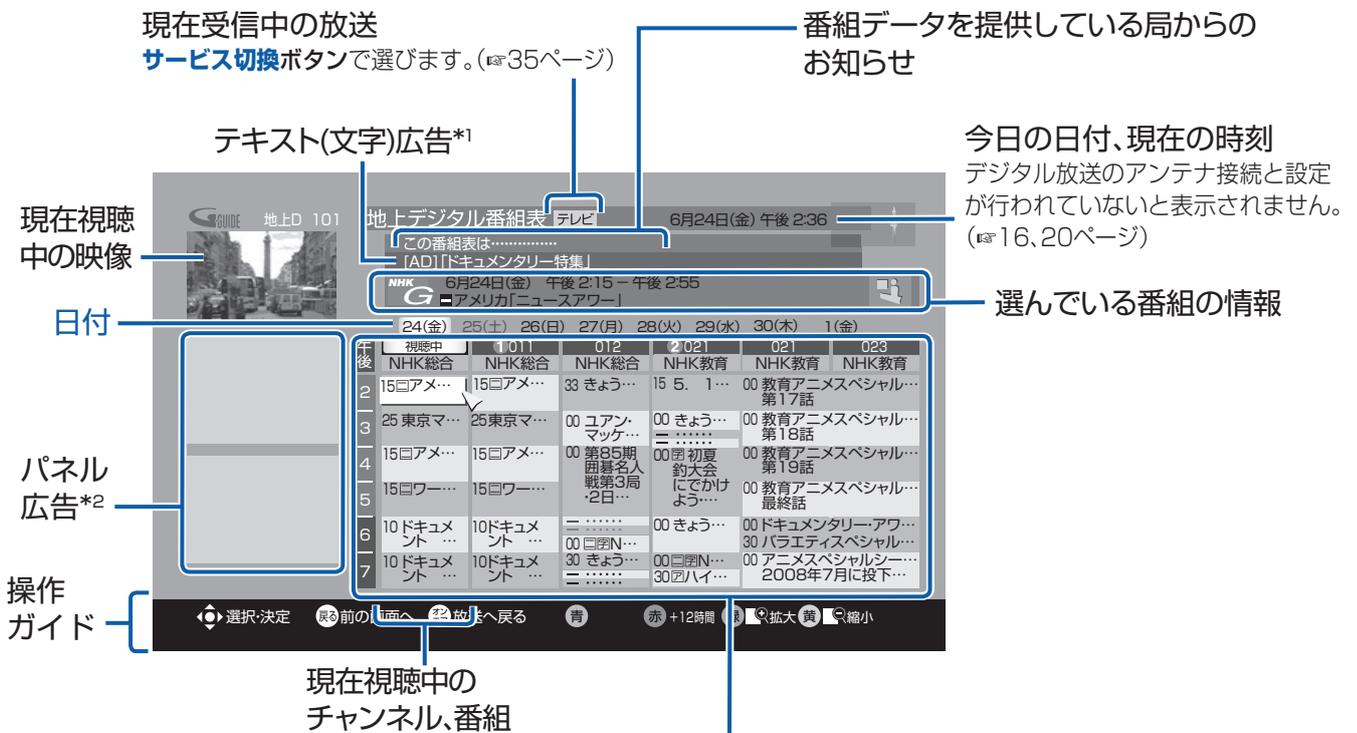
番組表で見たい番組を探す

番組表を使って1週間先までの番組を探すことができます。放送予定の番組を選んで、視聴予約や録画予約ができます。また、放送中の他の番組に切り換えたり、クイック録画機能で放送中の番組を録画することもできます。

番組表で番組を選ぶ

1 番組表 を押す

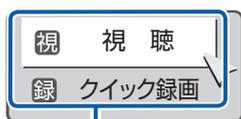
2 番組を選ぶ

◀ ▶▲▼ボタン、**+12H**/**−12Hボタン**を使って、番組を選びます。
- 操作を途中でやめるときは、**番組表ボタン**を押します。
- **緑ボタン**、**黄ボタン**を使って、番組表を3段階で拡大縮小できます。

番組欄(◀ ▶ボタンでチャンネル、▲▼ボタンで時間を選ぶ)
- 画面に表示しきれない短時間番組は、番組間の区切りに点線で表示されます。
- 視聴予約、録画予約された番組は、番組のタイトルにアイコンが表示されます。（☞画面で見るマニュアル）
  画面に表示しきれない短時間番組は、視聴予約は点線が**青**、録画予約は**赤**で表示されます。
- BS/CSデジタル放送、地上デジタル放送には最大で3つの異なる番組を同時に放送する番組があります。（サブチャンネル）
  デジタル録画ではサブチャンネルの番組も録画できます。

*1 **▲▼ボタン**で選び**決定ボタン**を押すと、「広告詳細」が表示されます。
*2 **◀ ▶▲▼ボタン**で選ぶと、「広告詳細」が表示されます。

3 決定ボタンを押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、その番組を視聴するか、クイック録画ができます。（☞37ページ）
- 放送予定の番組を選んだときは、視聴予約か録画予約ができます。（☞37ページ）

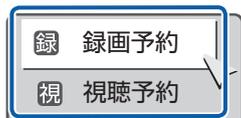
放送中の番組を選んだときは

▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

視聴	選んだ番組に切り換わります。
クイック録画	選んだ番組の出力信号を録画するために、チャンネルがロックされます。

クイック録画の手順
ビデオリモートコントローラーを使って録画機器との連動はできません。あらかじめ本機に録画機器を接続し、本機での録画予約終了後は、録画機器側での操作が必要です。
以下の手順で操作してください。

1 本機と録画機器を接続する
2 番組表で放送中の番組を選ぶ
3「クイック録画」を選び、「番組の予約」メニューを設定する
4 録画機器側の操作をする
　1 録画機器の入力をテレビを接続した外部入力に切り換える
　2 手動で録画/停止の操作を行なう

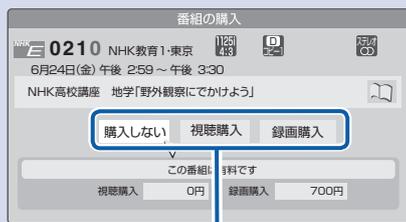
放送予定の番組を選んだときは

録　録画予約
視　視聴予約

▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

録画予約	予約した番組を録画します。(☞40ページ)
視聴予約	番組の開始約15秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。本機の電源が入っていないと、実行されません。

お知らせ

選んだ番組が、有料(ペイ・パー・ビュー)だったときは、番組の購入画面が表示されます。以下の手順で購入してください。

購入確認画面が表示されているときに、**決定**ボタンを押す

◀▶ボタンで選んで、**決定**ボタンを押す

視聴購入	番組を購入したことになり、視聴ができます。録画機器で録画することはできません。
録画購入	番組を購入したことになり、視聴/録画ができます。録画機器で録画するときに選んでください。

- コピーガードのかかっている番組は録画できません。
- 視聴制限のある番組を選んだときは暗証番号の入力が必要になります。(☞64ページ)

番組表について

最新の番組表をお使いになるためには
電源を切るときには、電源プラグを抜かずに本体またはリモコンの**電源ボタン**で電源を「切」にしてください。
- 本機を初めてご使用になるときや、約1週間以上コンセントを抜いていたときは、各放送局が提供する番組表が表示されます。リモコンで電源を切った状態で、しばらくお待ちください。

番組表のデータ受信について
- 番組表は、BSデジタル放送のGガイドや、デジタル放送の電波で、1日数回配信されます。
  受信にはBS·110度CSデジタルアンテナ、地上デジタルアンテナの接続と設定が必要です。
- 地上アナログ放送の番組表は、BSデジタル放送のGガイドから配信されます。
  必ず、BS·110度CSデジタルアンテナの接続と設定が必要です。
  次回の配信時刻は、Gガイド受信確認(☞63ページ)をご覧ください。

電源を入れたときに
- 電源を入れた後、番組表、番組内容表示などの機能が働くようになるまでに10秒程かかる場合があります。
- 放送局の都合により番組が変更された場合は、番組表と実際の放送内容が一致しないことがあります。

ご注意
BS·110度CSデジタルアンテナを接続していないときは、地上デジタル放送の番組表のみが表示されます。テキスト広告やパネル広告は表示されません。

番組を検索する

ホームメニューを使って、指定したジャンル、キーワード、人名から番組を検索できます。

ご注意
- BS·110度CSデジタルアンテナが接続されていないと、番組データが取得できません。
- 検索に時間がかかる場合があります。
- ジャンルやキーワード、人名に表示される項目は変更される場合があります。

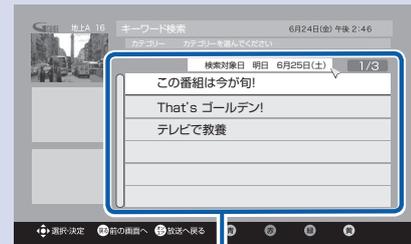
◀▶▲▼ボタンで選び、**決定ボタン**を押す

ジャンルから探す

番組のジャンル(種類)を指定して検索できます。

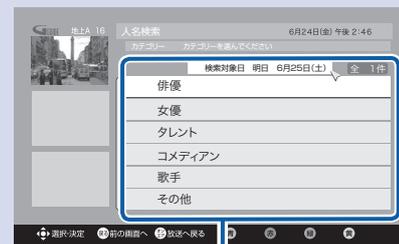
◀▶▲▼ボタンでジャンルを選び、**決定ボタン**を押す

キーワードから探す

見たい番組の種類をキーワードで指定して検索できます。

▲▼ボタンでカテゴリーを選び、**決定ボタン**を押す

人名から探す

番組の出演者などを指定して検索できます。

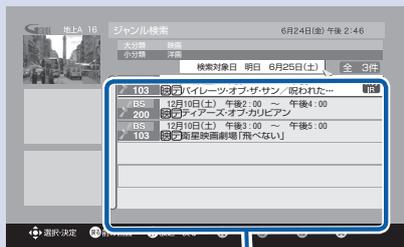
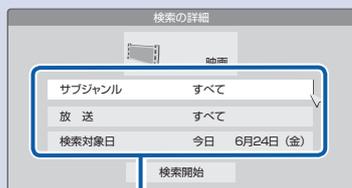
▲▼ボタンでカテゴリーを選び、**決定ボタン**を押す

下記の手順で
検索する

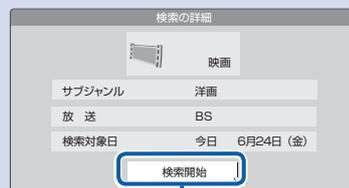
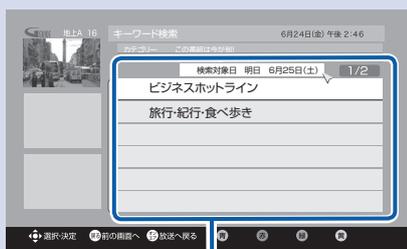
検索結果を確認する

▲▼ボタンで選び、
決定ボタンを押す

お知らせ

検索した番組の予約を行なうときは

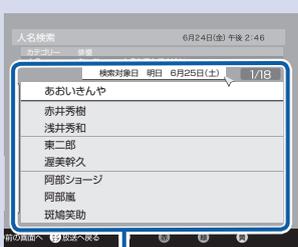
- 「録画予約する」(☞40ページ)
- 放送中の番組を選んだときは、「視聴」、「クイック録画」を選ぶ画面が表示されます。(☞37ページ)

▲▼ボタンで「サブジャンル」、「放送」、「検索対象日」を選び、
決定ボタンを押す

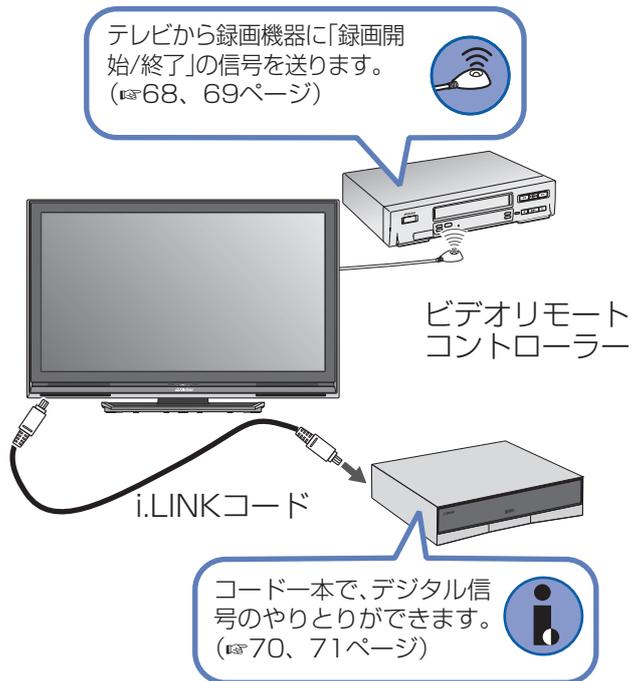
サブジャンル	ジャンルをさらに細かく分けて選びます。
放送	検索する放送(すべて/地上アナログ/地上デジタル/BS/CS1/CS2)を選びます。
検索対象日	検索する番組の放送日を選びます。

▲▼ボタンで「検索開始」を選び、
決定ボタンを押す

▲▼ボタンでキーワードを選び、
決定ボタンを押す

- ▲▼ボタンで「検索対象日」を選んで**決定**ボタンを押し、検索する日を選び、**決定**ボタンを押します。

▲▼ボタンで頭文字を選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで人名を選び、
決定ボタンを押す

- ▲▼ボタンで「検索対象日」を選んで**決定**ボタンを押し、検索する日を選び、**決定**ボタンを押します。

録画予約する

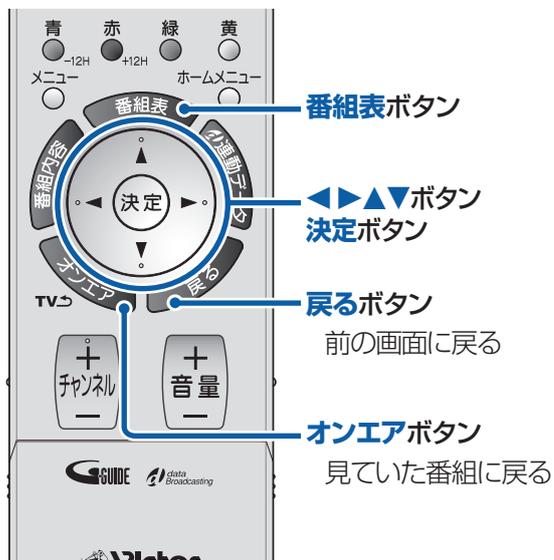
ビデオリモートコントローラーや、iLINKコードを使って、録画予約できます。

ご注意

- ビデオリモートコントローラーが使えない録画機器をお使いのときは、本機での設定と別に、録画機器でも予約設定を行う必要があります。そのとき本機では「録画機器」を「非連動」に設定してください。録画予約が終わったら、録画機器側で本機と接続した外部入力を選び、番組の開始時刻に合わせて録画機器の録画予約を行なってください。
- お使いのDVDレコーダーによっては、ビデオリモートコントローラーとの接続でDVDやHDDに録画予約ができない場合があります。あらかじめ、試し録画をしてください。
- 予約録画の実行中にi.LINKコードを抜き差ししないでください。予約途中で終了することがあります。

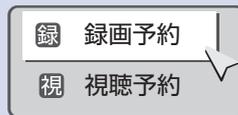
番組表ボタン

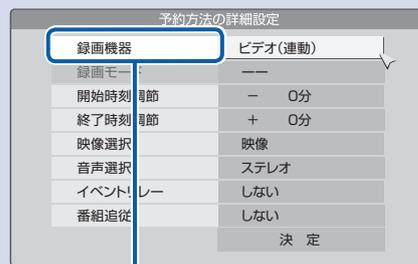
◀▶▲▼ボタン
決定ボタン

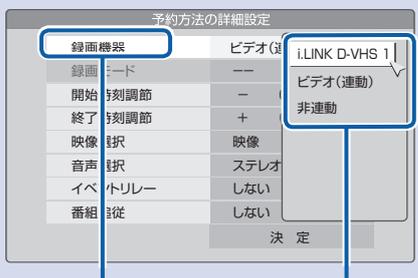
戻るボタン
前の画面に戻る

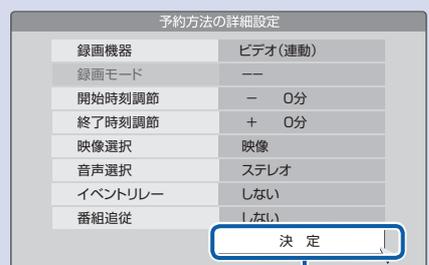
オンエアボタン
見ていた番組に戻る

録画予約する

番組表で、録画予約したい番組を選んで、**決定ボタン**を押す
（☞36ページ）

録 録画予約
視 視聴予約

▲▼ボタンで、「録画予約」を選び、**決定ボタン**を押す

ビデオリモートコントローラー

▲▼ボタンで「録画機器」を選び、**決定ボタン**を押す

i.LINK機器

▲▼ボタンで「録画機器」を選んで**決定ボタン**を押し、**▲▼ボタン**で使用する録画機器を選んで**決定ボタン**を押す

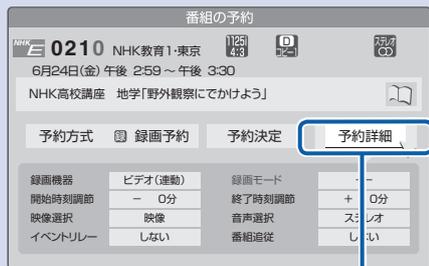
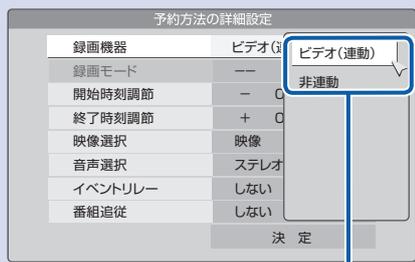
予約の詳細を決定して終了する

▲▼ボタンで「決定」を選び、**決定ボタン**を押す

予約の詳細については、42ページをご覧ください。

◀ ▶ボタンで「予約詳細」を選び、**決定ボタン**を押す

お知らせ

- アナログ録画:
  ビデオリモートコントローラーを使って録画予約するときは「ビデオリモートコントローラー」へ進みます。
- デジタル録画:
  i.LINK接続した機器を使って録画予約するときは「i.LINK機器」へ進みます。

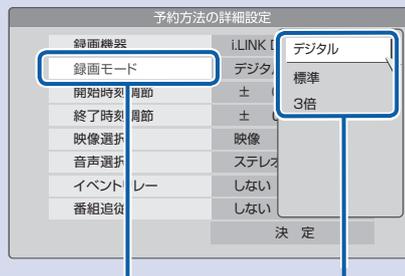
予約方法の詳細設定
録画機器　ビデオ(連動)
録画モード　－－
開始時刻調節　－　0
終了時刻調節　＋　0
映像選択　映像
音声選択　ステレオ
イベントリレー　しない
番組追従　しない
決定
ビデオ(連動)
非連動

▲▼ボタンで使用する録画機器を選び、**決定ボタン**を押す

ビデオ(連動) DVD(連動)	ビデオリモートコントローラーを使って録画するとき。
非連動	ビデオリモートコントローラーが使えないとき。

i.LINK D-VHS1	D-VHSビデオデッキで録画するとき。
i.LINK HDR1	ハードディスクレコーダーで録画するとき。
i.LINK BD1	ブルーレイディスクレコーダーで録画するとき。

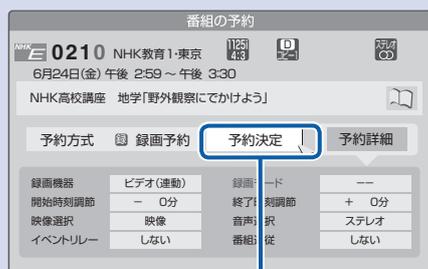
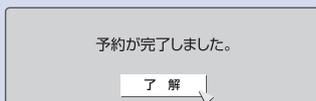
末尾の数字は、i.LINK接続している機器に割り当てられる番号です。同じ種類の機器が複数あるときは、末尾の数字が増えます。
(☞71ページ)

お知らせ

複数のi.LINK機器をつないでいるときは、「i.LINK機器を設定する」
(☞71ページ)で、録画したい機器の番号を確認してください。

▲▼ボタンで「録画モード」を選び、**決定ボタン**を押し、**▲▼ボタン**で「デジタル」を選び、**決定ボタン**を押す

「デジタル」以外の録画モードを選ぶとアナログでの録画になります。

◀ ▶ボタンで「予約決定」を選び、**決定ボタン**を押す

予約が完了しました。
了 解

決定ボタンを押す

テレビ画面に戻ります。
オンエアボタンを押す

- 本機の電源が「入」のときは、予約した番組が始まる約20秒前になると、「まもなく予約された番組が開始されます。」と画面に表示されます。約15秒前になると予約したチャンネルに切り換わります。本機と連係して録画機器の電源が入り、録画が始まります。
- 予約変更や取り消しについては、「予約を取り消す/変更する」(☞44ページ)をご覧ください。
- ビデオリモートコントローラーを使って録画予約するときは、以下の手順で録画機器側を準備します。
  1. 録画機器の入力をテレビを接続した外部入力に切り換える
  2. 録画機器の録画モードを設定する。
  3. 録画機器の電源を「切」にする。

予約の詳細設定をする

複数の信号があるデジタル放送の番組を予約するときや、放送時間の変更に合わせるなど、予約時の動作を細かく設定できます。

◀▶▲▼ボタンで「予約詳細」を選び、**決定ボタン**を押す

▲▼ボタンで項目を選び、**決定ボタン**を押す

各項目を設定して**決定ボタン**を押し、
▲▼ボタンで「決定」を選んで、**決定ボタン**を押す

予約時刻を修正する

開始時刻調節	番組が始まる前から予約を始められます。最長5分前まで修正できます。	−0 分 ～ −5分
終了時刻調節	番組が終了した後まで予約を続けられます。最長1時間後まで修正できます。	+0分、+15分、+30分、+45分、+60分

お知らせ 有料番組(ペイ･パー･ビュー)は1分前から視聴/録画が始められます。「イベントリレー」、「番組追従」を「する」に設定している番組は、予約開始時刻･予約終了時刻を変更できません。

映像信号を選ぶ

映像選択	映像信号が複数あるときに設定できます。	映像、(サブ1)、(サブ2) 信号が複数あるときのみ表示

音声信号を選ぶ

音声選択	音声信号が複数あるときに設定できます。	日本語/英語、主、副

番組が延長されたときの設定をする

イベントリレー	予約した番組が、別のチャンネルで延長されるときに、つづけて予約を実行します。(放送局からの情報があるときのみ)	する、しない
番組追従	放送時間の変更に合わせて、予約の開始時刻から最大3時間までの遅れに対応します。イベントリレーは行ないません。	する、しない

お知らせ 「イベントリレー」を「する」に設定すると、「番組追従」が「する」に固定されます。
またイベントリレーの実行中、他の予約は中止されます。

ご注意
番組や予約の方法によっては、設定できない項目があります。

プログラム予約する

画面で見るマニュアル

日時とチャンネルを指定して予約することもできます(プログラム予約)。

プログラム予約には、以下の2通りの方法があります。

- **日付指定**
  最大1カ月先までの日付を指定できます。
- **連続予約**
  「毎日」、「毎週」、「毎日(月)〜(土)」(連続6日間)、「毎日(月)〜(金)」(連続5日間)の4種類から選べます。

お知らせ

デジタル放送が受信できないときは、プログラム予約ができません。

ホームメニュー

ホームメニューボタンを押す

◀▶▲▼**ボタン**で「プログラム予約」を選び、**決定ボタン**を押す

◀▶▲▼**ボタン**を押して項目を選び、**決定ボタン**を押す

▲▼**ボタン**で「予約決定」を選び、**決定ボタン**を押す

予約完了メッセージが表示されます。

決定ボタンを押す

- 予約の手続きを中止するときは、**戻るボタン**を押します。

オンエアボタンを押す

テレビ画面に戻ります

プログラム予約できる項目

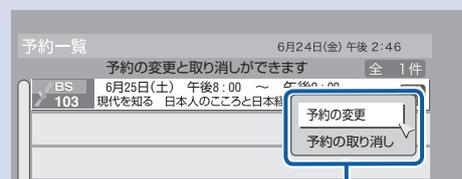
予約方式	録画するか視聴するかを設定します	録画予約、視聴予約	
日付	プログラム予約を始める日付を設定します。	当日から一ヶ月	
開始時刻	開始時刻を設定します。	1分刻みで設定します。ボタンを押し続けると15分刻みになります。	
終了時刻	終了時刻を設定します。	1分刻みで設定します。ボタンを押し続けると15分刻みになります。	
放送	放送の種類を設定します。	地上アナログ、地上デジタル、BS、CS1、CS2	
チャンネル	チャンネル番号を設定します。	▲▼**ボタン**で入力します。	
録画機器	ビデオリモートコントローラーを使うか、iLINKを使うかを設定します。	接続している機器を選びます。(録画予約のみ)	
録画モード	デジタル録画かアナログ録画を設定します。	デジタル、標準、3倍（録画予約のみ）	
毎週／毎日	録画をする日を選びます。	**1回のみ**	設定した日のみ録画する。
		毎週	毎週同じ曜日、時刻に録画する。
		毎日	毎日同じ時刻に録画する。
		毎日 月〜土	月曜から土曜まで同じ時刻に録画する。
		毎日 月〜金	月曜から金曜まで同じ時刻に録画する。

予約を取り消す/変更する

予約した番組の確認や変更、取り消しができます。

ご注意
- 予約開始の約3分前からは予約内容を変更しないでください。予約が正しく実行されない場合があります。
- i.LINK接続した録画機器からの予約を変更または取り消す場合は、予約を設定した機器で行なってください。

ホームメニューボタンを押す

◀▶▲▼**ボタン**で「予約一覧」を選び、**決定ボタン**を押す

▲▼**ボタン**で選び、**決定ボタン**で設定する

予約についてのご注意

- 予約できる件数は視聴予約、録画予約と合わせて、21件までです。
- ビデオリモートコントローラーで録画予約するときは、録画の設定動作に若干の時間が必要なため、録画予約するときは開始時刻の2分30秒前、クイック録画するときは録画終了時刻の2分30秒前には予約設定を終了してください。開始時刻や終了時刻の直前に設定すると録画予約やクイック録画に失敗することがあります。
- ビデオリモートコントローラーで録画するときや、クイック録画を行うときは「ビデオ(連動)」、「DVD(連動)」での録画はできません。
- デジタル放送を録画予約した場合、予約録画の実行中は、選局などの機能が使用できなくなります。これらの操作を行うと、予約録画を中止しても良いかの確認画面が表示されます。
- ビクター製DVDレコーダーDR-M1でビデオリモートコントローラーを使って録画した場合、「録画できない部分がありましたので一部録画できませんでした。」とのメッセージが表示されることがありますが、録画には支障ありません。
- 地上アナログ放送、地上デジタル放送の主/副音声放送番組を録画すると、設定にかかわらず「主/副音声」で録画されます。

予約の優先順位
- イベントリレーや番組追従で予約が延長されたとき、他の予約と時間が重なってしまったときは、予約に失敗することがあります。
- チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約15秒早く終了します。
- 録画機器側で他の予約を設定し、本機での予約と重複した場合などには、録画予約がうまく動作しない場合があります。

コピーガード
- 番組によっては録画できないものもあります。番組の内容説明をご確認ください。(☞37ページ、画面で見るマニュアル)

マクロビジョン
- 著作権保護された番組をビデオなどで録画する場合、著作権保護のための機能が働いて、正常に録画できません。また、著作権保護された番組をビデオデッキを介して本機で見た場合、映像が乱れることがありますが故障ではありません。

▲▼ボタンで選び、**決定ボタン**で設定する

- 8件以上の予約がある場合は、**▲▼ボタン**を押すと表示されます。

予約の変更	「番組の予約」画面が表示されます。予約設定時と同様の操作で、予約を修正することができます。(☞37、40ページ)。 予約の変更が終わったら、**◀ ▶ボタン**で「予約変更」を選んで、**決定ボタン**を押します。
予約の取り消し	予約が取り消されます。

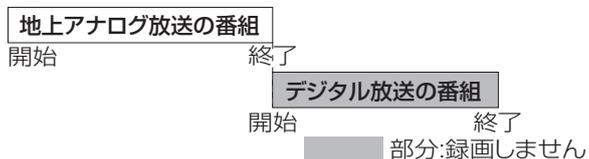
お知らせ

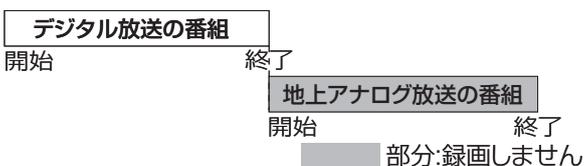
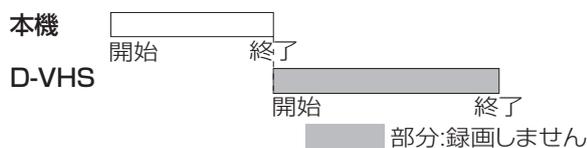
- プログラム予約での予約を変更するときは「プログラム予約」画面が表示されます。プログラム予約と同様の操作で修正できます。(☞43ページ)
- 番組表からも、予約している番組を選んで変更や取り消しができます。
  番組表を表示しているときに、予約している番組を選んで**決定ボタン**を押すと、「予約の変更、予約の取り消し」画面が表示されます。**▲▼ボタン**で選び、同様の操作で修正ができます。

D-VHSビデオデッキで録画予約するとき

ビクター製D-VHSビデオデッキで、次のように録画予約すると、2番組目が録画できません。

- 「地上アナログ放送のあとに、デジタル放送を録画予約」した場合

地上アナログ放送の番組
開始　終了
デジタル放送の番組
開始　終了
部分:録画しません

- 「デジタル放送のあとに、地上アナログ放送を録画予約」した場合

デジタル放送の番組
開始　終了
地上アナログ放送の番組
開始　終了
部分:録画しません

- 本機の予約終了時刻とD-VHSビデオデッキの予約開始時刻が同じ場合

- D-VHSビデオデッキの予約終了時刻と本機の予約開始時刻が同じ場合

このような場合は、以下のように予約してください。

方法1　予約するときに、録画予約の「録画機器」の設定を「ビデオ(連動)」にしてください。(ビデオリモートコントローラーでのアナログ録画になります。)

方法2　「プログラム予約」(☞43ページ)を使って、1番組目と2番組目のあいだに**1分以上の間隔**ができるように予約してください。(デジタル放送がi.LINKでデジタル録画されます。)

便利な機能を使う

リモコンのボタンを押すだけでお使いいただける便利な機能です。

字幕を表示する

字幕 を押す

押すたびに切り換わります。

字幕選択
字幕切
日本語

- 字幕情報のない番組ではお使いいただけません。
- 強制的に字幕を表示する放送などでは、字幕表示を消せない場合があります。
- 地上アナログ放送では、字幕は表示されません。

音声を切り換える

ステレオ/モノラル、主/副音声がある番組では、音声を切り換えられます。

音声切換 を押す

押すたびに切り換わります。

音声切換
主音声
副音声
主＋副音声

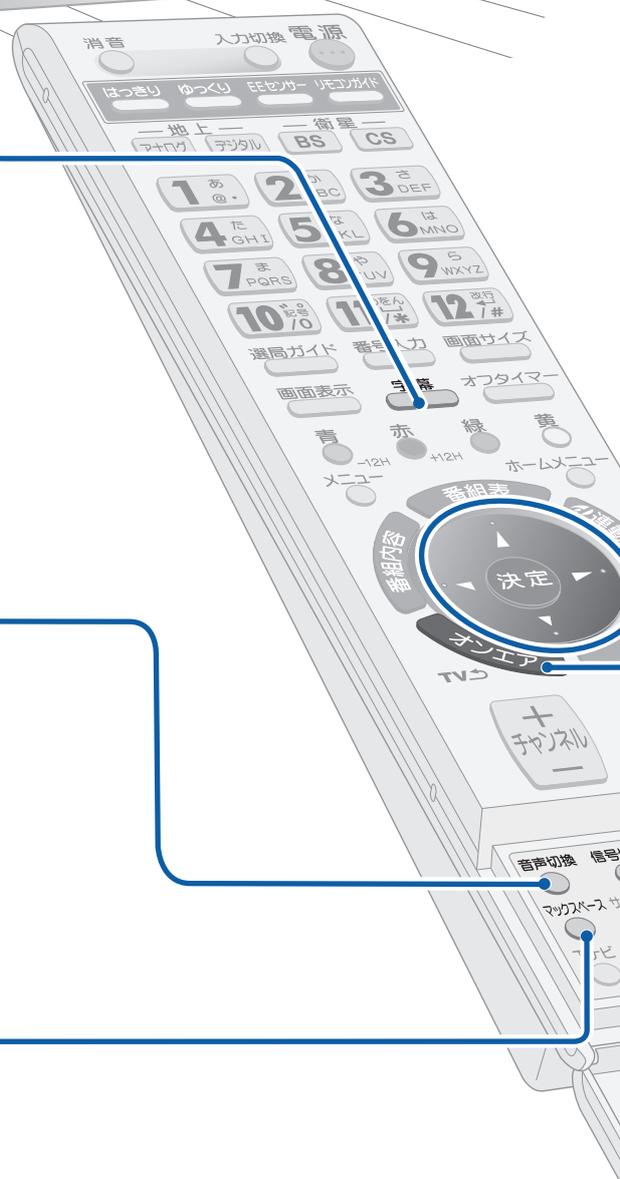
番組によって切り換えられる音声は異なります。

低音を強調する

低音を強調した音にします。

マックスベース を押す

押すたびに切り換わります。

マックスベース
切り
強い
弱い

画質を選ぶ

4種類の画質から選びます。
ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

映像選択 を押す

押すたびに切り換わります。

映像選択
スタンダード
ダイナミック
シアター
ゲーム

スタンダード	くっきりとした映像に
ダイナミック	明暗のメリハリがきいた映像に（お買い上げ時の設定）
シアター	映画番組や映画ソフト向きの映像に
ゲーム	テレビゲームを楽しむときに

「シアター」を選んでいるときはさらに細かな調節ができます。（「お好みの映像に調節する」の「シアタープロ設定」☞59ページ）

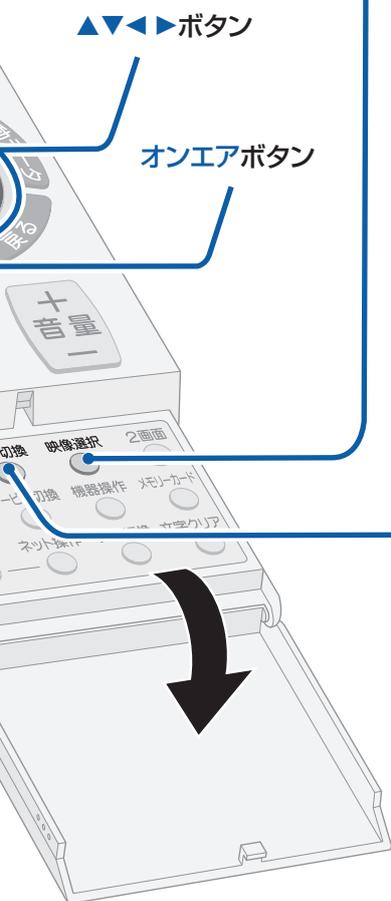
信号を切り換える

デジタル放送には、マルチビューなど複数の映像を放送している番組があります。このような番組では、映像を切り換えて楽しめます。

信号切換 を押す

▲▼で選び、**決定**ボタンで設定します。

それぞれの設定を変更して信号を切り換えます。

マルチビュー	マルチビュー放送のとき、映像を切り換えます。
映像切換	複数の映像がある放送のときに、映像を切り換えます。
音声切換	複数の音声がある放送のときに切り換えます。

画面サイズを変える

いろいろな画面サイズで映像を楽しめます。

画面サイズ を押す

押すたびに切り換わります。
しばらくすると設定画面が消えます。

例:BSデジタル放送(1125i)のとき

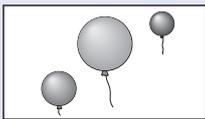
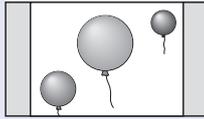
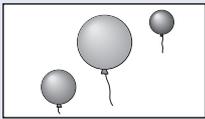
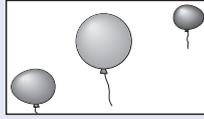
画面サイズ
フル
ピュアHD*
パノラマズーム1
パノラマズーム2

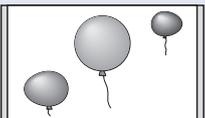
画面サイズの種類

ご覧になっている放送や外部入力の映像信号によって、選べる画面サイズが異なります。

■ デジタル放送(750p、1125i)のとき

画面サイズ
フル
ピュアHD*
パノラマズーム1
パノラマズーム2

フル
オリジナルサイズ(16:9)の映像を、画面いっぱいに見るとき

ピュアHD*
入力信号をそのままの映像で見るとき

パノラマズーム1
自然に拡大して見るとき

パノラマズーム2
自然に拡大して見るとき

* LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800をお使いの場合、デジタル放送を(1125i)を表示しているときに選べます。

■ 地上アナログ放送やビデオ、デジタル放送(525i、525p)のとき

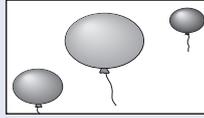
画面サイズ
パノラマ
字幕パノラマ
シネマ
フル
ノーマル

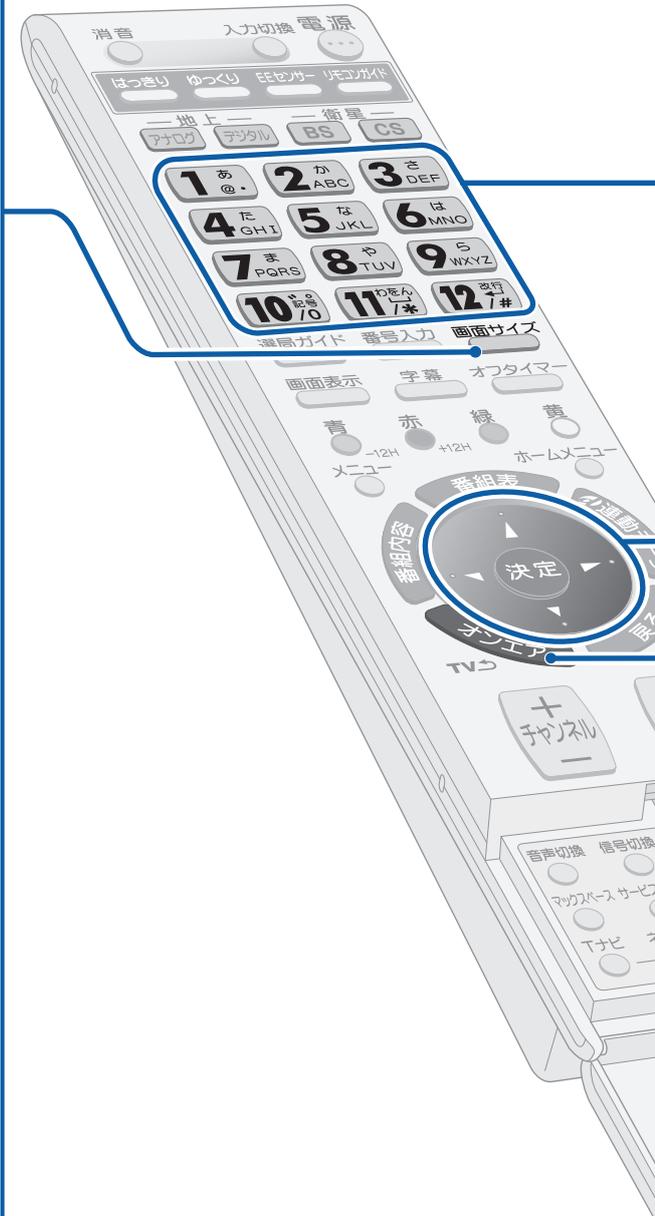
ノーマル
オリジナルサイズ(4:3)で見るとき

パノラマ
自然に拡大して見るとき

字幕パノラマ
字幕入りの映画番組を見るとき

シネマ
映画番組を見るとき

フル
オリジナルサイズ(4:3)の映像を、画面いっぱいに拡大して見るとき

- パソコンから入力された映像も「フル」、「ノーマル」を選べます。(☞74ページ)
- 映像によっては黒い帯が残ったりすることがあります。
- ピュアHDは1920×1080の画素で送られてくる映像をそのまま表示します。画面サイズを拡大せず、元情報がそのまま表示されます。精細度はあがりますが、放送によっては輪郭のつき方が違って見えることがあります。

ご注意
テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

2つの番組を同時に楽しむ

異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しめます。

2画面 を押す

デジタル放送(1125i、525p、750p)の映像をご覧のとき

それまで映っていた画面が左画面(操作画面)になります。**◀ ▶ボタン**で操作画面を切り換えます。操作画面のチャンネル表示には矢印が表示されます。操作画面の音声がスピーカーまたはヘッドホンから聞こえます。

- 予約録画が始まると、1画面に戻ります。予約録画の実行中は2画面になりません。
- 2画面を表示しているときは、データ放送などの操作ができません。
- 右画面では、デジタル放送の字幕、文字スーパー、独立データ放送などのデータ放送、各種メッセージは表示されません。
- 2画面の表示中に入力を切り換えるときは、リモコンの**入力切換ボタン**をくり返し押しします。本体の**入力切換ボタン**の操作と同様に切り換わります(☞34ページ)
- 2画面を表示しているときは、デジタル放送を**番号入力ボタン**では選べません。

1画面に戻すには

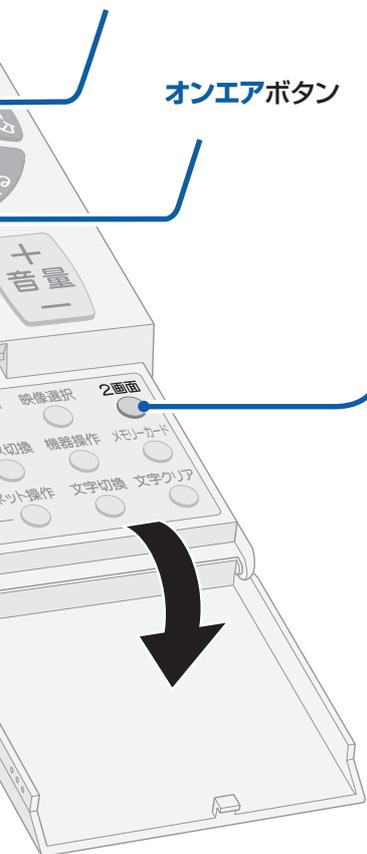
2画面ボタンを押します。左画面の映像が1画面になります。

2画面で見ることができる組み合わせ

左画面 \ 右画面		テレビ 地上アナログ・CATV	テレビ 衛星デジタル	テレビ 地上デジタル	i.LINK入出力	ビデオ1 映像・S映像入力	ビデオ1 D4映像入力	ビデオ2	ビデオ3 映像入力	ビデオ3 コンポーネント映像入力	HDMI*
テレビ	地上アナログ・CATV	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×
テレビ	衛星デジタル	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×
テレビ	地上デジタル	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×
i.LINK入出力		○	×	×	×	○	×	○	○	×	×
ビデオ1	映像・S映像入力	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×
ビデオ1	D4映像入力	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×
ビデオ2		○	○	○	○	○	×	×	○	×	×
ビデオ3	映像入力	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×
ビデオ3	コンポーネント映像入力	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×
HDMI*		○	○	○	○	○	×	○	○	×	×

* **LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800**をお使いの場合、HDMI1、HDMI2入力の映像を左右の画面で同時に表示することはできません。

お知らせ

- ビデオ3入力のRGB入力端子からの映像は2画面で表示できません。他の入力端子(コンポーネント映像)も接続しているときは、入力端子の優先順に表示されます。
- HDMI入力からの映像は、右画面で表示できません。

SDカードで画像を見る

SDカードに記録したデジタルスチルカメラの静止画像を再生できます。

SDカードを入れる

SDカードを入れる

SDカードの向きを確認し、指で奥に強く押し込んでください。

画像の再生が始まる

再生を止めるときは**オンエア**ボタンを押す

SDカードを抜くには
SDカードを指で奥に強く押し込む。

もう一度再生を始めるには
メモリーカードボタンを押す。

お知らせ

- SDカードは松下製、東芝製および当社製のものを推奨します。
- miniSD™カードを再生するときは、専用のアダプターを装着して、本機に入れてください。
- 画像データにサムネイル画像が無いときは、縮小画像が表示されません。
- 本機では以下の画像データが再生できます。
  - ・DCF規格の画像データ
  - ・JPEG形式の画像データ（拡張子は「.jpg」にしてください。また長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます）

縮小画像画面

SDカードへのアクセス中は、「読込中」アイコンが表示されます。

ページ番号
番号入力ボタンを押してから**1ボタン**～**10ボタン**を押してページを指定できます。ページ指定画面が表示されてから5秒以内に操作をします。

エラー表示
画像データが読み込めないなど縮小画像が表示できないときに表示されます。

画像の表示時間を設定します。

画像が9枚以上あるとき、次または前のページに移動します。

画像を時計回りに90゜ずつ回転させます。

ご注意
本機がSDカードのデータを読み込んでいるときは、「読込中」アイコンが表示されます。「読込中」アイコンが表示されているときはSDカードを抜かないでください。記録されているデータが壊れるときがあります。

画像を1枚ずつ見る

画像を1枚ずつ大きく表示できます。

お知らせ　あらかじめ、画像を連続して見るときの「自動再生」の設定を「切り」に設定します。(☞下記)

◀▶▲▼ボタンで画像を選び、**決定**ボタンを押す

◀▶ボタンで画像を選ぶ

- **緑ボタン**を押すと、画像を90°ずつ時計回りに回転できます。
- **戻るボタン**を押すと、縮小画面になります。

画像を連続して見る

画像を連続して再生できます。

再生間隔を設定する

黄ボタンを押す

▲▼ボタンで設定し、**決定ボタン**を押す

1枚の画像の再生時間が設定されます。

- 設定できる再生時間は1～10秒、20秒、30秒です。「切り」に設定すると、連続して見ることはできません。
- 再生設定画面が表示されてから5秒間操作をしないと、再生設定画面が消えます。

再生を開始する

◀▶▲▼ボタンで再生を始める画像を選び、**決定ボタン**を押す

画像が拡大されます。
設定した再生間隔で次の画像に切り換わります。

再生を止めるには

決定ボタンを押す。

- もう一度再生するときは**決定ボタン**を押します。
- 縮小画像画面に戻るときは**戻るボタン**を押します。

お知らせ　横向きの画像は、あらかじめ画像を回転させて縦向きにしておくと、連続して見るときに縦向きの状態で表示できます。(連続して再生しているときは画像を回転できません)

ホームメニューで情報を確認する

ホームメニューからいろいろな情報を確認することができます。重要なお知らせも含まれていますので、必ずご確認ください。

ご注意
- BS・110度CSアンテナが接続されていないとデータを取得できず、検索できません。
- ホームメニューは、外部入力を表示しているときはお使いになれません。

ホームメニューボタンで
ホームメニューを表示する

メールを見る

▲▼ボタンで確認したい項目を選び、
決定ボタンを押す

放送局からの情報や購入記録を見る

▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

よく見るチャンネルから番組を選ぶ

ホームメニュー

ホームメニューボタンで
ホームメニューを表示する

メールを見る

放送局からの情報や購入記録を見る

よく見るチャンネルから番組を選ぶ

◀▶▲▼**ボタン**で選び、
決定ボタンを押す

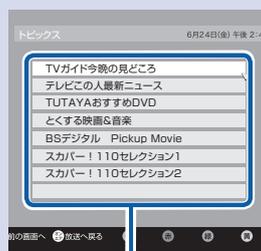
▲▼**ボタン**で項目を選び、**決定ボタン**を押して内容を確認する

オンエアボタンで終了する

放送局から送られてくる情報や、本機の機能向上を行うダウンロード情報(☞64、65ページ)などを確認します。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。

- メールが着信すると、「メールがあります」と画面に表示されます。すべてのメールの内容を確認するとメッセージは表示されません。

お知らせ

- B-CASカードが挿入されていないと放送局からのメールを受信することができません。B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。
- メールは2種類あります。放送局からのメールは31通、本機からのメールは8通まで保存できます。それぞれの件数を超えると、古いメールから自動的に削除されます。
- 電話回線の通信異常検知のメールが届いたときは、電話回線の接続や設定が正しいかどうか確認してください(☞18、65ページ)。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV(ペイ・パー・ビュー)の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

▲▼**ボタン**で選び、
決定ボタンを押す

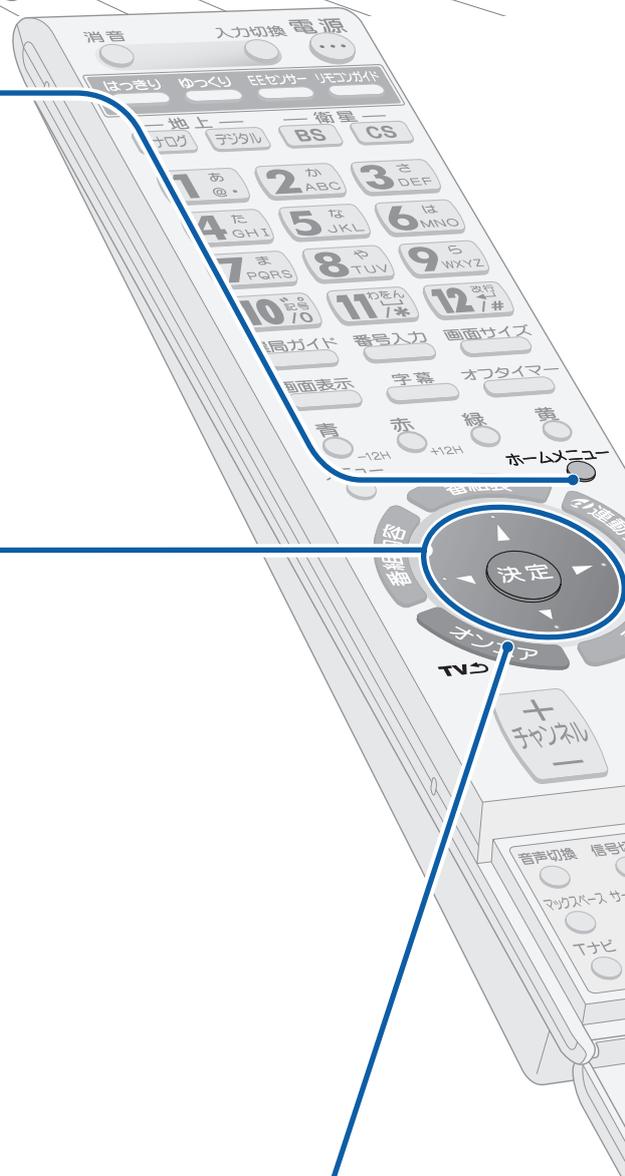
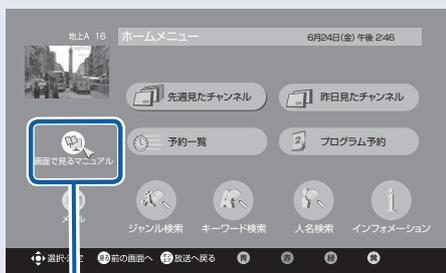
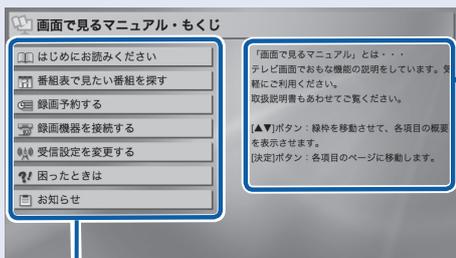
項目名	内容
トピックス	放送局から送られてくるいろいろな映画やスポーツ、音楽などの情報トピックスを見ることができます。
CS1ボード CS2ボード	110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
購入履歴	購入した有料番組の放送日や番組名、金額などの履歴(最近の24番組について)を確認することができます。また、累計金額をリセットすることができます。

▲▼**ボタン**で選び、
決定ボタンを押して
内容を確認する

◀▶▲▼**ボタン**で選び、**決定ボタン**を押す

- 「先週見たチャンネル」を選んだときは、先週の同じ曜日、同じ時間に見ていたチャンネルに切り換わります。
- 「昨日見たチャンネル」を選んだときは、昨日の同じ時間に見ていたチャンネルに切り換わります。

テレビ画面で操作を確認する

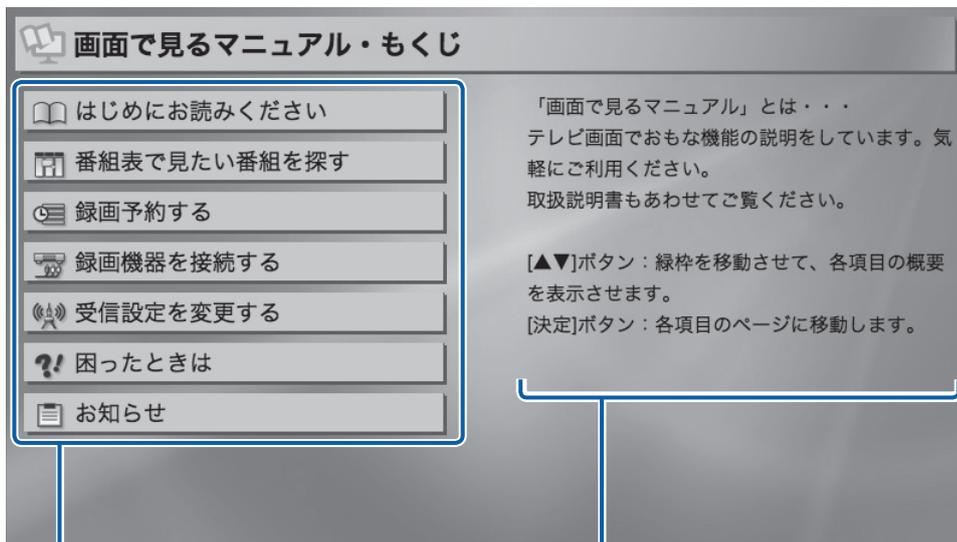
ホームメニューから、「画面で見るマニュアル」を表示できます。機能がわかりにくかったり、操作に迷ったときなどにご覧ください。

を押す

◀▶▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

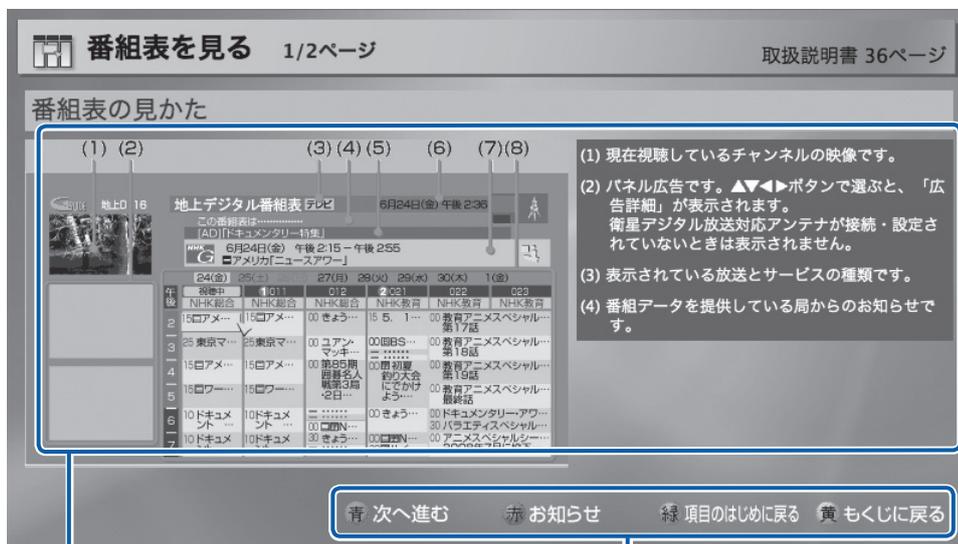
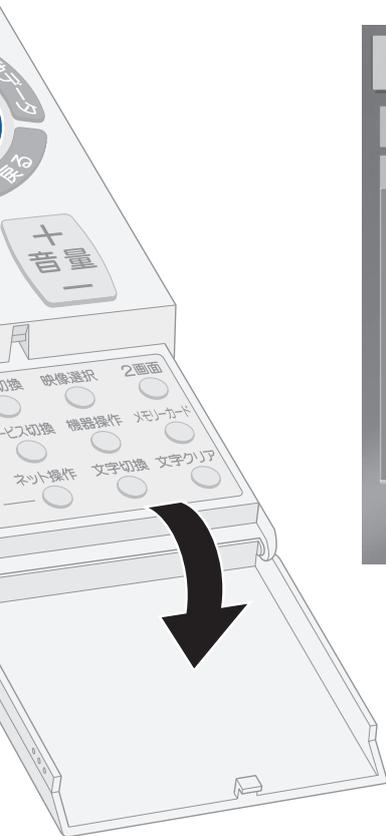
それぞれの機能の説明が表示されます。

◀▶▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

確認したい項目を選ぶと、機能説明や操作説明が表示されます。
決定ボタンを押すたびに次の画面に進みます。
前の画面に戻るときは**戻る**ボタンを押します。

で終了する

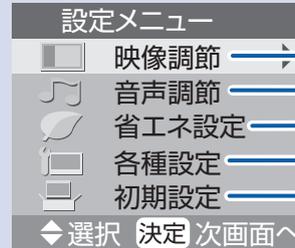
画面で見るマニュアルの使いかた

見出し
確認したい項目を選びます。

機能説明や操作説明が表示されます。詳細な項目があるときは詳細な見出しが表示されます。

操作に関係する機能説明や操作説明が表示されます。

操作ガイド
大切なお知らせや、続きの操作があるときは、こちらに表示されます。

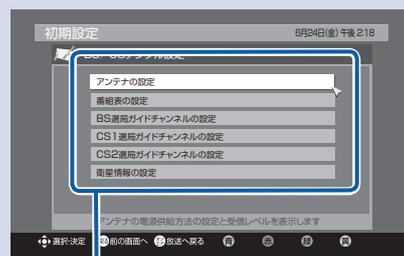
メニューの設定

映像や音声の調節、接続機器の設定や、初期設定を変更できます。お好みの状態に設定して、お楽しみいただけます。

メニューボタンで設定メニューを表示する

▲▼ボタンで設定したい項目を選び、**決定ボタン**を押す

例:「初期設定」を選んだ場合

◀▶▲▼ボタンで調節する項目を選び、**決定ボタン**を押す

例:「BS/CSデジタル設定」を選んだ場合

◀▶▲▼ボタンで調節する項目を選び、**決定ボタン**を押す
- メニューや項目によって操作が多少異なります。
  画面の指示に従って操作してください。

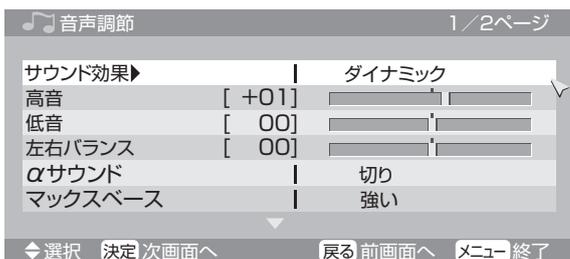
◀▶▲▼ボタンで項目を選び、**決定ボタン**を押して設定する

メニューボタンで終了する

お知らせ

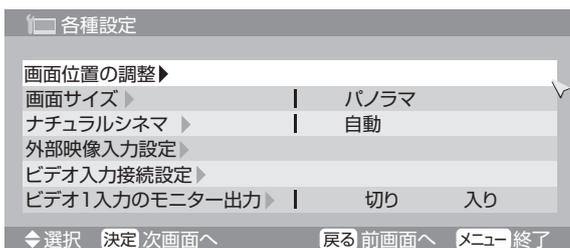
お好みの映像に調節する ☞58ページ

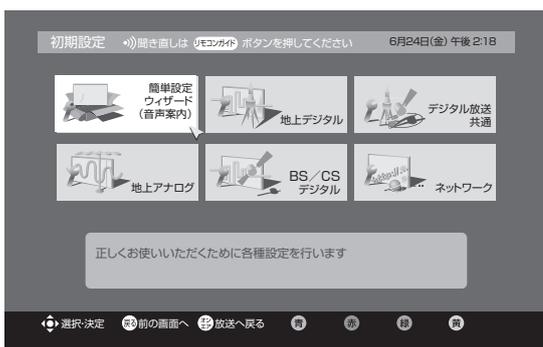
• 映像調節メニューを使って、お好みの映像に調節できます。

お好みの音声に調節する ☞60ページ

• 音声調節メニューを使って、お好みの音声に調節できます。

省エネ設定をする ☞60ページ

• 省エネ設定メニューを使って、省エネ機能の設定ができます。

使いかたに合わせて設定をする ☞60ページ

• 各種設定メニューを使うと、画面の位置やサイズ、外部機器など、使いかたにあわせた設定ができます。

初期設定を変更する ☞62ページ

• 受信に関する設定など本機の初期設定を変更するときは、初期設定メニューを使います。

メニューの設定(つづき)

お好みの映像に調節する

映像調節メニュー　お好みの映像に調節する

項目名	内容	設定値
映像選択	4種類の画質からお好みの画質を選びます。(「画質を選ぶ」☞47ページ)	スタンダード、ダイナミック、シアター、ゲーム
ピクチャー	明るさ、色の濃さを決めます。	薄く ↔ 濃く
黒レベル	見やすい明るさにします。	暗く ↔ 明るく
色あい 色の濃さ	お好みの肌色に調節します。(交互に調節)	赤っぽく ↔ 緑っぽく 薄く ↔ 濃く
シャープネス	好みの輪郭にします。 「映像選択」が「シアター」のときははたらきません。	やわらか ↔ くっきり
バックライト	画面の明るさを調節します。	暗く ↔ 明るく
オートピクチャー	映像に合わせて、画面全体の明るさを、目にやさしい明るさに自動的に調節します。「映像選択」が「ダイナミック」のときははたらきません。	切り ↔ 入り
インテリジェントガンマ	明るい映像も暗い映像も、質感を保ちながら鮮やかに再現します。	切り ↔ 入り
ノイズクリア	画面のざらつきが少なくなるように調節します。	切り ↔ 弱い ↔ 強い ↔ 自動
MPEG NR	MPEG画像のノイズ(モスキートノイズ、デジタル入力時のブロックノイズ)を減らします。	切り ↔ 入り
DCC(DETカラークリエーション)*	くすんだ色を自然な色調に補正します。	標準 ↔ 弱い
色温度	画面の色調を選びます。	高い色温度(青が強い) ↔ 低い色温度(赤が強い)
シアタープロ設定	さらに細かい映像の調節をします。 「映像選択」が「シアター」のときのみ調節できます。	**シアタープロ設定**
映像調節を標準に戻す	映像選択で選んでいる画質を、お買い上げ時の設定に戻します。	**決定ボタン**で決定する

お知らせ

- 「映像選択」で選んだ画質を、お好みに合わせて調節できます。4種類の画質を別々に調節できます。
- 「ノイズクリア」は、入力切換でパソコンの画面を選んでいるときは働きません。
- 「MPEG NR」はデジタル放送に効果があります。デジタル放送でも、画像によっては十分な効果を得られないことがあります。

シアタープロ設定

項目名	内容	設定値
DSDエッジ	映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。	輪郭をつけない　輪郭をつける －30 ～ +30
Hシャープネス Vシャープネス	輪郭を強調してはっきりとした映像にします。(交互に調節)	輪郭を強調しない　輪郭を強調する －30 ～ +30
DSDコアリング	画面のざらざら感(ノイズ)を抑えます。	あまりノイズを除去しない　よりノイズを除去する －5 ～ +5
色温度 赤 色温度 青 色温度 緑	画面全体の色(赤味、青味、緑味)を交互に調節します。	赤を弱くする －30 ～ +30 赤を強くする 青を弱くする －30 ～ +30 青を強くする 緑を弱くする －30 ～ +30 緑を強くする
色バランス	肌色以外の色が自然な色になるように青みを調節します。	青みを弱くする　青みを強くする －5 ～ +5

＊ **DCCが「標準」のときは、DETカラークリエーションでさらに細かく調節できます。**

DCC赤色･黄色･緑色･水色 色選択	DCCで補正する色を選びます。	－30 ～ +30
DCC赤色･黄色･緑色･水色 色あい	「DCC色選択」で指定した色の色あいを調節します。	－15 ～ +15
DCC赤色･黄色･緑色･水色 色の濃さ	「DCC色選択」で指定した色の濃さを調節します。	－30 ～ +30
明部:色の濃さ	黄色や緑色などの明るさ成分の高い色の濃さを調節します。	－15 ～ +15
暗部:色の濃さ	赤色や青色などの明るさ成分の低い色の濃さを調節します。	－15 ～ +15
シアタープロ設定を標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。	**決定ボタン**で決定する

お知らせ

- 通常は、お買い上げ時のままで十分な画質になるように設定されています。
- 設定できる項目は、微妙な調節を行うために専門的な内容になっています。調節するときは、少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら、設定項目の内容を把握されることをおすすめします。
- 「DCC色選択」の調節中は、選ばれた色名がグレーで表示されます。

メニューの設定(つづき)

お好みの音声に調節する

音声調節メニュー　お好みの音声に調節する

項目名	内容	設定値
サウンド効果	4種類のサウンド効果からお好みの効果を選びます。	スタンダード、ダイナミック、リラックス、ユーザー
高音	高い音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
低音	低い音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
左右バランス	左右の音量を調節します。	左側が大きく ↔ 右側が大きく
αサウンド	臨場感のある音にします。	切り ↔ 入り
マックスベース	低音を強調します。	切り ↔ 強い ↔ 弱い
音声調節をサウンド効果(ユーザー)に記憶する	音声調節の設定値を、サウンド効果の「ユーザー」に記憶させます。	調節した内容を、サウンド効果の「ユーザー」に記憶する
音声調節を標準に戻す	サウンド効果で選んだ設定を、お買い上げ時の設定に戻します。	**決定ボタン**を押す

省エネ設定をする

省エネ設定メニュー　省エネのための設定をする

項目名	内容	設定値
E.E.センサー	部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。(☞31ページ)	切り ↔ 入り
無信号電源オートオフ	放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源を切るように設定します。デジタル放送をご覧のときは働きません。	切り ↔ 入り
テレビ消し忘れ防止設定	何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定します。	切り ↔ 入り
E.E.センサーの効果表示	部屋の明るさが変化したとき、E.E.センサーの効果のレベルを木の葉マークでテレビ画面に表示します。(☞31ページ)	切り ↔ 入り

各種設定をする

各種設定メニュー　使い方に合わせて設定する

項目名	内容	設定値
画面位置の調整	画面の上下左右の位置を調節します。画面に▲が表示されたときに調節できます。	**◀▶▲▼ボタン**で調整する
画面サイズ	映像を表示する画面サイズを選びます。(☞48ページ)	ノーマル、パノラマ、字幕パノラマ、シネマ、フル、ピュアHD*1、パノラマズーム1、パノラマズーム2
ナチュラルシネマ	フィルム撮影された映像などを、動きの速いところもぼんやり感のない映像で表示します。	切り ↔ 入り ↔ 自動
外部映像入力設定	外部入力端子につないだ機器の入力表示を設定します。	**外部映像入力設定**
ビデオ入力接続設定	i.LINKまたはHDMIで接続した機器の入力設定をします。	**ビデオ入力接続設定**
HD自動切換設定*2	ハイビジョン放送の初期画面サイズを設定します。	フル ↔ ピュアHD
ビデオ1入力のモニター出力	ビデオ1入力の映像が乱れるときに、ビデオ1入力端子からの信号をモニター出力しないように設定します。	切り ↔ 入り
自動高速ドライバー *3	高速ドライバー(残像を低減して画像をくっきりします)の自動デモを設定します。	デモ解除 ↔ デモ設定

*1 ピュアHD　LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800をお使いの場合に選べます。
*2 HD自動切換設定　LT-42LH800、LT-37LH800をお使いの場合に選べます。
*3 自動高速ドライバー　LT-32LC85をお使いの場合に選べます。

お知らせ

- 「サウンド効果」で選んだ効果を、お好みに合わせて調節できます。
- 「サウンド効果」が「ユーザー」に設定されているときに音声調節を行うと、「音声調節をサウンド効果(ユーザー)に記憶する」を選ばなくても自動的に設定値がユーザーモードに記憶されます。
- 「サウンド効果」を切り換えると、スタンダード、ダイナミック、リラックスの設定値はお買い上げ時の設定に戻ります。

お知らせ

- 「画面サイズ」を「パノラマズーム1」に設定したときは、「画面位置の調整」で画面を左右に調整できます。パソコン入力画面も左右に調整できます。
- 地上アナログ放送などでは「ナチュラルシネマ」を「入り」にすると、輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがまれにあります。その場合は「ナチュラルシネマ」を「切り」にしてお使いください。

外部映像入力設定

項目名	内容	表示されるメニューと設定値
設する入力	設定を変更する外部入力名を選びます。	ビデオ1～3、HDMI1、HDMI2*4
画面の表示	画面に表示される外部入力名を選びます。	ビデオ1～3、HDMI1、HDMI2*4、VTR、DVD、DVR1、DVR2、HDR、ムービー、CSデジタル、ゲーム
入力スキップ設定	リモコンの**入力切換**ボタンでその外部入力を選べるようにするかしないかを設定します。	見る ↔ 見ない

*4 LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800をお使いの場合は、「HDMI1」、「HDMI2」が選べます。

ビデオ入力接続設定

項目名	内容	表示されるメニューと設定値
i.LINK自動切換	D-VHSテープを再生すると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。VHS/S-VHSテープを再生すると、設定したビデオ入力に自動的に切り換わります。自動切換を使わないときは「しない」を選びます。	しない、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3
HDMI接続機器	HDMI接続した機器の種類を選びます。*5	自動 ↔ HDMI機器 ↔ DVI機器 (☞77ページ)
HDMI入力VGA判別	HDMI接続した機器の画面サイズを自動で切り換えるようにするかしないかを選びます。	自動 ↔ VGA (☞77ページ)

*5 LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800をお使いの場合は、HDMI1端子に接続した機器のみに有効な設定です。

ご注意
「i.LINK自動切換」で設定した入力は、**入力切換**ボタンを押しても選べなくなります。

お知らせ

- 自動高速ドライバーのデモを設定中にリモコンボタンを押すなどの操作をすると、デモが3分間中断します。デモをすぐに再開するときは、一度「デモ解除」を選びます。つづいて「デモ設定」を選ぶと、デモが始まります。

初期設定を変更する

初期設定メニュー　初期設定を変更する

項目名	内容	表示されるメニュー
簡単設定ウィザード	受信に必要な設定を自動で行います。(☞20ページ)	―
地上アナログ	地上アナログ放送の設定をします。(☞24ページ)	―
地上デジタル	地上デジタル放送の設定をします。(☞26ページ)	―
BS/CSデジタル	BS/CSデジタル放送の設定をします。	BS/CSデジタル設定(下記参照)
デジタル放送共通	本機に接続した機器に関する設定や安心してご使用いただくための設定をします。	デジタル放送共通設定(☞64ページ)
ネットワーク	Tナビやデータ放送を使うための設定をします。	取扱説明書Tナビ編をご覧ください

お知らせ　簡単設定ウィザードを始めると、お買い上げ設定ウィザードと同様に、音声案内が流れます。

BS/CSデジタル設定

項目名	内容	設定値
アンテナの設定	衛星アンテナへの電源供給をするかしないかを設定します。	する(個別) ↔ しない(共聴)
番組表の設定	番組表を受信するための放送局を設定します。	番組表の設定
BS選局ガイドチャンネルの設定 CS1選局ガイドチャンネルの設定 CS2選局ガイドチャンネルの設定	リモコンのチャンネル数字ボタンで選局できる衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。	登録したいリモコン番号と、登録するチャンネル番号を◀▶▲▼**ボタン**で選んで設定する(☞「選局ガイドにチャンネルを登録するには」33ページ)
衛星情報の設定	デジタル放送局から電波を受信するための設定をします。	BS:15 ↔ CS1:2 ↔ CS2:4 通常は変更しないでください

番組表の設定

項目名	内容	設定値
Gガイド受信地域の設定	お住まいの地域に合わせて、番組表に表示する放送局を設定します。	Gガイド地域一覧表(☞画面で見るマニュアル)をご覧ください
受信チャンネルの設定	番組表を受信する放送局を設定します。送信する放送局が変更されたときに、設定を変更します。	908（工場出荷時/2006年10月現在）通常は変更しないでください
Gガイド受信確認	番組データを受信する時刻を確認できます。BS･110度CSデジタルアンテナが接続されていないとデータが受信できません。	番組データを受信する時刻が表示されます

お知らせ

「選局ガイド」(☞33ページ)の「BS」、「CS1」、「CS2」の設定は、お買い上げ時には下記のようにリモコンの**チャンネル数字**ボタンに設定されています。

	BS		スカパー!110(CS1)		スカパー!110(CS2)	
1	101	NHK1(NHK BS1)	001	スカパー!110プロモ	100	スカパー!110プロモ
2	102	NHK2(NHK BS2)	990	生活スタイルTV	110	ワンテンポータル
3	103	NHKh(NHK ハイビジョン)	025	BBC JAPAN	123	CS映画
4	141	BS日テレ	—	—	300	日テレプラス
5	151	BS朝日	055	ep055 チャンネル	250	アクティブ!スポーツ
6	161	BS-i	—	—	160	C-TBSウェルカム
7	171	BSJ(BSジャパン)	—	—	177	ショップチャンネル
8	181	BSフジ	—	—	302	フジテレビ721
9	191	WOWOW	091	CS-WOWOW	194	AQステーション
10	200	スター(スター･チャンネル)	—	—	101	宝塚プロモチャンネル
11	—		—	—	—	—
12	—		—	—	—	—

- 放送局の都合により放送が休止されることがあります。
- お好みの放送局を選局ガイドで設定してお使いください。

メニューの設定(つづき)

初期設定メニュー　初期設定を変更する(つづき)

デジタル放送共通設定

項目名	内容	設定値
年齢による視聴制限の設定*[1]	年齢による視聴制限を設定できます。視聴年齢を設定すると、制限の対象になる番組は、暗証番号を入力しない限り視聴することはできません。	1歳 ～ 19歳、制限なし
接続録画機器の設定	外部入力端子につないだ機器のメーカーを設定します。録画機器が自動で動作するように設定します。	**ビデオリモートコントローラーを設定する**(☞69ページ)
お知らせ音の設定	お知らせ音の音量を設定します。	なし ↔ あり:音量小 ↔ あり:音量大
暗証番号の設定*[1]	視聴制限を設定·解除するための暗証番号を変更します。	4ケタの暗証番号を入力する
B-CASカード番号の表示	カスタマーセンターへ問い合わせる際など、B-CASカードの番号などを調べる必要があるときに、B-CASカードの情報を確認できます。	ー
自動ダウンロードの設定*[2]	機能の追加やサービスへの対応のためのプログラムのダウンロードを自動で行うかどうかを設定します。	する ↔ しない
録画映像の設定	本機の映像出力から出力される映像信号のサイズを設定します。	テレビ用 ↔ ワイドテレビ用
光デジタル音声出力の設定	接続している機器に合わせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。	2CH リニアPCM ↔ AAC
文字スーパーの設定	速報ニュースなどを表示するための文字スーパー表示の有無や、表示言語を選択します。	日本語で表示 ↔ 英語で表示 ↔ 表示しない
県域の設定	お住まいの都道府県を設定します。	表示される都道府県名から選ぶ
郵便番号の設定	郵便番号を設定します。	**1～0(10)ボタン**で郵便番号を入力する
電話の設定	電話回線の接続に関する設定をします。	**電話の設定**
i.LINK待機の設定	本機の電源が「切」の状態でi.LINK機器から信号を受けたときの設定をします。	しない ↔ する
設定のリセット	各種調整·設定値を工場出荷時の設定に戻します。また、個人情報を消去できます。	**設定リセット**

***1 暗証番号設定について**

視聴制限を設定するには、あらかじめ暗証番号を登録しておく必要があります。

- **初めて暗証番号設定メニューを選んだとき**
  「暗証番号の設定」画面が表示されます。
  画面の指示に従って、4ケタの暗証番号を登録してください。登録した暗証番号はメモをしておいてください。
- **暗証番号を変更するとき**
  「暗証番号の設定」画面が表示されます。
  画面の指示に従って、4ケタの暗証番号を入力してください。

ご注意
- 暗証番号を入力しても、画面上には「＊＊＊＊」と表示されます。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、「個人情報消去」(☞65ページ)を行なって、新しく設定することができます。ただし、個人情報を消去すると、すべての個人情報が消去されてしまうので、ご注意ください。

*2 自動ダウンロードの設定について

お知らせ

- ダウンロードは、電源が「切」の状態でないと実行されません。電源プラグを抜かず、電源ボタンで電源を切っておいてください。
- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。(☞52ページ)

ご注意

「する」を選んでいても、プログラムによってはダウンロードをするかしないかを選び、決定する必要があります。以下の手順でダウンロードしてください。「しない」を選んでいたときも同様です。

1 「メール」を表示する(☞52ページ)
2 **▲▼ボタン**でダウンロードのお知らせについてのメールを選び、**決定ボタン**を押す
3 メールの内容を確認し、**◀▶ボタン**で「はい」を選び、決定ボタンを押す(電源が「切」になると、自動的にダウンロードされます)

電話の設定

項目名	内容	表示されるメニューと設定値
電話回線の種類	電話回線の種類を設定します。(通常は「自動」に設定します)	自動、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS)、プッシュ回線
外線発信番号の設定	外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。	外線発信番号を入力して設定する
ダイヤルポーズの設定	外線発信番号を出力後の、休止時間挿入を設定します。	する ↔ しない
ダイヤルトーン検出の設定	電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。	する ↔ しない
B-CASセンター接続の設定	B-CASカード情報や有料番組購入情報などの、センターへの自動送信を設定します。	自動 ↔ 切り
番号通知の設定	電話番号の通知を設定します。	なし ↔ 通知する ↔ 通知しない
電話会社の設定	接続する電話会社を設定します。	マイラインプラスの加入、電話会社の番号を設定する
電話のテスト	電話回線が正しく設定されているかテストします。	—
終了	電話の設定を終了します。	—

お知らせ

- 「電話回線の種類」で「自動」に設定して電話テストに失敗する場合は、ご使用の電話回線に合わせて他の設定を選んでください。
- お使いの電話回線の設定にご不明の点があるときは、電話会社にお問い合わせください。
- 「電話会社の設定」に番号が登録されていないときは、「マイラインプラス」は設定できません。

設定リセット

項目名	内容	設定値
設定項目リセット	各種調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。	いいえ ↔ はい
個人情報消去	本機を初期化して、本機に記録されている視聴履歴などの個人情報をすべて消します。	いいえ ↔ はい

ご注意

- 正常に受信または通信できているときは、「設定項目リセット」を行わないでください。受信できなくなる場合があります。
- 「個人情報消去」を行うときは、消去が終わるまで電源の「入/切」を行わないでください。消去完了のメッセージが画面に表示された後、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を他人に譲渡したり廃棄する際は、お客さまのプライバシーを保護するために、必ず「個人情報消去」を行なってください。

接続できる機器

本体後面の端子と、接続できる機器の一例です。

ご注意
- 接続が終わるまで、電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 接続コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。

例:LT-46LH800

パソコン
(☞74ページ)

ディスプレイコード
(D-Sub15ピン ミニ)

DVDプレーヤー
(☞72ページ)

コンポーネント
映像コード

映像·音声
コード

ビデオカメラ、ゲーム機など
(☞74ページ)

S映像コード

映像·音声
コード

D映像コード

S映像コード

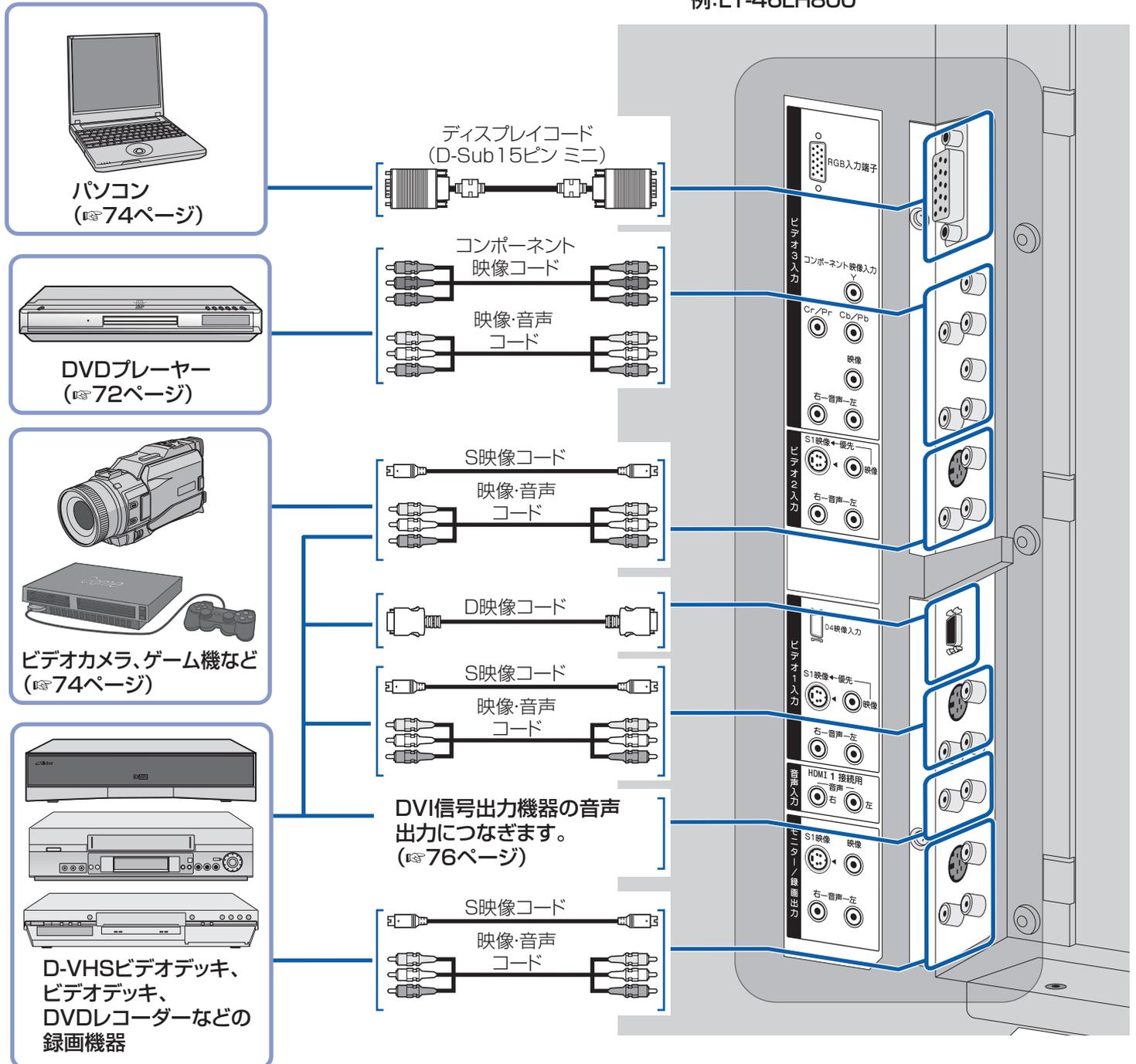
映像·音声
コード

DVI信号出力機器の音声
出力につなぎます。
(☞76ページ)

D-VHSビデオデッキ、
ビデオデッキ、
DVDレコーダーなどの
録画機器

S映像コード

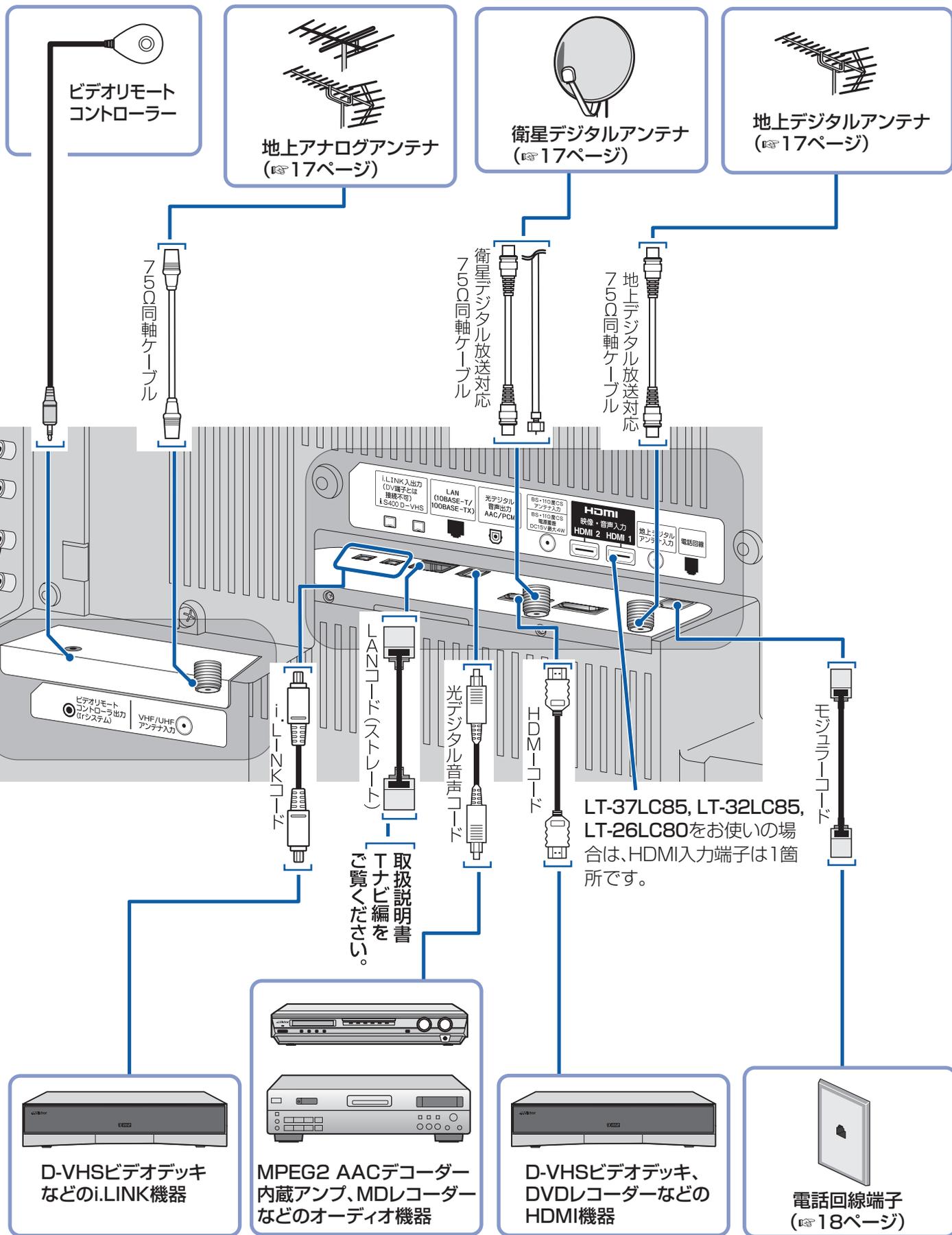
映像·音声
コード

RGB入力端子
ビデオ3入力
コンポーネント映像入力
Y
Cr/Pr Cb/Pb
映像
右—音声—左
ビデオ2入力
S1映像←優先
映像
右—音声—左
ビデオ1入力
D4映像入力
S1映像←優先
映像
右—音声—左
音声入力
HDMI 1 接続用
音声
右 左
モニター/録画出力
S1映像 映像
右—音声—左

モニター/録画出力端子について

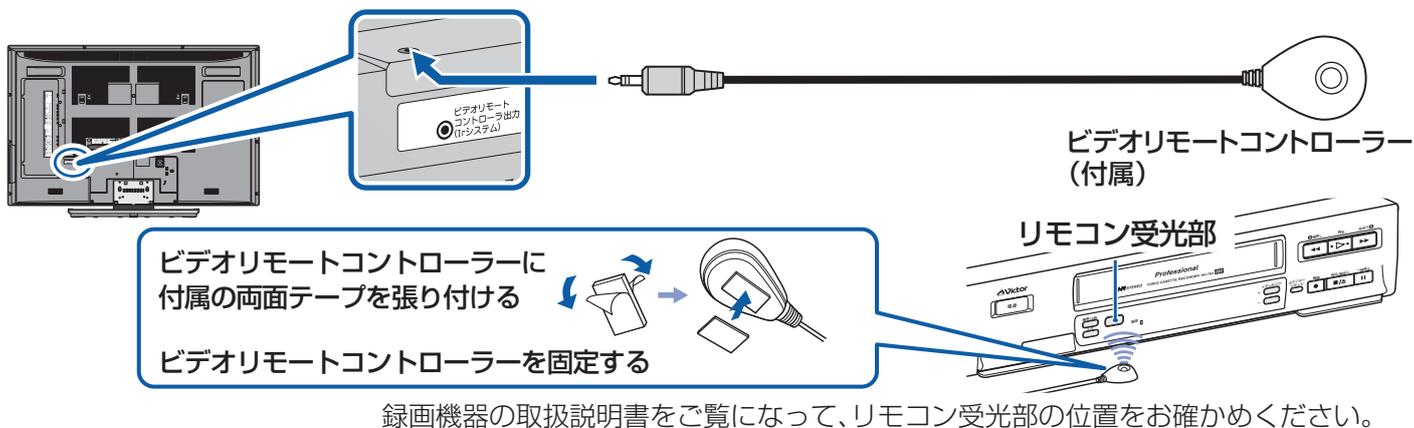
- ビデオ1 D4映像入力端子やビデオ3 コンポーネント映像入力端子から入力された映像信号は出力されません。
- 2画面を表示中は、左画面の映像と音声が出力されます。
- 番組表やメニューなどは出力されません。
- 独立データ放送の録画中に番組表などを表示させると、正常に録画されません。
- 地上アナログ放送の映像や、ビデオ1/2/3入力の映像入力端子からの信号は、S1映像出力端子から出力されません。
- ビデオ3 RGB入力端子からの信号は出力されません。
- 音声出力端子から出力される音声に、きき楽機能(はっきりステレオ、ゆっくりトーク)の効果は出ません。
- HDMI端子からの映像·音声信号は出力されません。
- 音声入力(HDMI接続用)端子からの音声信号は出力されません。

お知らせ

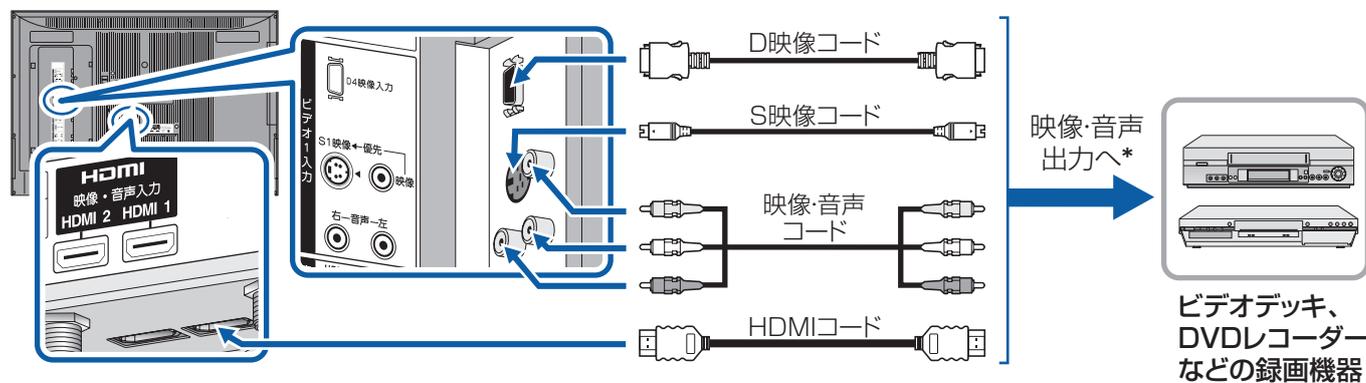
- コードをつなぐときはカバーを外してください。
- お手持ちの機器にD映像出力やコンポーネント映像出力があるときは、D映像コードまたはコンポーネント映像コードでの接続をおすすめします。映像端子やS映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。
- お手持ちの機器にS映像入出力端子があるときは、S映像コードでの接続をおすすめします。映像端子よりも鮮明な映像で録画または再生できます。

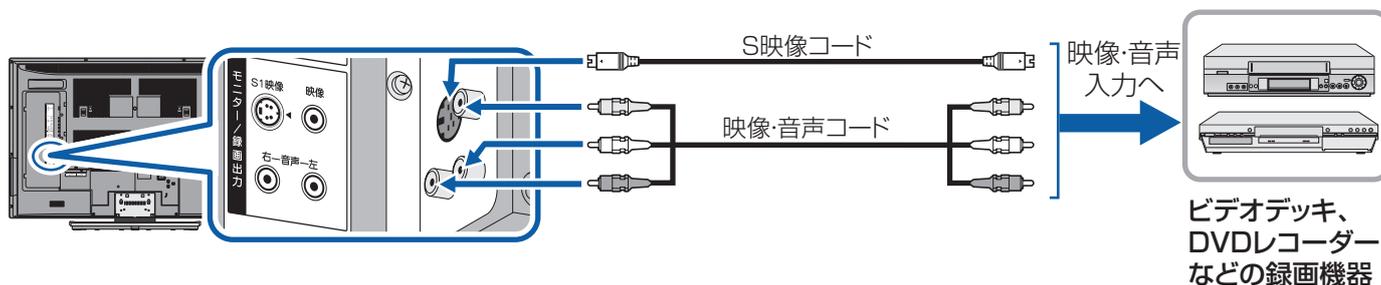
録画機器をつなぐ（ビデオリモートコントローラー）

ビデオリモートコントローラー (Irシステム)を本機に接続すると、本機とビデオデッキなどの録画機器を連係させて録画予約をすることができます。

ビデオリモートコントローラーの接続

録画機器の取扱説明書をご覧になって、リモコン受光部の位置をお確かめください。

ご注意

- ビクター製ビデオリモートコントローラー端子のあるDVDレコーダーなどの録画機器をお使いのときは、ミニプラグコード(別売)で接続することをおすすめします。
- ビデオリモートコントローラーを設定する際は、録画機器の電源を切り、録画機器をリモコンで操作できるようにしてください。(設定のある録画機器のみ)
- ビデオリモートコントローラーの設定は録画機器が予約待機中や予約録画の実行中でないときに行なってください。

再生するための接続

* HDMI入力を見るときは、入力を「HDMI」に切り換えてください。(「入力を切り換える」☞34ページ)
  HDMI以外のコードをお使いの場合、接続した機器から本機への映像入力は、D映像コード>S映像コード>映像コード、の順に優先されます。お使いの録画機器に合わせてコードをつないでください。

録画するための接続

ビデオリモートコントローラーを設定する

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を使って予約録画をするには次の設定が必要です。

設定メニューを表示する

メニューボタンでメニューを表示する

▲▼ボタンで「初期設定」を選び、**決定**ボタンを押す

◀▶▲▼ボタンで「デジタル放送共通」を選び、**決定**ボタンを押す

録画機器のメーカー・種類を選び、テストする

▲▼ボタンで「接続録画機器の設定」を選び、**決定**ボタンを押す

◀▶▲▼ボタンでお使いの録画機器メーカーを選び、**決定**ボタンを押す

◀▶ボタンでお使いの録画機器の種類を選び、**決定**ボタンを押す

録画機器の動作テストを行います。テストを実行すると、録画機器に電源「入/切」のリモコン信号をくり返し送ります。

決定ボタンでテストを開始する

- 選択できるメーカー
  ビクター・松下・日立・三菱・東芝・ソニー・シャープ・三洋・NEC・アイワ・フナイ・サムスン・LG・パイオニア

動作テストを終了する

録画機器の電源が「入/切」したら

◀▶ボタンで「終了」を選び、**決定**ボタンを押す

- 録画機器の電源が「入/切」しないとき

  ◀▶ボタンで「次の設定」を選び、**決定**ボタンを押す
  別のリモコン信号でテストします。録画機器の電源が「入/切」した画面で、決定します。

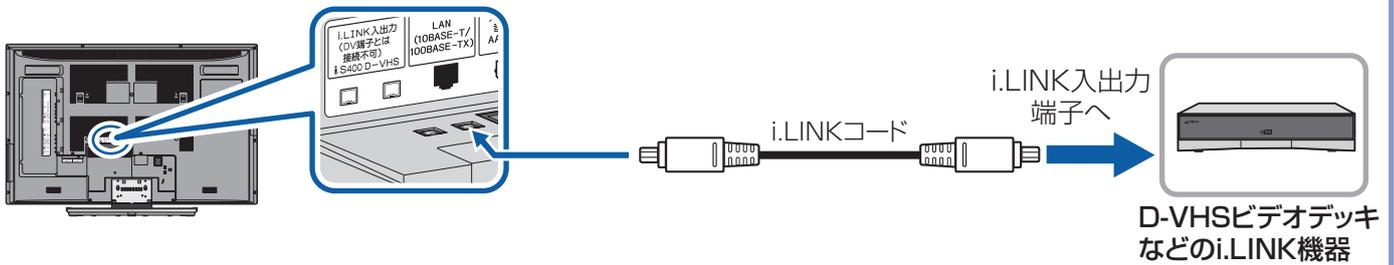
メニューで終了する

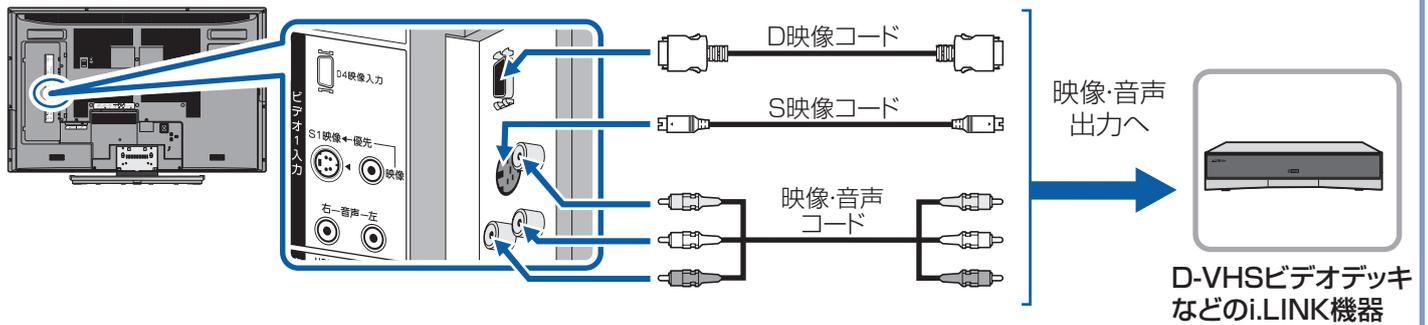
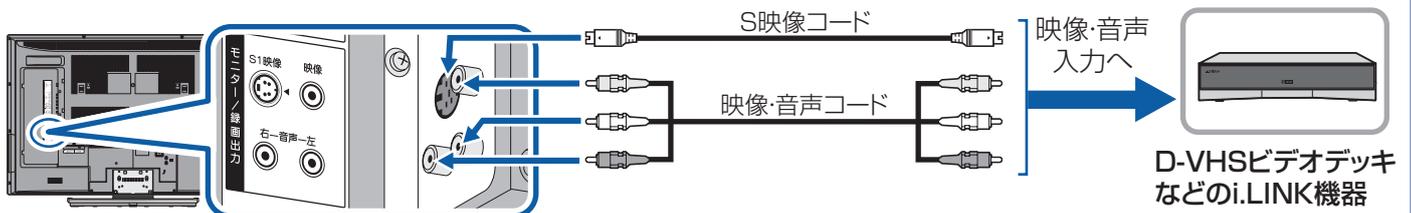
これでビデオリモートコントローラーを使って予約録画ができるようになりました。
番組表から録画予約するには40ページをご覧ください。

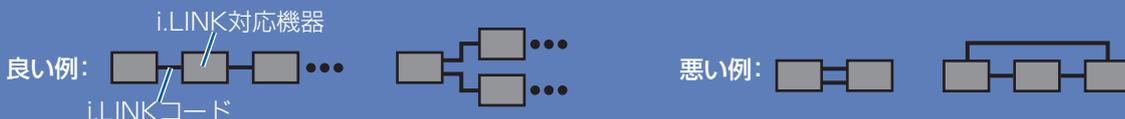
録画機器をつなぐ i.LINK（アイリンク）

D-VHSビデオデッキなどのi.LINKに対応した録画機器をつなぐと、デジタル放送をデジタル録画、デジタル再生できます（「録画予約する」☞40ページ）。また本機から、当社製のD-VHSビデオデッキなどを操作できます。

i.LINKコードの接続

i.LINKコード1本でデジタル放送をデジタル録画・デジタル再生できます。

アナログで再生・録画するための接続

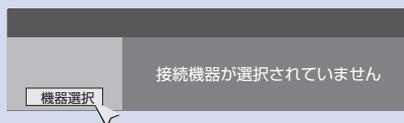
再生するための接続

録画するための接続

ご注意

- i.LINKコードはS400の規格に対応したものをご使用ください。
- MPEG2 AACデコード機能のない録画機器ではデジタル放送の音声の再生ができません。本機にi.LINK入力をして音声を再生します。
- ビクター製D-VHSビデオデッキをご使用のときは、モニター/録画出力端子をF-1またはL-1入力に接続してください。
- i.LINK対応機器を接続するときは、各機器がループ状（閉じた輪）にならないように接続します。

i.LINK機器を設定する

i.LINK機器を使うときは、次の設定が必要です。

使用するi.LINK機器を確認する

機器操作ボタンを押す

- 地上アナログ放送の受信中は、表示されません。デジタル放送に切り換えてください

決定ボタンを押す

- 接続されている対象機器の種類、メーカー、機種が表示されます。

▲▼で設定したい機器を選び、**決定**ボタンを押す

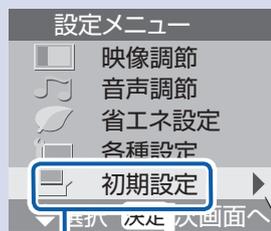
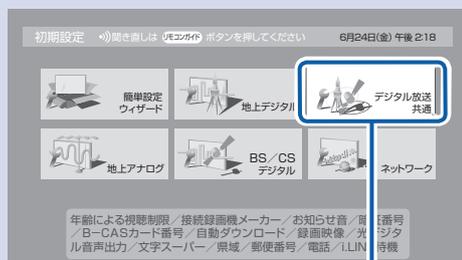
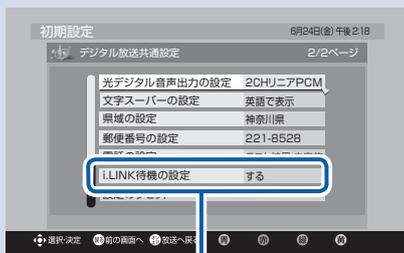
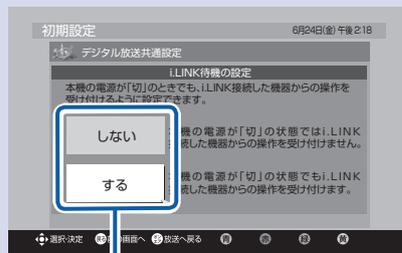
- 本機から録画/再生または操作できる対象機器は、アイコンの左に「☑」が表示され、選んだ録画機器が設定されます。
- 設定できる録画機器は、1台です。
- 設定を変更しないときは、**戻る**ボタンで戻ります。
- 対象機器の設定を解除するときは、対象機器を選んで**決定**ボタンを押します。

お知らせ

- 「機器番号リセット」を押すと、現在本機に接続していない機器の情報を削除し、機器番号を割り当て直します。
- 本機で操作できない機器が接続されたときは、機器選択画面に機器名が正しく表示されません。詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

これでi.LINK機器が使用できるようになりました。
番組表から録画予約するには40ページをご覧ください。

本機を中継して複数のi.LINK機器を使うときは

メニューボタンでメニューを表示する

▲▼ボタンで「初期設定」を選び、**決定**ボタンを押す

◀▶▲▼ボタンで「デジタル放送共通」を選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで「i.LINK待機の設定」を選び、**決定**ボタンを押す

▲▼ボタンで選び、**決定**ボタンを押す

オンエアで終了する

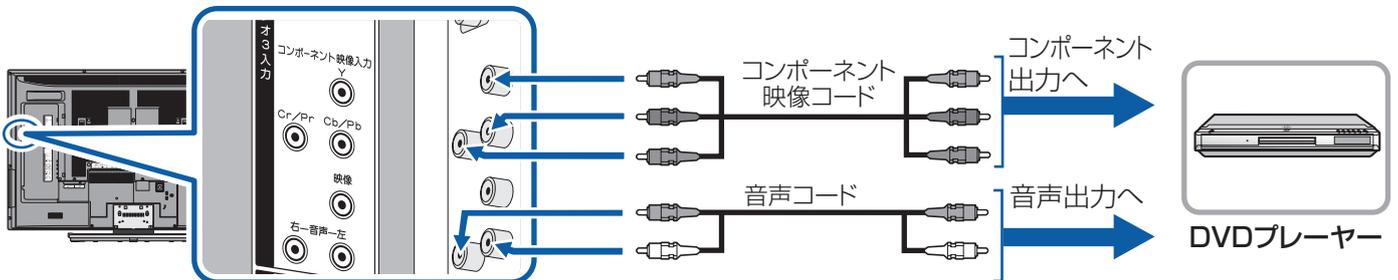
お知らせ

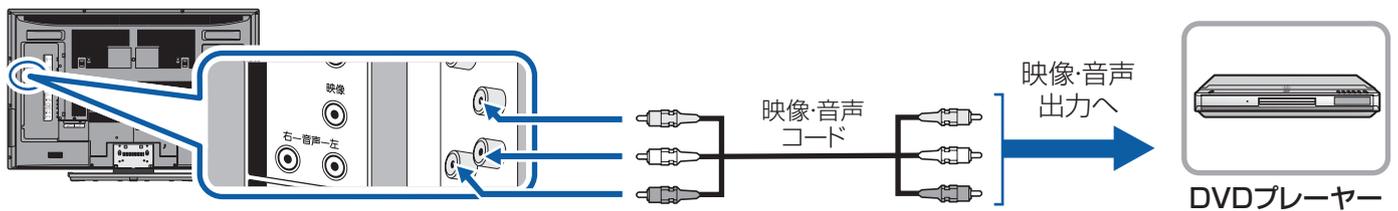
- 本機を中継して複数のi.LINK機器をお使いのときや、接続したi.LINK機器と連係してお使いのときは、「する」に設定してください。

DVDプレーヤー・オーディオ機器をつなぐ

DVDプレーヤーをつなぐ

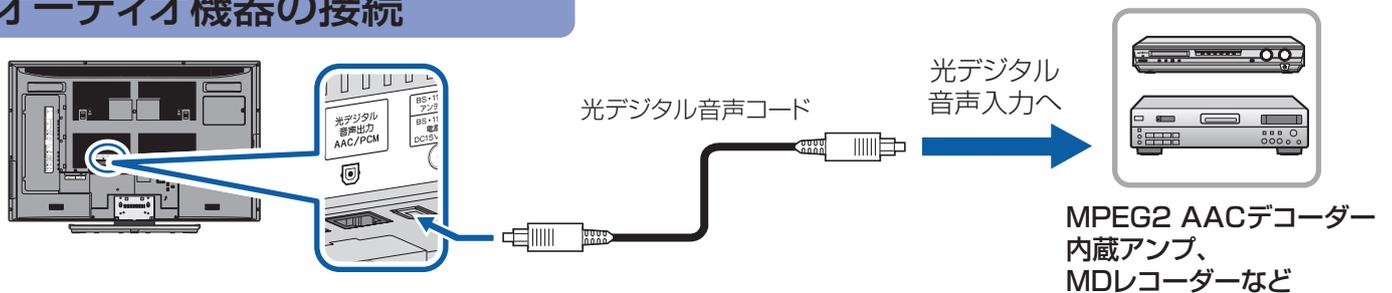
DVDプレーヤーを本機に接続して、映像・音声を再生できます。

コンポーネント映像出力端子付きDVDプレーヤーの接続

コンポーネント映像出力端子のないDVDプレーヤーの接続

映像
右―音声―左
映像·音声
コード
映像·音声
出力へ
DVDプレーヤー

お知らせ
- DVDプレーヤーの映像出力端子がD映像端子のときは、片端がDコネクターのコード(VX-DS210など)をお使いください。
- 接続が終わったらDVDプレーヤー側で、TV画面サイズの設定をワイド画面(画面サイズ16:9)用の設定にしてください。詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプに接続して、マルチチャンネル音声の番組を楽しめます。
また、MDレコーダーなどに接続して、デジタル音声をデジタルのまま録音することもできます。

オーディオ機器の接続

お知らせ
- アンプを接続する場合は、本機の音量を「0」にして、アンプで音量を調節してください。
- MDレコーダーを接続する場合は、サンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDレコーダーをお使いください。

ご注意
- デジタルコピーガードがかかっている番組は、接続しているオーディオ機器で録音できない場合があります。
- 録音中に番組表などを表示させると、MDに録音された音声が乱れることがあります。

光デジタル音声の出力信号を設定する

接続している機器に合わせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。

メニューボタンでメニューを表示する

▲▼ボタンで「初期設定」を選び、**決定ボタン**を押す

◀▶▲▼ボタンで「デジタル放送共通」を選び、**決定ボタン**を押す

出力信号を選ぶ

▲▼ボタンで「光デジタル音声出力の設定」を選び、**決定ボタン**を押す

▲▼ボタンで選び、**決定ボタン**を押す

2CH リニアPCM	MDレコーダーでデジタル録音するときに選びます。
AAC	MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプをつないでいるときに選びます。

メニューボタンで終了する

お知らせ

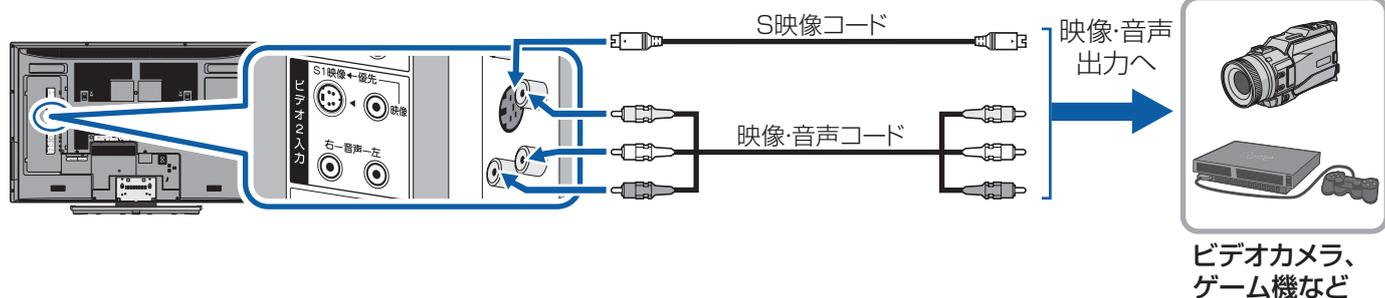
• 本機の光デジタル音声出力端子から出力されるデジタル音声信号は、次のとおりです。

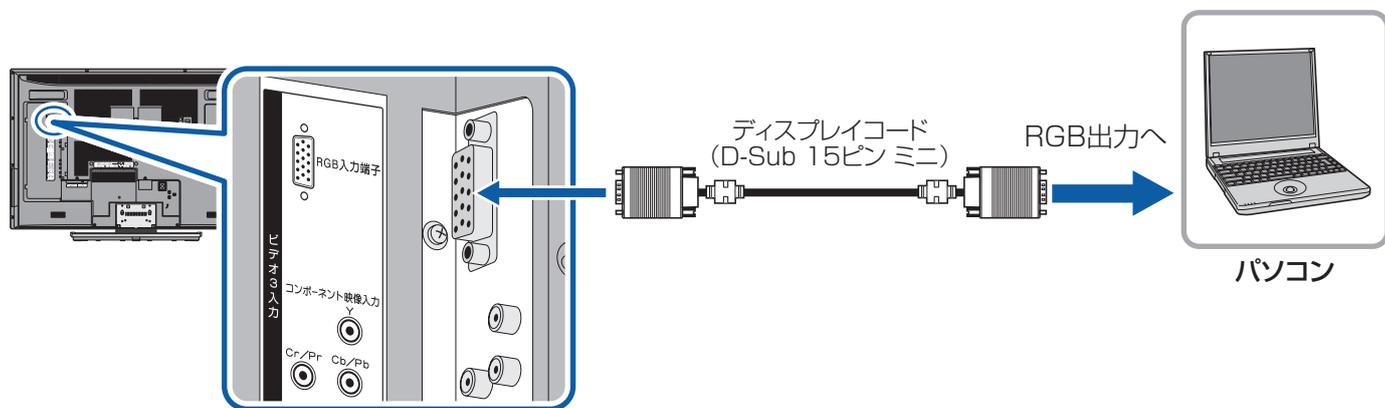
出力される放送と入力信号	出力されない放送と入力信号
• 地上デジタル放送 • BSデジタル放送 • 110度CSデジタル放送(CS1、CS2) • i.LINK入出力端子からの信号	• 地上アナログ放送 • ビデオ1入力からの信号 • ビデオ2入力からの信号 • ビデオ3入力からの信号 • HDMI1、HDMI2入力からの信号 • 音声入力(HDMI接続用)端子からの信号

• AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、リニアPCM信号とAAC信号の自動判別機能がある機器をおすすめします。

ビデオカメラやゲーム機、パソコンをつなぐ

ビデオカメラやゲーム機、パソコンなどを本機に接続して、映像・音声を再生できます。

ビデオカメラやゲーム機の接続

パソコンの接続

パソコンは、ビデオ3のRGB入力端子につなぎます。

お知らせ

- ビデオカメラやゲーム機、パソコンの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの音声出力端子は、ビデオ3入力の音声入力端子につないでください。
- RGB入力端子に入力された映像信号は、コンポーネント映像入力端子や映像端子に入力された映像信号よりも優先して表示されます。2画面では表示できません。
- ビデオカメラのDV端子は接続しないでください。

パソコンをつなぐときは

RGB入力端子は、次の信号に対応しています。パソコンの画面解像度の調節でいずれかを選んでください。
画面サイズボタンを押して画面表示を「ノーマル」と「フル」に切り換えられます。

- VGA (640×480) 60Hz
- XGA (1024×768) 60Hz

ご注意

お使いのパソコンによっては画面の位置などがずれる場合があります。画面位置を調節してください。(「画面位置の調整」☞60ページ)

接続・設定・操作について

i.LINK機器を操作する

本機では、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキなどの基本的な操作や動作の連係ができます。
画面に表示された操作パネルを使って、D-VHSビデオデッキなどの録画機器を操作できます。

機器操作ボタンでコントロールパネルを表示する

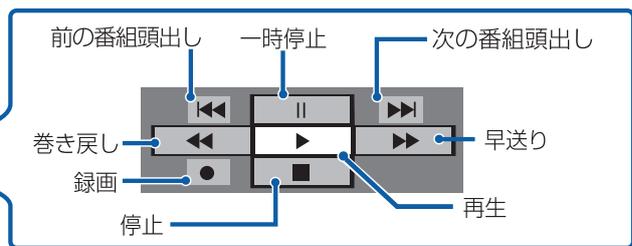
例：D-VHSビデオデッキを操作するとき

◀▶▲▼ボタンでボタンを選び、**決定ボタン**を押す

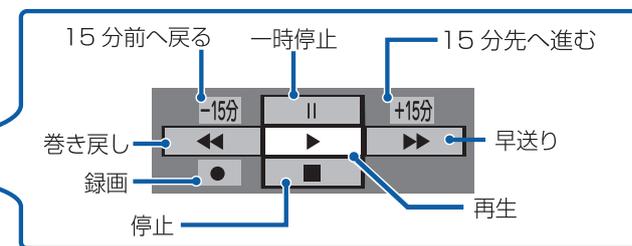
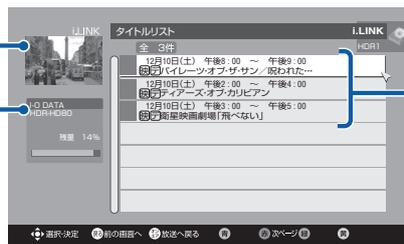
戻るボタンで操作パネルを消す

- i.LINK機器の設定をしていないときは、「i.LINK機器を設定する（☞71ページ）」で操作するi.LINK機器を設定します。

コントロールパネルの使いかた

例：D-VHSビデオデッキのとき

*1ビデオテープの状態

- VHS：VHSビデオテープが入っているとき
- D-VHS：D-VHSビデオテープが入っているとき
- S-VHS：S-VHSビデオテープが入っているとき

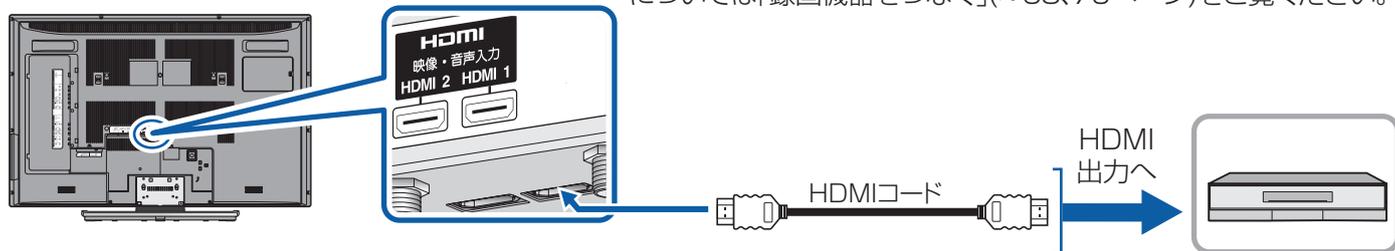
例：HDDレコーダーのとき

お知らせ

- D-VHSテープの再生を始めると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。（「ビデオ入力接続設定」☞61ページ）。
- 地上アナログ放送の受信中や、外部入力を選んでいるときは、コントロールパネルは表示されません。

HDMI機器、DVI機器を接続する

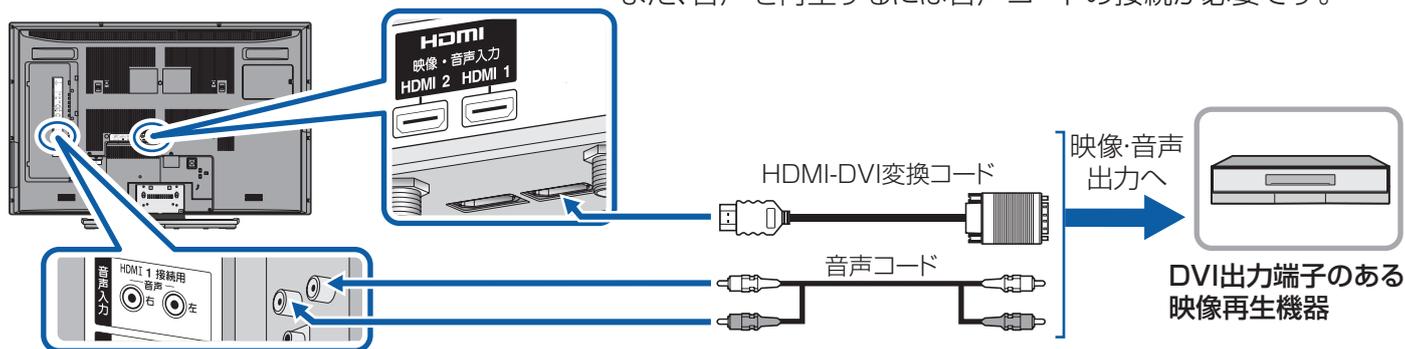
本機では、HDMI接続したD-VHSビデオデッキやDVDレコーダーの映像・音声を再生できます。また、DVI端子を持った映像再生機器をHDMI端子に接続してご使用になれます。

HDMI機器の接続

HDMIコード1本で映像・音声を再生できます。録画するための接続については「録画機器をつなぐ」(☞68、70ページ)をご覧ください。

＊ LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800をお使いの場合は、HDMI1、HDMI2入力それぞれに機器を接続できます。

D-VHSビデオデッキ、DVDレコーダーなどのHDMI機器

DVI機器の接続

DVI機器の接続にはHDMI-DVI変換コードをご使用ください。また、音声を再生するには音声コードの接続が必要です。

LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800をお使いの場合は、HDMI1、にDVI機器を接続してください。

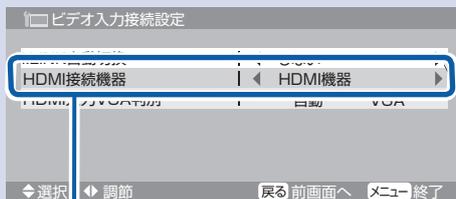
ご注意

- 本機のHDMI端子はパソコンからの映像・音声信号には対応していません。パソコンを接続するときはビデオ3のRGB入力端子に接続してください。(☞74ページ)
- HDMI端子の音声は、2CH リニアPCMに対応しています。接続機器の設定を合わせてください。
- 本機でHDMI機器の映像を表示中に、HDMI機器側で信号を切り換えた場合、信号が安定するまでの少しの間、画面が緑色になって乱れることがあります。
- HDMI端子と音声入力(HDMI接続用)端子に入力された信号は次の出力端子からは出力されません。
  - ・モニター/録画出力端子
  - ・光デジタル音声出力端子
- HDMIコードは、規格認証済コードをご使用ください。認証されていないコードを使用された場合の動作・性能は保証できません。
- HDMI1端子にHDMI機器を接続しているときに、HDMI1接続端子用音声入力端子(アナログ音声)に入力してもアナログ音声を聞くことはできません。(LT-37LC85、LT-32LC85、LT-26LC80の場合は、HDMI端子は1個です)

HDMI機器の入力を設定する

HDMI機器の種類を設定する

HDMI端子に接続した機器の種類を設定します。

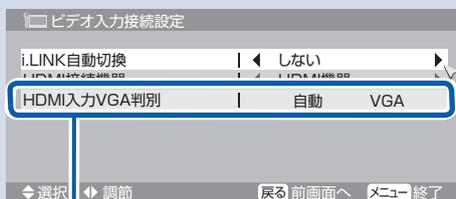
「各種設定」メニュー（☞60ページ）で「ビデオ入力接続設定」を選び、**決定ボタン**を押す

▲▼ボタンで「HDMI接続機器」を選び、**◀▶ボタン**で設定する

自動	接続した機器を自動的に判別します。
HDMI機器	HDMI機器を接続した場合に選びます。
DVI機器	DVI機器を接続した場合に選びます。

メニューボタンで終了する

HDMI機器からの映像入力を設定する

HDMI端子に接続した機器からの映像信号を自動的に判別して、映像のサイズを切り換えるかどうかを設定できます。

「各種設定」メニュー（☞60ページ）で「ビデオ入力接続設定」を選び、**決定ボタン**を押す

▲▼ボタンで「HDMI入力VGA判別」を選び、**◀▶ボタン**で設定する

自動	HDMI機器からの映像信号を自動的に判別して映像サイズを切り換えます。
VGA	HDMI機器からの映像をVGA(640×480ドット)のサイズに固定して表示します。

ご注意
「HDMI入力VGA判別」は、通常は「自動」に設定し、映像が正しく表示されない場合に「VGA」を選んでください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

画面が乱れる
映像に縦線や横線が出る

■ 他の機器からノイズが入っていませんか？

■ アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか?

映像や音声が出なくなったり、映像にモザイク状の四角いマスが出るようになった

■ アンテナの向きが風や振動で変わってしまっていませんか？

■ アンテナケーブルが劣化していませんか？

放送が映らない

■ アンテナは正しくつながっていますか？

■ 放送に対応したアンテナやケーブル、分配器を使っていますか?

電源が入らない

■ 電源プラグは正しくつながっていますか？

■ 電源ボタンをくり返し押していませんか？

リモコンで操作ができない

■ 電池は正しい向きで入っていますか？

■ 電池が消耗してしまっていませんか？

■ リモコンを本体に向けずに操作していませんか？

■ リモコンと本体の間が障害物にさえぎられていませんか？

こんなときは故障ではありません

■ 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

■ 静止画を表示し続けたときに、画面に残像が生じることがあります。残像はしばらくすると消えます。

■ 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。

・ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
・本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
・本機から「ミシッ」という音がする場合。
・本体の内部から動作音が聞こえる場合。

■ 本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。

① 本体の**チャンネルー**ボタンと**入力切換**ボタンを同時に5秒以上押し続ける。
電源が切れ、電源/機能待機ランプが消えます。

② 本体の**電源**ボタンを押して電源を入れ直す。
※電源・機能待機ランプが赤く点灯しているときは、この操作はできません。

こんなときは	こうしてください	ページ
放　送　の　受　信		
地上アナログ放送が映らない	■ アンテナを正しく接続する。 ■ チャンネル設定を正しく設定する。 ■ 受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	16・20・24
地上アナログ放送のチャンネルが番組表に表示されない	■ 「地上アナログ」設定で「放送局名設定」を正しく設定する。 番組表には「地域設定」で選んでいる地域の地上アナログチャンネルが表示されます。地域の境界では番組表には表示されないチャンネルがある場合があります。	24
CATVが映らない	■ 受信契約をする。 ■ ケーブルを正しく接続する。 ■ 受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。 ■ 「CATV選局方式の設定」を「数字入力方式」にする。 「CATV選局方式の設定」が「12ボタン方式」の場合、CATVのチャンネル(C13～C38)は**チャンネル+/ーボタン**では選べません。	20・24
衛星デジタル放送が映らない	■ 受信契約をする。 ■ アンテナを正しく設置・設定する。 ■ 電話回線を正しく接続・設定する。 ■ 正しい向きでB-CASカードを入れる。 ■ 簡単設定ウィザードを実行する。 ■ アンテナの前方にある障害物を取り除く。 大雨や雪が降っている場合でも、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。 ■ 本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	16・17・18・19・20
地上デジタル放送が映らない	■ アンテナを正しく設置・設定する。 ■ 電話回線を正しく接続・設定する。 ■ 正しい向きでB-CASカードを入れる。 ■ 簡単設定ウィザードを実行する。 ■ 受信レベルを確認する。 ■ 本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	16・17・18・19・20・22
データ放送の一部を見ることができない	■ 「ネットワーク設定」を設定してください。	Tナビ編
画　面　表　示　/　映　像		
画面が乱れる 映像に縦線や横線が出る	■ アンテナケーブルを他の機器やケーブルから離してください。	－
画面表示が消えない	■ 受信できるチャンネルを選ぶ。 ■ 外部機器の映像を再生する。入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。 ■ 「メールがあります」の表示は、新着メールの内容を確認すると消えます。	28・34・52
メニュー操作時などにオンエアボタンを押すと、外部入力の映像ではなく、テレビ放送に切り換わる	■ メニュー画面や設定画面が消えるまで、**戻るボタン**をくり返し押す。 **オンエアボタン**を押した場合は、**入力切換**ボタンを押して見たい外部入力を選んでください。	－
設定画面や操作画面が表示できない	■ 予約録画を終了する。 予約録画の実行中は、正しく録画できるように、設定画面の表示やその他の操作が制限されます。	－
2画面にならない	■ 下記の場合は2画面にはできません。 • 左右の画面にデジタル放送の映像を映そうとした場合。 • 左右の画面に同じチャンネルや外部入力の映像を映そうとした場合。 • 予約録画の実行中。 • HDMI1、HDMI2の入力信号を同時に映そうとした場合。（LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800のみ）	49

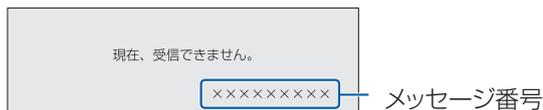
こんなときは	こうしてください	ページ
画　面　表　示　/　映　像		
色が出ない、おかしい	■ 地上アナログ放送の場合は、「チャンネルの設定」で受信周波数を微調整する。 ■ 映像調節メニューで「色あい」や「色の濃さ」を調節する。	24・58
接続したAV機器からの映像が出ない	■ 正しい外部入力を選ぶ。 ■ AV機器を正しく接続する。 ■ AV機器の電源を入れ、映像を再生する。 ■ i.LINK接続の場合「i.LINK接続機器選択」、「i.LINK待機の設定」を正しく設定する。 ■ D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	34・66・67・68・69・70・71・72・73・74・
雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)	■ 屋外のアンテナ線をつなぎ直す。 ■ アンテナの向きを直す。アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	―
画面にはん点が出る（妨害）	■ ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	―
画面にしま模様が出る（混信）	■ 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	
音　声		
音が出ない	■ ヘッドホン端子からヘッドホンを抜く。 ■ **消音ボタン**を押す。	13・28
音声が重なって聞こえる	■ 二重音声放送の音声を「主音声」または、「副音声」に切り換える。	46
映像の動きと音声が合わない	■ 「ゆっくりトーク」を「切り」に設定する。	30
αサウンドの効果が感じられない	■ 次の場合はαサウンドの効果が出ません。 • 二重音声放送の音声を「主+副音声」にしている場合。 • サラウンド効果が出にくい番組やソフトの場合。 • 「はっきりステレオ」、「ゆっくりトーク」をお使いの場合。	60
接続したAV機器からの音声が出ない	■ 正しい外部入力を選ぶ。 ■ AV機器を正しく接続する。 ■ AV機器の電源を入れる。 ■ アンプの音量を0または消音以外にする。 ■ i.LINK接続の場合「i.LINK接続機器選択」、「i.LINK待機の設定」を正しく設定する。 ■ D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。 ■ HDMI接続の場合、「ビデオ入力接続設定」を正しく設定する。 ■ HDMI端子の音声入力、またはDVI音声端子からの入力信号はモニター/録画出力端子からは出力されません。	34・66・67・68・70・72・73・74・
音声が切り換えられない	■ 下記の場合は音声を切り換えられません。 • 地上アナログ放送で、モノラル放送やステレオ放送の場合。 • デジタル放送で、音声多重や複数の音声信号がない番組の場合。 • 外部入力の映像の場合。	―
音声が、接続していないスピーカーから聞こえる	■ ビデオ入力の音声コードを正しく接続してください。 • 「きき楽」、「音声調節」、「αサウンド」、「マックスベース」が設定されている場合。	―

：画面で見るマニュアルをご覧ください。

こんなときは	こうしてください	ページ
	録　画　予　約	
予約録画ができない	■ 録画機器の入力を正しく切り換える。 ■ 録画予約を正しく設定する。 ■ 録画可能な番組を予約する。 ■ ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を正しく接続･設置･設定する。 ■ 本機に対応しているi.LINK機器を接続する。 ■ i.LINK機器を正しく接続･設定する。	34･40･68･69･
録画機器が選べない	■「接続録画機器の設定」を正しく設定する。 ■「i.LINK接続機器選択」を正しく設定する。	69･71･
機器操作でi.LINK機器を操作できない	■ あまり多くのi.LINK機器を同時に接続しない。 ■ 予約録画が終了してから操作する。 ■ i.LINK機器の電源プラグはいつも差し込んだままにする。 ■ i.LINKケーブルを抜き差しする。	70･71･
	その他	
チャンネルを選ぶときの動作がおかしい	■ CATVをご覧にならないときは「CATV選局方式の設定」を「12ボタン方式」にする。 「数字入力方式」に設定されている場合、**1**～**12ボタン**で直接選局することはできません。	25
衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった	■ 電話回線の接続や設定を確認する。	18･65
電源を「切」にしたのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している	■ 下記の場合は電源/機能待機ランプが赤く点灯します。 • 録画予約の実行中や番組表のデータを取得しているなどの場合。 •「i.LINK待機の設定」を「する」に設定している場合。	36･40･69･
録画予約が終わったのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している	■ 終了処理のため、数分間赤く点灯する場合があります。	―
SDカードの画像が再生できない	■ 本機で再生できる画像データを記録する。 ■ 予約録画の実行中はSDカードの再生はできません。	50
外部入力が選べない	■「外部映像入力設定」の「入力スキップ設定」を「見る」に設定する。 ■ i.LINK接続した機器の映像を見る場合、「i.LINK接続機器選択」を正しく設定する。 ■「i.LINK接続設定」、「i.LINK自動切換」が、選んでいる入力に設定されていないことを確認する。	61･71･
突然電源が切れた	■ オフタイマーか「テレビ消し忘れ防止」を設定していた場合、自動的に電源が切れます。 ■ 放送終了後に電源が切れたときは、「無信号電源オートオフ」機能が働いたためです。	29･60

: 画面で見るマニュアルをご覧ください。

こんなメッセージが出たら

本機は、お使いの状況に合わせてメッセージを表示します。以下は主なメッセージとその対処方法です。表示されたときは、「こうしてください」欄をご確認いただき、正しくお使いください。

メッセージ番号は、エラーの内容に応じて表示されます。

画面メッセージ	こうしてください	ページ
アンテナやケーブルがショートしています。アンテナとケーブルの接続をご確認ください。	■ アンテナを正しく接続・設定する。	16・67
放送チャンネルではないため、視聴できません。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	62・63
現在放送されていません。別のチャンネルを選んでください。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 放送休止中のチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	62・63
信号が受信できません。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。 ■ アンテナケーブルやコネクターを点検する。 アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	－
降雨などによる電波障害のため、自動的に降雨対応画面に切り換えています。	■ 受信できるチャンネルに切り換える。 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。 ■ アンテナケーブルやコネクターを点検する。 アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	－
SDカードが挿入されていません。	■ SDメモリーカードを挿入してから、**メモリーカードボタン**を押す。	50
時刻情報が取得できていないため、この機能は利用できません。	■ デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16・22・37
必要な情報が取得できませんでした。	■ デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16・22・37
表示ができないモードです。パソコンをVGAまたはXGAの60Hzに設定してください。 （LT-42LH800、LT-37LH800、LT-32LC85のみ）	■ パソコンの入力が、本機の解像度に対応していません。パソコンをVGAまたはXGAの60Hzに設定してください。	74

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社はカラーテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。(☞84ページ)

修理を依頼されるときは

78〜82ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクター 地上・BS・110度CS デジタル液晶テレビ
型　名	LT-46LH800 / LT-42LH800 LT-37LH800 / LT-37LC85 LT-32LC85 / LT-26LC80
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	(　　)　　−

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　**●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！**
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- ●お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- ●お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- ●次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- ●お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3-3
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	奥州市水沢区天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)5748-3701	大田区池上2-8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042)646-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03)5631-2235	墨田区八広5-11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045)651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025)242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026)221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059)352-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	津市大字藤方485-18
北陸			
富山	富山 S.S.	(076)425-2397	富山市二口町4-1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本4-65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3-21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079)234-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088)622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0706

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様

システム

- **受信方式**　NTSC(VHF/UHF/CATV)
- **受信チャンネル**
  VHF 1～12、UHF 13～ 62、CATV C13～C38
  地上デジタル放送のチャンネルに対応　000～999
  BSデジタル放送のチャンネルに対応　000～999
  110度CSデジタル放送のチャンネルに対応　000～999
  • CATVパススルー（全帯域)に対応
- **画面寸法(幅X高さX対角)**

	幅	高さ	対角
LT-46LH800 (46V型)	101.9 cm	× 57.3 cm	× 116.9 cm
LT-42LH800 (42V型)	93.5 cm	× 52.8 cm	× 107.3 cm
LT-37LH800 (37V型)	82.2 cm	× 46.3 cm	× 94.3 cm
LT-37LC85 (37V型)	82.0 cm	× 46.1 cm	× 94.1 cm
LT-32LC85 (32V型)	69.8 cm	× 39.2 cm	× 80.0 cm
LT-26LC80 (26V型)	57.6 cm	× 32.4 cm	× 66.1 cm

- **表示画素数**
  LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800: 水平:1920 垂直:1080
  LT-37LC85、LT-32LC85、LT-26LC80:　水平:1366 垂直:768
- **区分名**
  LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800:　B II
  LT-37LC85、LT-32LC85、LT-26LC80:　B EE
- **スピーカー**
  LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800、LT-37LC85:
  4 × 16 cm、2個
  LT-32LC85:　5.5 × 15 cm、2個
  LT-26LC80:　5 × 12 cm、2個
- **音声出力**　10 W　＋　10 W

入出力端子

- **アンテナ端子**
  VHF/UHF: 75Ω、F型　UHF(地上デジタル): 75 Ω、F型
  BS・110度CS: 75Ω、F型
  (BS・110度CSコンバーター用電源DC15V 4W 重畳)
- **ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3入力端子**
  S1映像(S映像)(ビデオ3を除く):
  Y: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負　C: 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
  映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- **ビデオ3コンポーネント映像入力端子**
  (1125i)　Y : 1 V(p-p)、75 Ω±20%
  同期信号分±0.30 V(p-p)、3値同期
  Pb 、Pr: ±0.35 V(p-p)、75 Ω±20%
  (750p/525p/525i)
  Y : 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  Cb 、Cr: 0.7 V(p-p)、75 Ω±20%
- **D4映像入力(ビデオ1)端子**　映像: D端子(D4)
- **RGB入力(ビデオ3入力)端子**　映像: D-SUB 15pin
- **HDMI入力端子(LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800:HDMI1、HDMI2入力端子)**
  HDCP対応　映像: 1125i/750p/525p/525i　音声: 2CH PCM
- **HDMI1 接続用 アナログ音声入力端子**
  音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- **モニター /録画出力端子**
  S1映像: Y 1 V(p-p)、75 Ω、同期負　C: 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
  映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負　音声: 0.5 V(rms)、ローインピーダンス
- **i.LINK入出力端子(2系統)** 4ピン S400
- **光デジタル音声出力端子**　-18 dBm、660 nm
  メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力
- **電話回線端子**　2Pモジュラージャック、モデム伝送レート 2400 bps
- **ビデオリモートコントローラー出力端子**　ミニジャック
- **ヘッドホン端子**　直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
- **LAN端子**　(10BASE-T / 100BASE-TX端子)

電源部

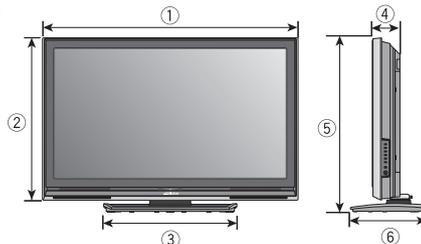
- **使用電源**　AC 100 V、50/60 Hz
- **消費電力**

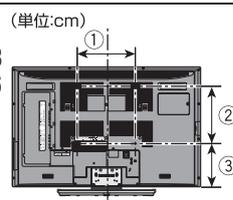
	①	②	③	④
LT-46LH800:	295 W	0.2 W	24 W	350 kWh/年
LT-42LH800:	248 W	0.2 W	24 W	231 kWh/年
LT-37LH800:	220 W	0.2 W	24 W	194 kWh/年
LT-37LC85:	190 W	0.2 W	26 W	235 kWh/年
LT-32LC85:	176 W	0.2 W	26 W	166 kWh/年
LT-26LC80:	125 W	0.2 W	24 W	144 kWh/年

① 消費電力
② 待機時消費電力
③ BS・110度CSデジタルチューナー部動作時(機能待機時)
(BS・110度CSコンバーター最大4 Wを除く)
④ 年間消費電力量[スタンダード時]

外形寸法・その他

	①	②	③	④	⑤	⑥
LT-46LH800:	112.6	72.2	58.7	12.0	77.5	34.1
LT-42LH800:	103.0	67.2	49.6	12.3	72.0	31.2
LT-37LH800:	91.9	60.4	49.6	12.1	65.2	31.2
LT-37LC85:	91.9	60.4	49.6	12.8	65.2	31.2
LT-32LC85:	80.0	54.5	41.0	13.8	59.3	24.4
LT-26LC80:	67.2	47.1	41.0	13.8	51.9	24.4

(単位:cm)

- **壁掛け金具の取り付け孔位置**　(単位:cm)

	①	②	③
LT-46LH800:	40.0	20.0	34.8
LT-42LH800:	20.0	20.0	24.6
LT-37LH800:	20.0	20.0	21.7
LT-37LC85:	20.0	20.0	21.7
LT-32LC85:	20.0	20.0	18.1
LT-26LC80:	20.0	20.0	18.1

- **画面角度の調節範囲**
  LT-46LH800、LT-42LH800、LT-37LH800、LT-37LC85:
  左右各20度、前後には傾きません
  LT-32LC85、LT-26LC80:
  左右各20度、前方3度、後方7度以内
- **質量(重さ)**
  LT-46LH800 : 37.6 kg　LT-42LH800 : 29.8 kg
  LT-37LH800 : 23.3 kg　LT-37LC85 : 21.5 kg
  LT-32LC85 : 18.0 kg　LT-26LC80 : 14.8 kg
- **付属品**　15ページ参照

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ テレビのV型(40V型、37V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
※ 電源を切っていても番組表データが取得できるまでは、機能待機時と同様の消費電力となります。
※ 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
※ 本機は「JIS C61000-3-2適合品」です。
※ 区分名とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)で、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。

著作権とご注意

■ 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■ あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■ i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴはソニー株式会社の商標です。

■ 本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル(通話料金無料)でない限り、電話料金はお客様の負担になります。

■ 本機は電波産業界(ARIB)規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。

■ この製品に使用されているソフトウェアに関する情報については、メニューボタンを押して、「初期設定」→「デジタル放送共通設定」→「自動ダウンロードの設定」画面を表示中に黄色(情報表示)ボタンを押すと本機のソフトウエアに関する情報が表示されます。

■ 有料番組のなかには、その製作者によって「視聴すること」のみ許可されている場合があります。これらのプログラムは著作権保護されており、いかなる目的といえども、著作権者の文書による明示された許可がない限り、コピーまたは再生できません。

■ この製品には、株式会社リコーがデザイン製作した下記書体のリコーフォントを使用しています。
•平成丸ゴシック体TM-W4
•平成丸ゴシック体TM-W8
•平成角ゴシック体TM-W5
•Newゴシック体

■ マックスベースはWaves Audio LTD. の登録商標です。

• Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
• Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
• 米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

DTLAの説明

著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。

このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データを、i.LINKを使ってデジタルコピーできない場合があります。

また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

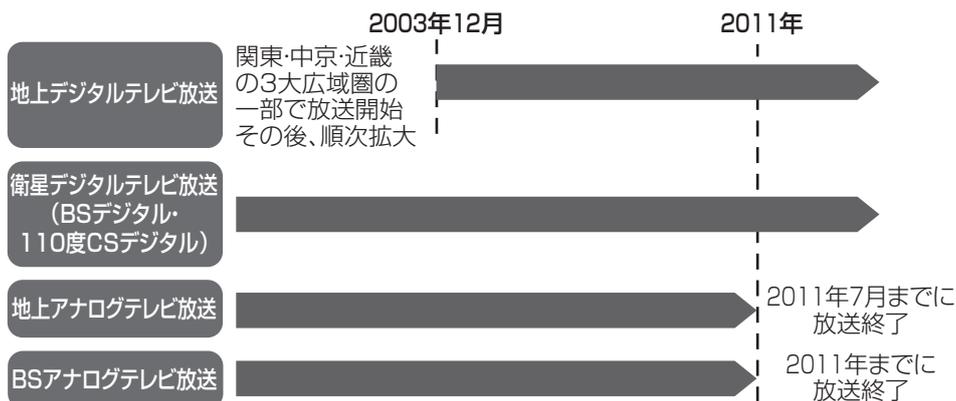
■ 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2 AACに関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。
特許番号(出願番号)
5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189 5,357,594 5,752,225 5,394,473
5,583,962 5,274,740 5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671 07/640,550 5,579,430
98/03037 97/02875 97/02874 98/03036 5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584
5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999 08/557,046 08/894,844 5,299,238 5,299,239
5,299,240 5,197,087 5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574
08/506,729 08/576,495 5,717,821 08/392,756

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

索引

アルファベット／数字

AACデコーダー ....67、72
ADSL 18
B-CASカード ....19、64、65
CATVの選局方法 ....24、25
CS1ボード、CS2ボード ....52、53
DCC ....58、59
DVDプレーヤー ....66、72
DVDレコーダー ....66、67、68、76
D-VHSビデオデッキ ....66、67、70、76
DVI ....66、76、77
D4映像入力端子 ....66、70
E.E.センサー ....31、60
E.E.センサーの効果表示 60
F型接栓 ....15、17
Gガイド受信確認 63
HDDレコーダー 75
HDMI ....61、67、68、76
HD自動切換設定 ....57、60
i.LINK ....40、64、67、70、75
i.LINK自動切換 61
i.LINK待機 ....64、71
Irシステム ....68、69
MDレコーダー ....67、72
MPEG NR 58
SDカード 50
VGA ....61、74、77
VHF/UHFアンテナ ....16、17
XGA 74
2CH リニアPCM ....64、73
2画面 49
12ボタン方式 25

ア行

αサウンド 60
暗証番号 64
アンテナの設定 ....22、26、27
アンテナ電源 ....22、23
アンテナの接続 ....16、17、67
アンテナ受信レベル ....26、27
アンプ ....67、72
イベントリレー 42
色温度 58
インテリジェントガンマ 58
インフォメーション 52
衛星アンテナ ....22、62
映像(画質)選択 ....42、47、58
映像調節 58
枝番号 32
オートピクチャー 58
お知らせ音 64
オフタイマー 29
音声切換 46
音声調節 60
音声入力(HDMI接続用)端子 ....66、76

カ行

外部映像入力設定 ....60、61
画面サイズ選択 ....48、60、74
画面で見るマニュアル 54
画面表示 ....29、34
画面メッセージ 82
簡単設定ウィザード 62
機器選択 ....71、75
機器操作 ....71、75
キーワード検索 38
クイック録画 37
ゲーム機 ....66、74
県域設定 ....20、22、64
購入履歴 53
個人情報消去 65
コンポーネント映像入力端子 ....66、72

サ行

サウンド効果 60
サービス切換 ....35、36
シアタープロ 59
視聴年齢制限 64
自動高速ドライバー 60
自動ダウンロードの設定 64
字幕 46
視聴予約 37
ジャンル検索 38
縮小画像 50
省エネ設定 60
消音 28
信号切換 47
人名検索 38
数字入力方式 25
スピーカー 13
接続録画機器の設定 ....64、69
設定項目リセット 65
選局ガイド 33

タ行

ダイヤルトーン検出 65
ダウンロード 64
地域設定 26
地域チャンネル合わせ 24
地上アナログチャンネル設定 ....20、24
地上デジタルアンテナ 17
地上デジタルチャンネル設定 ....20、26
チャンネルスキャン ....20、26、27
チャンネルの設定 ....20～27
データ放送 35
テレビ消し忘れ防止設定 60
電話会社の設定 65
電話回線 ....18、65
電話の設定 65
電話のテスト ....22、65
独立データ放送 35
トピックス 52

ナ行

ナチュラルシネマ 60
入力切換 34
入力スキップ設定 61

ハ行

はっきりステレオ 30
発信番号通知 65
パソコン ....66、74
番組追従 42
番組内容 29
番組表 ....36、37
光デジタル音声出力 ....64、73
ビデオカメラ 74
ビデオデッキ ....66、68、69
ビデオ入力接続設定 ....60、61
ビデオリモートコントローラー ....40、67、68、69
ビデオ1入力のモニター出力 60
プログラム予約 43
ペイ・パー・ビュー 37
放送局名 25
ホームメニュー ....38、52

マ行

マイラインプラス 65
マックスベース 60
マルチビュー放送 47
無信号電源オートオフ 60
メール 52
文字スーパー 64

ヤ行

郵便番号 64
有料番組 37
ゆっくりトーク 30
予約一覧 44
予約の取り消し 44
予約の変更 44
予約の優先順位 44
予約方式 40

ラ行

リモコンガイド 31
リモコン信号 69
連動データ放送 35
録画機器 ....64、66、68、70
録画モード 41
録画予約 40

J-Moss　グリーンマーク表示対象製品です

J-Mossとは電気･電子機器の特定化学物質の含有表示を規定するJIS規格で、グリーンマークは特定化学物質(鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE)を基準値以上含まないことを証明するものです。

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、83ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 **84ページをご覧ください。**	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話　(045) 450−8950 FAX　(045) 450−2275 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0906HHH-MW-VP